

太子町観光まちづくりビジョン

近つ飛鳥の里の魅力を伝える

聖徳太子のまち“たいし”

～我が宝は和が宝～



[資料編]

平成 29 年 3 月
大阪府 太子町

目次

1. 観光まちづくり動向の整理.....	1
1-1 国や府における観光まちづくり動向の整理.....	1
(1) 国の動向.....	1
(2) 関西・大阪府の動向.....	5
1-2 太子町における観光まちづくりの動向の整理.....	8
(1) 太子町の概況.....	8
(2) 上位計画.....	9
(3) 関連計画.....	12
(4) これまでの太子町における観光関連の主な取組み.....	16
(5) 広域連携.....	19
(6) 太子町における観光まちづくりに関するデータ整理.....	20
(7) 太子町の観光まちづくり資源の整理.....	34
(8) 太子町の周辺状況.....	39
2. ヒアリング調査.....	41
2-1 ヒアリング調査の実施概要.....	41
(1) 実施日及び団体.....	41
(2) 調査方法.....	41
2-2 主な意見.....	43
3. アンケート調査.....	44
3-1 ヒアリング調査の実施概要.....	44
(1) 実施概要.....	44
(2) 調査手法.....	44
3-2 アンケート調査結果.....	49
(1) アンケート調査実施経過.....	49
(2) 留意点.....	49
(3) 回答者の属性.....	50
(4) 太子町の評価.....	53
(5) 意見や要望等.....	62
(6) まとめ.....	65

4. フィールドワーク.....	66
4-1 「竹内街道灯路祭り」の概要.....	66
4-2 「竹内街道灯路祭り」のフィールドワーク結果.....	67
(1) 交通.....	67
(2) 概況.....	67
(3) 特徴.....	70
(4) 問題点.....	70
(5) 可能性.....	71
5. 住民ワークショップ.....	72
5-1 第1回住民ワークショップ.....	72
(1) 実施概要.....	72
(2) 主な意見.....	73
5-2 第2回住民ワークショップ.....	77
(1) 実施概要.....	77
(2) 主な意見.....	78
5-3 住民ワークショップ参加者.....	84
6. 観光まちづくり勉強会.....	85
6-1 観光まちづくり勉強会「観光まちづくりのススメ」の概要.....	85
6-2 観光まちづくり勉強会で実施したアンケート調査結果.....	86
(1) アンケート調査の概要.....	86
(2) アンケート調査結果.....	88

1. 観光まちづくり動向の整理

「太子町観光まちづくりビジョン」の策定作業を進めるにあたり、まず「観光まちづくり動向の整理」として、国や大阪府、太子町の観光まちづくりの動向を整理するとともに、太子町で観光まちづくり関連事業を行う事業者に対するヒアリング調査、来訪者に対するアンケート調査、イベント調査を行った。

1-1 国や府における観光まちづくり動向の整理

国や府における観光まちづくりの動向の整理として、国や関西広域連合、大阪府などで策定されている観光まちづくり関連の計画等を整理した。

(1) 国の動向

① 国の観光政策の経緯

観光産業は他の産業に比べて経済波及効果が大きく、また雇用効果や税収効果の高い産業であることから、国では、観光振興を重要政策として位置付け、訪日外国人旅行者の倍増を具体的な目標に掲げて、これまで様々な取組みを進めてきている。

平成 14 年に、外国人旅行者の訪日を促進する「グローバル観光戦略」が策定され、官民一体となって訪日外国人旅行者数の拡大を進めていく「ビジット・ジャパン・キャンペーン（平成 15 年～）」が展開されるとともに、平成 19 年には「観光立国推進基本法」が制定され、これに基づく「観光立国推進基本計画」が策定された。平成 20 年には、関係省庁との連携・調整を強化して、総合的かつ計画的に施策を推進するため、国土交通省の外局として「観光庁」が発足されるなど、観光施策を推進していくための基盤が整えられた。

その後、平成 24 年には東日本大震災の影響による社会情勢の変化を踏まえた、新たな「観光立国推進基本計画」が策定され、翌平成 25 年には、新たな成長戦略として「日本再興戦略」が閣議決定され、訪日外国人観光客を平成 32 年に 2,000 万人、平成 42 年に 3,000 万人の目標を掲げるとともに、これを実現するための観光政策が示された。

しかし、平成 27 年に訪日外国人旅行者数が 2,000 万人を超えるなど、想定を上回る勢いで、訪日外国人観光客が増加したことから、平成 28 年には新たな目標を掲げる「明日の日本を支える観光ビジョン」が示された。なお、「日本再興戦略 2016」においても、こうした状況を踏まえた目標が示されている。

主な国の動向

平成 14 年（2002 年）	「グローバル観光戦略」策定
平成 15 年（2003 年）	「ビジット・ジャパン・キャンペーン」開始
平成 19 年（2007 年）	「観光立国推進基本法」制定、「観光立国推進基本計画」策定
平成 20 年（2008 年）	「観光庁」発足
平成 24 年（2012 年）	「観光立国推進基本計画 2013～2017」策定
平成 25 年（2013 年）	「日本再興戦略」策定
平成 28 年（2016 年）	「日本再興戦略 2016」策定、「明日の日本を支える観光ビジョン」発表

② 観光ビジョン

国では、「観光は真に我が国の成長戦略と地方創生の柱である」との認識の下、新たな目標を掲げるとともに、この目標の実現のため、3つの視点を柱とする10の改革を掲げている。

「明日の日本を支える観光ビジョン¹」（平成28年3月）の概要

■ 新たな目標

	2020年目標 オリンピック・パラリンピックイヤー	2030年目標
訪日外国人旅行者数	4,000万人 (2015年の約2倍)	6,000万人 (2015年の約3倍)
訪日外国人旅行消費額	8兆円 (2015年の2倍超)	15兆円 (2015年の4倍超)
地方部での外国人延べ 宿泊者数	7,000万人泊 (2015年の3倍弱)	1億3,000万人泊 (2015年の5倍超)
外国人リピーター数	2,400万人 (2015年の約2倍)	3,600万人 (2015年の約3倍)
日本人国内旅行消費額	21兆円 (最近5年間の平均から約5%増)	22兆円 (最近5年間の平均から約10%増)

■ 「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改善」

視点1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に

- 「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放
- 「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ
- 「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ
- おもな観光地で「景観計画」をつくり、美しい街並みへ

視点2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に

- 古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ
- あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現
- 疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化

視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

- ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現
- 「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現
- 「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現

¹ 観光庁「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年）

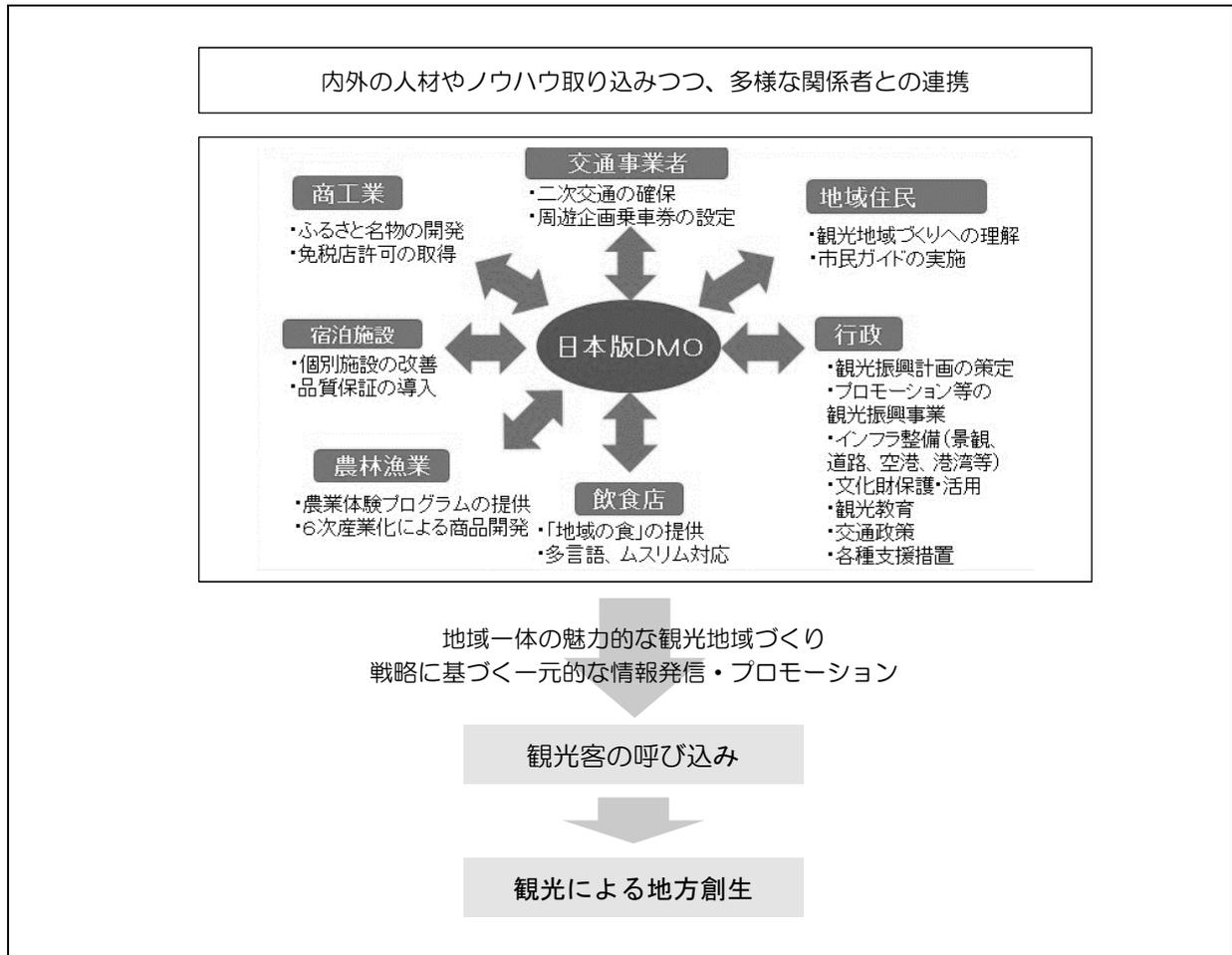
③ 日本版 DMO を中心とした観光地域づくり

国では、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役「日本版 DMO」を各地域で形成・確立し、これを中心とした観光地域づくりをめざしている。

日本版 DMO の概要²（日本版 DMO 役割）

- | |
|---|
| <p>① 日本版 DMO を中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成</p> <p>② 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（プランディング）の策定、KPI の設定・PDCA サイクルの確立</p> <p>③ 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション</p> <p style="text-align: center;">+</p> <p>観光地域づくりの一主体として実施する個別事業
 (例)・着地型旅行商品の造成・販売
 ・ランドオペレーター業務の実施 等</p> |
|---|

日本版 DMO の概要（多様な関係者との連携）



² 観光庁「日本版 DMO の概要」（平成 27 年）

④ 持続可能な観光まちづくり手法「観光まちづくり」

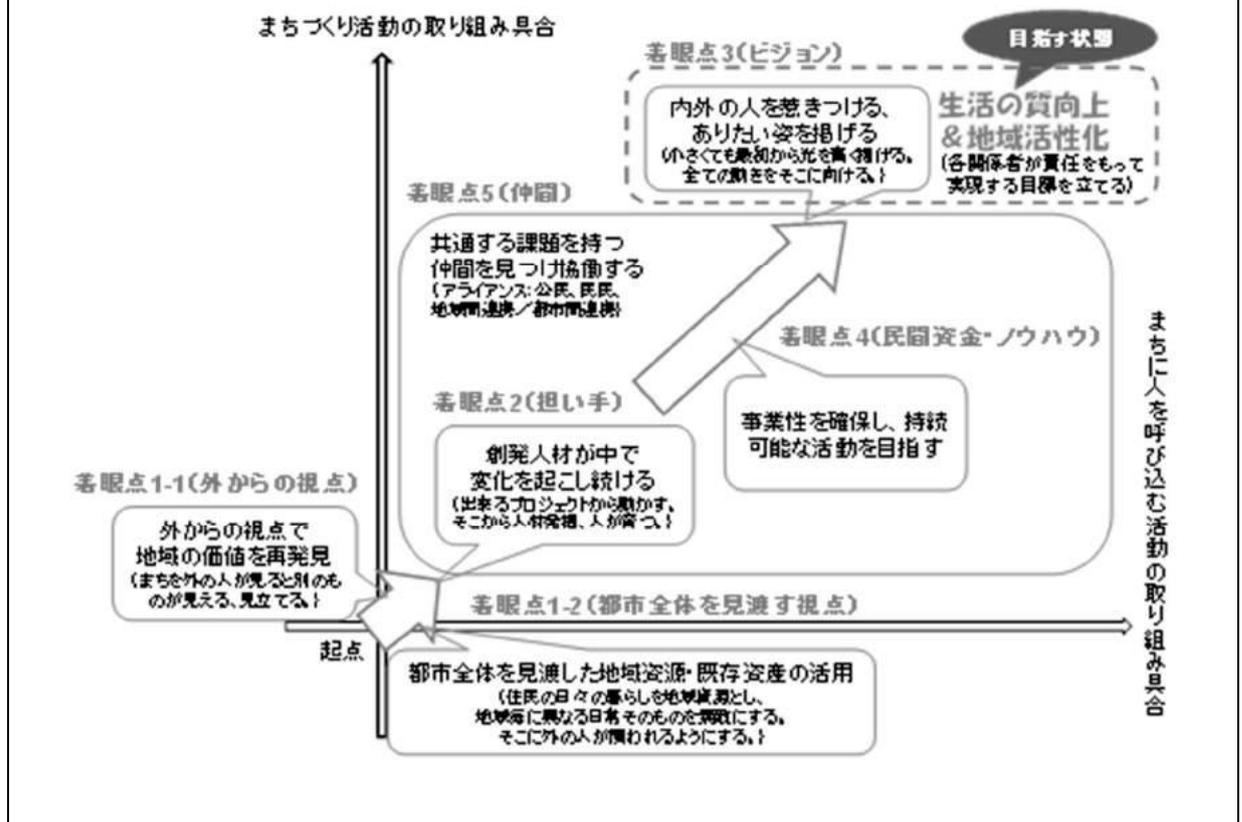
国では、外と中の人交流から小さな経済活動が活発化していくような、従来型の観光地とは異なる形で外から人を呼び込むまちづくりを「観光まちづくり」と名付け、持続可能なまちづくりの手法の一つとして位置付け、地域の「まちづくり活動」と「外から人を呼び込む活動」が一体となる観光まちづくりを展開していくためのガイドラインを示している。

「観光まちづくりガイドライン³」（平成28年3月）の概要

観光まちづくりを進めるにあたって、様々な利害関係者（住民、まちづくり団体、地元金融機関、地元商工会、大学、不動産会社等）がつながり、創造的なまちづくり活動と積極的な情報発信を行う人材や団体の活動が、まち全体の取組みへと調和していくことが重要としています。そのうえで、これらの取組みを進める上で、留意すべき5つの着眼点を示しています。

【5つの着眼点】

- 1 「外からの視点／都市全体を見渡す視点」～地域資源・既存資産を活用する～
- 2 「担い手」～創発人材が中で変化を起こし続ける～
- 3 「ビジョン」～内外の人を惹きつける、ありがたい姿を掲げる～
- 4 「民間資金・ノウハウ」～事業性を確保し、持続可能な活動を目指す～
- 5 「仲間」～共通する課題を持つ仲間を見つけ協働する～



³ 国土交通省「観光まちづくりガイドライン」（平成28年）

(2) 関西・大阪府の動向

① 関西圏域の観光

関西の2府5県で構成する関西広域連合（平成22年12月設立）では、関西を魅力ある観光圏としていくため、関西が一体となって戦略的に取り組むべき重点分野、事業、目標等を定める「関西観光・文化振興計画」を策定、推進している。

「関西観光・文化振興計画⁴」（平成28年8月）の概要

- 【目 標】 関西から日本の元気を取り戻す、観光から日本の元気を取り戻す
- 【計画期間】 概ね「関西ワールドマスタースゲームズ⁵2021」（平成33年）開催まで
- 【将来像】 アジアの文化観光首都
- 【基本方針】
- 国際観光なくしてKANSAIの発展なし
 - 文化観光資源の宝庫・強みを活かす
 - 関西ファンをつくる
 - 文化芸術の継承・創造を通じて観光を振興する
 - 「関西は一つ」になって国際観光振興と文化振興に取り組む

【数値目標】

	2015年（実績）	2020年目標
関西への訪日外国人訪問率	40.0%	45.0%
関西への訪日外国人訪問者数	約790万人	1,800万人
関西での外国人延べ宿泊者数	1,592万人泊	3,700万人泊
関西での訪日外国人旅行消費額	約1兆3,900億円	3兆円

- 【目標達成のための戦略】
- ① KANSAI を世界に売り込む
 - ② 新しいインバウンド市場への対応
 - ③ 的確なマーケティング戦略による誘客
 - ④ 安心して楽しめるインフラ整備の充実
 - ⑤ 関西文化の魅力発信
 - ⑥ 関西文化の継承とプラットフォームづくり
 - ⑦ 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

⁴ 関西広域連合広域観光・文化・スポーツ振興局「関西観光・文化振興計画」（平成28年）

⁵ 「ワールドマスタースゲームズ」とは、国際マスタースゲームズ協会（IMGA）が4年ごとに主催する、30才以上の成人・中高年の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会。

② 大阪府の観光

大阪府は、これまで観光政策として「大阪都市魅力創造戦略」（平成 24 年度～平成 27 年度）を策定し、水と光りのまちづくり推進体制の構築／大阪アーツカウンシルの設置／大阪観光局の設置／重点エリアのマネジメント／2015 年シンボルイヤー／大阪ミュージアム⁶などを推進してきている。

平成 27 年には、延べ宿泊者数は 3,037 万人（うち外国人 897 万人（29.5%））、来阪外国人旅行者数は年間 716 万人、ホテル等の客室稼働率も 2 年連続全国 1 位となるなど、成果はあがっているものの、「世界の都市総合ランキング 2015」では 40 都市中 24 位、アジアで 7 位となっており、世界における大阪の存在感はまだまだ薄い状況だと言える。

しかしながら、これからラグビーワールドカップ（平成 31 年）、東京オリンピック・パラリンピック（平成 32 年）、関西ワールドマスタースゲームズ（平成 33 年）と 3 年連続で国際スポーツ大会が日本で開催される「ゴールデンスポーツイヤー」を控えるなど、世界における大阪のプレゼンスを向上できる好機を迎えつつある。

そこでこれらの好機を最大限に活かし、これまで府市が連携して推進してきた取組みを発展・進化させるとともに、さらなる都市魅力のステップアップを図り、大阪府域全体の発展に資するために、大阪府・大阪市では、平成 28 年 11 月に「大阪都市魅力創造戦略 2020」を策定し、世界的な創造都市、国際エンターテイメント都市へ加速するよう取組みを進めている。

太子町の大阪ミュージアム登録物 30 件（平成 28 年 8 月現在）

No.	登録物	No.	登録物
1	緑の一里塚	16	海老塚（蘇我蝦夷塚、一須賀 Q10 号墳）
2	小野妹子墓	17	善秀寺川の太鼓橋
3	仏眼寺跡	18	竹内街道灯路祭り
4	竹内街道（大道旧山本家住宅及び町立竹内街道歴史資料館）	19	太子聖燈会
5	科長神社夏祭	20	叡福寺及び聖徳太子御廟
6	二子塚古墳	21	たいし聖徳市
7	鹿谷寺跡と岩屋	22	叡福寺大乘会式
8	梅鉢御陵	23	稲穂の風景に映る推古天皇陵
9	西方院	24	唐川に乱舞するホタル
10	一須賀古墳群	25	東條地区に広がる棚田
11	鎌田邸の楠	26	二上山（万葉の森）
12	大阪にある安藤忠雄氏の設計した名建築物・大阪府立近つ飛鳥博物館	27	上の太子観光みかん園
13	大阪ぎゅうり	28	大阪ぶどう
14	大阪なす（千両なす）	29	近畿最大のぶどう団地
15	仏陀寺古墳（蘇我倉山田石川麻呂の墓）	30	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」

⁶ 大阪府では、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』を実現するため、まち全体を「ミュージアム」に見立て、魅力的な地域資源を発掘・再発見し、磨き・際立たせ、結びつけることにより、大阪のまちの魅力を内外に発信する「大阪ミュージアム」を推進している。

「大阪都市魅力創造戦略2020⁷」(平成28年11月)の概要

～世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速～

【戦略目標】内外から人、モノ、投資等呼び込む「強い大阪」の実現世界に存在感を示す「大阪」の実現

【計画期間】平成28(2016)年度～平成32(2020)年度

- 【基本的な考え方】
- 国内及び世界に向けた大阪の魅力の発信
 - これまで取り組んできた重点取組を発展・進化
 - 府域全体の発展に資する施策展開
 - 2020年度以降も見据えた仕組みづくり
 - みんなで支える
 - PDCAサイクルの徹底



10の目指すべき将来像

	目指すべき将来像	施策の方向性・主な取組み
観光・都市魅力	世界に誇れる自慢の都市	世界第一級の文化・観光拠点形成・発信／大阪ならではの魅力創出・発信／大阪の文化を満喫できる魅力創出・発信／魅力的な景観演出
	安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市	観光客受入環境の充実／旅行者の安全・安心の確保／旅行者ニーズに配慮した多様なサービスの提供
	多様な人材が集う観光・MICE都市	MICE誘致の推進／観光マーケティング・リサーチの強化／観光振興を支える人材等の育成
	多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市	効果的なプロモーションの強化／周遊性を高める利便性の向上／大阪に滞在したくなる仕掛けづくり
文化	大阪が誇る文化力を活用した都市	上方伝統芸能を活用した魅力発信／都市の魅力向上と新たな文化の創造／文化プログラムの推進
	あらゆる人々が文化を享受できる都市	芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実／将来の社会の担い手となる青少年の育成／芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等
スポーツ	アジアをリードする国際・プロスポーツ都市	国際的なスポーツイベントの開催／スポーツ都市大阪の魅力発信／ラグビーワールドカップ、オリ・パラ、関西ワールドマスターズゲームズの開催を契機としたレガシーの形成
	健康と生きかいを創出するスポーツに親しめる都市	スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充／スポーツを通じた健康増進
国際化	世界で活躍できるグローバル人材育成都市	グローバル人材育成／外国人留学生の受入と定着支援／企業における高度外国人材の積極的受入・活用
	出会いが新しい価値を生む多様性都市	国際都市にふさわしい安全安心の取組みの推進／地域のグローバル化／国際競争力を有するビジネス拠点としての大阪の魅力向上／大都市大阪の活力を統合した都市外交の推進

⁷ 大阪府・大阪市「大阪都市魅力創造戦略2020～世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速～」(平成28年)

1-2 太子町における観光まちづくりの動向の整理

太子町における観光まちづくりの動向の整理として、太子町の概況はもとより、観光まちづくりに関連する計画やこれまでの取組み、各種データ及び観光まちづくり資源等について整理した。

(1) 太子町の概況

太子町は、大阪府の東南部に位置し、北を羽曳野市、西を富田林市、南を河南町に接し、東は金剛生駒紀泉国定公園を境に奈良県と接している。町の総面積は 14.17 km²で、町域の約 40% を山林、30% を田畑、10% を市街地、その他（雑種地、河川等）を 20% が占めており、緑豊かな自然環境に恵まれた町である。

太子町は、大阪府内でも古くから栄えた地域として知られている。この地域には二上山の火山岩・サヌカイト（かね石）が広く分布しており、二上山のサヌカイトで作られた石器が近畿一円の遺跡で発掘されていることから、当時の近畿地方の人々の生活を支える重要な拠点であったことが分かっている。

飛鳥の時代には、政権を担当した蘇我氏の本拠地となり、蘇我氏の庇護の下に、大陸から渡来した人々が多く移り住むなど、国際色が豊かであった。

古代において、奈良の飛鳥が「遠つ飛鳥」と呼ばれたのに対し、太子町一帯は「近つ飛鳥」と呼ばれ、都のあった飛鳥と難波津を東西に結ぶ我が国最古の官道である「竹内街道」が町域を横断して開通し、遣隋使・小野妹子や大陸からの使者が往来するシルクロードの東端の地として繁栄した。また、推古天皇や聖徳太子ら皇族の陵墓を中心に豪族の古墳が多く残っており、「王陵の谷」と呼ばれる磯長谷古墳群もある。

町の東には太子町のランドマークである「二上山（にじょうざん）」がある。二上山は、北側の高い峯の雄岳（517m）と南側の低い峯の雌岳（474m）をあわせて呼ぶ名で、かつては「ふたかみやま」とも呼ばれ、万葉集にも詠まれるなど、数多くの歴史に彩られた山として知られており、付近は金剛生駒紀泉国定公園に指定されている。



(2) 上位計画

国勢調査の結果によると、太子町の人口は平成 17 年までは増加傾向にあったものの、平成 22 年の国勢調査ではじめて減少に転じている。平成 22 年の人口は 14,217 人であったが、少子高齢化や社会移動等のために今後も減少傾向は続くと考えられる。

平成 28 年に策定された「第 5 次太子町総合計画」、「太子町人口ビジョン⁸」では、平成 37 年の目標人口を 13,500 人、平成 52 年 13,000 人と設定しており、交流人口の増加から定住人口の減少抑制を図っていくとしている。

「第 5 次太子町総合計画」や同じく平成 28 年に策定された「太子町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、この目標人口を達成するための施策及び評価指標・KPI がそれぞれ明示されている。なお、そこには景観の向上や都市農業の振興、商工業の活性化、観光レクリエーションの振興、個性豊かなコミュニティ活動の促進、歴史文化の保全と活用、住民主体のまちづくりの推進など、観光まちづくりに関する施策も含まれている。

「第 5 次太子町総合計画」における観光まちづくり関連施策

【基本理念】人と自然と歴史が交流し未来につなぐ和のまち“たいし”

【計画期間】平成 28 年度～平成 37 年度

- 【基本目標】
1. こころ健やかで、元気に暮らせるまちづくり
 2. 支えあい、安心して暮らせるまちづくり
 3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり
 4. 豊かな自然・歴史とともに育つ、誇りあるまちづくり
 5. みんなで歩む協働のまちづくり

【将来人口】平成 37 年に 13,500 人

【基本計画】観光まちづくり関連施策（一部抜粋）

●第 2 章 支え合い、安心して暮らせるまちづくり

政策：1. まちの安全性・快適性の向上

施策：② 景観の向上を図るとともに住環境の整備を進めます

評価指標	単位	平成 26 年度	平成 32 年度
景観計画・地区計画区域数	地区	4	5

●第 3 章 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり

政策：1. 地域経済を支える産業の振興

施策：① 都市農業の振興を図ります

② 商工業の活性化を図ります

政策：2. まちの魅力を活かした交流の推進

施策：① 観光・レクリエーションの振興を図ります

⁸ 太子町「太子町人口ビジョン」（平成 28 年）

評価指標	単位	平成26年度	平成32年度
遊休農地利用者数	人	35	50
援農隊参加者数	人	53	80
市民農園の申込者数	人	26	80
農地の賃貸借等の面積	ha	7	8
道の駅販売額	万円	7,100	7,700
イベント（聖燈会、灯路祭り）による集客者数（町内外を含む）	人	15,500	17,000
観光ボランティアガイド利用者数	人	398	500
ふるさと太子応援基金寄付（ふるさと納税）	円	250,000	平成26年度より向上

●第4章 豊かな自然・歴史とともに育つ、誇りあるまちづくり

政策：3. 地域への愛着心の醸成

施策：① 個性豊かなコミュニティ活動の促進を図ります

② 歴史文化の保全と活用を図ります

評価指標	単位	平成26年度	平成32年度
町会・自治会加入率	%	56.5	60.0
竹内街道歴史資料館利用者数	人	5,711	6,000
大道旧山本家住宅利用者数	人	1,860	2,000

●第5章 みんなで歩む協働のまちづくり

政策：1. 住民との協働の推進

施策：① 住民主体のまちづくりを進めます

評価指標	単位	平成26年度	平成32年度
町のホームページのアクセス数	件	178,378	200,000
「積極的に町政に対し提言したい」と思う住民の割合 (アンケート調査結果)	%	11.3	30.0

「太子町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における観光まちづくり関連施策

【施策】 ●基本目標 1 産業振興による活力ある地域創造戦略

基本方針：①地域経済を支える産業の振興

具体的施策：① - 1 都市農業の振興を図ります

① - 2 商工業の活性化を図ります

KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 援農隊参加者数：53人→76人 ・ 市民農園の申込者数：26人→70人 ・ 太子町ブランド品の開発：0件→2件 ・ 聖徳市出店数：21店→30店 ・ 道の駅販売額：7,100万円→7,580万円
-----	---

●基本目標 2 太子町の情報発信・観光振興による知名度アップと交流人口の向上

基本方針：①まちの魅力を活かした交流・観光の振興

具体的施策：① - 1 観光・レクリエーションの振興を図ります

KPI	・ イベント（聖燈会、灯路祭り）による集客者数：15,500人→17,000人
-----	---

●基本目標 4 地域への愛着心の醸成と地域の確かな暮らしを支える基盤づくり

基本方針：③まちの安全性・快適性の向上

具体的施策：③ - 2 景観の向上を図るとともに上下水道の整備を進めます

③ - 3 道路交通体系の充実を図ります

KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観計画・地区計画区域数：4地区→5地区 ・ 乗合ワゴンの利用者数：延べ6,300人→延べ7,000人
-----	--

基本方針：④自然環境の保全・向上

具体的施策：④ - 1 協働により自然環境の保全を図ります

KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唐川ホタルを守る会活動参加者数：20人→45人 ・ ダイヤモンドトレイル参加者数：465人→1,000人 ・ 山の日山地美化キャンペーン参加者数：300人→500人
-----	--

基本方針：⑥地域への愛着心の醸成

具体的施策：⑥ - 1 個性豊かなコミュニティ活動の促進を図ります

KPI	・ 町会・自治会加入率：56.5%→59.3%
-----	-------------------------

(3) 関連計画

太子町では、観光まちづくりに関わる計画として、これまでに「太子町観光ビジョン」（平成 9 年策定）と「太子町景観計画⁹」（平成 20 年策定）が策定されている。

① 太子町観光ビジョン

「太子町観光ビジョン」では、観光振興の基本目標と施策メニューが示されており、太子町ではこの計画に基づいて観光振興を行ってきた経緯がある。この計画は、平成 20 年を目標年次としているものの、平成 28 年現在においても実現できていない施策や事業が数多く見受けられる。

ハード面では道の駅、太子・和みの広場や竹内街道周辺の歩道、案内板、道標などの整備が済んでいるが、鉄道駅や太子 I.C.、町界地点や道の駅など太子町の玄関口においてアイ・ストップとなるようなモニュメントや総合案内板等の整備は進んでいない状況が今なお続いている。なお、案内板、道標については、老朽化による劣化が進行していたり、情報が古くなっているものがあり、また一貫したデザインがされておらず一体の観光地として連続性を欠いている。交通システムでは、各観光拠点を結ぶための駐停車スペース、休憩所、物販施設などの整備や、循環バス、レンタルサイクルの移動サービスの整備が示されているが、実現には至っていない。

ソフト面では、竹内街道の広域連携や時代行列の継続、太子みかんソースの開発、太子町観光・まちづくり協会による観光やたいしくんに関する情報発信、観光ボランティア「太子街人の会」などが実現している一方で、聖徳太子、河内源氏を活かす観光コンテンツの拡充、郷土料理や農業加工等の体験プログラムの開発、特色ある飲食店・宿泊施設の育成・誘致などが実現できていない。

「太子町観光ビジョン」の概要と評価

※ 評価は平成 28 年現在のもの

【性 質】 豊かな自然と歴史風土に出逢う太子と若武者の里

【目 標 年 次】 平成 20 年

【目 標 像】 豊かな自然と歴史風土に出逢う太子と若武者の里

【基 本 目 標】 1. 風土を守り、新しい歴史をきずく里づくり

2. 発見と楽しさあふれる遊歩の里づくり

3. 国中、世界中の人が訪れ交わる里づくり

4. 豊かな味覚と時間の流れる里づくり

⁹ 太子町「太子町景観計画」（平成 20 年）

【施策体系と評価】

施策	事業メニュー	実現評価
1. 風土を守り、新しい歴史をきずく里づくり		
1-1. 叡福寺周辺観光拠点の整備	①複合拠点の整備	一部、実現 太子・和みの広場は完成。学問・芸術・文化の展示・紹介や飲食・販売サービス機能は未整備。
1-2. 聖徳太子等を活用した観光の推進	①“新・太子祭”のイベント開発	聖徳太子の魅力を伝える定期イベントは実施していない。
	②竹内街道の”時代行列”イベント	実現 竹内街道灯路祭りにおいて「時代行列」を定期的実施。
1-3. 自然休養村管理センターの再整備	①特産品の研究開発拠点の整備と振興支援	一部、実現 「太子みかんソース」などを開発。二上山のサヌカイトを用いた商品開発は未着手。
	②体験施設の整備	一部、実現 食品加工が行える調理室を整備。
	③観光サービス機能の強化	一部、実現 道の駅の整備により実現。レストラン、観光情報案内、特産品生産工程などの展示は未整備。
1-4. 河内源氏の活用整備	①”源氏検索ルート”の設定	源氏三代墓、通法寺跡、壺井八幡宮（羽曳野市）を巡る道路景観・誘導サインは未整備。
	②「河内源氏」文化ネットワークづくりと広報・PR	羽曳野市と広域連携した「河内源氏の里」としてのPRとともに鎌倉をはじめとする関東・東国の各地の交流は未着手。
2. 発見と楽しさあふれる遊歩の里づくり		
2-1. 上ノ太子駅方面からの河内源氏の活用整備	①上ノ太子駅方面からのシンボルストリート・ゲート空間の整備	一部、実現 駅からの街道筋をシンボルストリートとした整備は行っていないが、町界地点において町全体の観光をアピールする観光案内板を設置。
	②喜志駅方面ゲート空間の整備	駅からのゲート空間や「源氏三代墓」へのサイン整備は行っていない。
	③南阪奈道路 太子I.C.でゲート空間の整備	一部、実現 太子I.C.周辺において自動車のアイ・ストップとなるようなシンボル・モニュメント、案内サイン等は設置していないが、町域内にはサイン設置。
2-2. 竹内街道まちなみの保全・再生	①歴史国道竹内街道の整備	一部、実現 竹内街道の修景は一部整備済み。休憩スポット等は未整備。
	②まちなみ景観誘導モデルゾーンの設定	一部、実現 竹内街道、叡福寺へ至るモデルルートを設定。叡福寺周辺では景観条例を制定。往時の建築（旅籠、茶店）などまちなみの形成を牽引するシンボル施設は未整備。

施策	事業メニュー	実現評価
2-3. 観光ルート・散策ネットワークの整備	①モデル観光ルートの設定	一部、実現 近鉄上ノ太子駅、喜志駅から叡福寺・竹内街道を経て當麻町までのルートを設定。観光目的・ターゲットに合わせたルートマップは未整備。
	②太子らしい景観整備	一部、実現 太子らしい修景（路面舗装、無電柱化、美装化、ストリートファニチャの整備）、休憩スポットを整備。
2-4. 観光交通基盤の整備	①交通基盤施設の整備	道の駅、太子I.C.、観光拠点と連動し、自動車から徒歩、自転車交通への転換のためのサービス施設、駐停車スペース、休憩施設を備えた交通結節点は整備していない。
	②拠点を結ぶ交通システムの連携	近鉄上ノ太子駅、道の駅、太子I.C.を起点に、叡福寺、近つ飛鳥博物館等の主要な観光拠点を結ぶシャトルバスや、レンタサイクルの乗り捨てサービスは整備していない。
3. 国中、世界中の人が訪れ交わる里づくり		
3-1. 観光情報の発信・広報活動の推進	①地域連携による情報発信	実現 「竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会」、「羽曳野市・藤井寺市・太子町シネマプロジェクト」によって地域連携を図っている。
	②民間セクターとの連携キャンペーン、イベントの開催	鉄道事業者、マスコミ業界等の民間セクターと連携したキャンペーン、イベント等の情報発信が行えていない。
	③歴史の足跡を活かした広域交流と共同イベントの開催	一部、実現 最古の官道竹内街道で連携。太子サミット、二上山サミットや河内源氏に由来する鎌倉・相模・陸奥との連携は実現していない。
3-2. 観光情報システムの整備推進	①観光拠点の情報ネットワークシステムの整備	一部、実現 観光まちづくり協会ではインターネット等による情報発信を実施。道の駅を中心に、各観光拠点において町内の全体の観光情報が共有され、自由に取り出せるサービスは未構築。
	②ボランティアによる観光ガイド体制の整備	実現 観光ボランティア「太子街人の会」によって実現。

施策	事業メニュー	実現評価
3-3.わかりやすいサイン・システムの整備	① 総合案内-誘導-個別情報のサイン・システムの整備	近鉄上ノ太子駅、道の駅において総合案内や、観光ルート、知識を深めるためにデザイン統一した案内板、道標などの整備は未着手。
	② 外国人観光者に対応した案内ガイド・サイン整備	観光通訳の派遣体制、外国語併記の観光ガイド、サインなどが未整備。
3-4.質の高い社会基盤整備の推進	① 人にやさしいバリアフリー空間の整備	一部、実現 観光施設等のバリアフリー化を推進中。
	② 歴史を重ねていく質の高い都市基盤の整備	一部、実現 時間経過とともに風合いを増していく素材・材質で、質の高い公共空間を整備。
4. 豊かな味覚と時間の流れる里づくり		
4-1.地場産業、土産品の開発支援	① 産物の加工・開発・販売開拓の支援	農産物加工・商品化やサヌカイト等の鉱物資源の加工・商品化、ブランド化が実現できていない。
4-2.多様な宿泊機能の整備	① 多様な宿泊機能の整備	太子町の風土、歴史を活かし、価格、サービスなど多様な旅籠風の旅館、民宿、ペンション、ホテル、野外施設等の宿泊施設は立地していない。
	② レクリエーション施設の活用と連携強化	総合スポーツ公園、民間施設(太子温泉、万葉の森)や唐川、二上山などレクリエーション施設等の連携・利用増進など実現していない。
4-3.名所となる飲食店の育成・誘致	① 地元素材をいかした名物料理の形成	地場の素材を活かす郷土料理などの開発が実現できていない。
	② 特色あるサービスを提供する飲食店の育成、誘致	特産品の産直提供やパフォーマンスを盛り込んだサービス提供をおこなう飲食店の育成・誘致などができていない。

(4) これまでの太子町における観光関連の主な取組み

太子町では平成9年に「太子町観光ビジョン」が策定され、それに基づく観光政策・事業が展開されているが、その前後においても太子町では観光に関連する取組みが行われてきている。

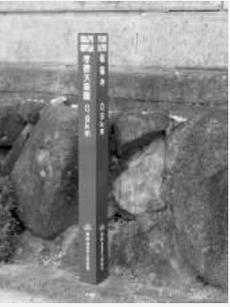
太子町においてこれまで進められてきた観光関連のハード面における大きいな取組みとしては、平成2年の竹内街道整備事業をはじめ、平成5年の太子町立竹内街道歴史資料館、平成9年の道の駅「近つ飛鳥の里・太子」、平成16年の太子・和みの広場、平成27年の「竹内街道交流館」の整備などがある。

またソフト面では、平成19年のボランティア組織である「太子街人の会」の発足や平成21年の太子町のマスコットキャラクター「たいしくん」の商標登録などがあり、平成24年には「太子町観光・まちづくり協会」が設立されている。

これまでの太子町における観光関連の主な取組み

年	観光関連計画等	観光関連施設整備等	観光関連イベント等	広域連携等
H1 (1989)				
H2 (1990)		竹内街道整備		華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会
H3 (1991)		二上山万葉の森		
H4 (1992)				
H5 (1993)		太子町立竹内街道歴史資料館  看板設置2基 		
H6 (1994)				太子サミット（奈良県斑鳩町・兵庫県太子町）
H7 (1995)		歴史国道整備事業	「竹内街道」歴史国道に認定	

年	観光関連計画等	観光関連施設整備等	観光関連イベント等	広域連携等
H8 (1996)	第3次太子町総合計画	唐川ふるさと砂防事業 ウォーキングトレイル事業 地域総合オアシス整備事業 看板設置7基 	ふるさと散歩道ガイドブック「平成太子の万葉集」発行	
H9 (1997)	太子町観光ビジョン 	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」 		太子ゆかりの地友好都市提携（奈良県斑鳩町・兵庫県太子町）
H10 (1998)			ツール・ド大阪たいしウォーキング	
H11 (1999)				
H12 (2000)				
H13 (2001)		南阪奈道路（太子インターチェンジ）		
H14 (2002)				
H15 (2003)				
H16 (2004)		大道旧山本家住宅 太子・和みの広場 	「おおさか山の日」イベント	

年	観光関連計画等	観光関連施設整備等	観光関連イベント等	広域連携等
H17 (2005)		看板修繕 4 基（観光協議会） 		
H18 (2006)	第 4 次太子町総合計画			
H19 (2007)			観光ボランティア「太子街人の会」	
H20 (2008)				
H21 (2009)		看板設置 5 基（竹内街道）  看板修繕 15 基（河内ふるさとのみち） 	「たいしくん」商標登録 	
H22 (2010)				
H23 (2011)				
H24 (2012)			太子町観光・まちづくり協会設立	竹内街道・横大路（大道）活性化実行委員会（12 自治体） 太子町竹内街道 1400 年実行委員会

年	観光関連計画等	観光関連施設整備等	観光関連イベント等	広域連携等
H25 (2013)		太子町まちづくり観光交流センター 	羽曳野市・藤井寺市・太子町シネマプロジェクト	
H26 (2014)		看板設置他 10 基 		
H27 (2015)		竹内街道交流館 		

(5) 広域連携

太子町では観光施策・事業を推進していくにあたり、町単独ではなく、近隣市町村とも連携してきている。

① 竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会

街道沿線の 10 市町村（大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村）と大阪府、奈良県の 12 自治体による横断的な連携組織。竹内街道が敷設 1400 年を迎えたことを契機に、沿線の自治体が一体となり、産学民と連携し、竹内街道・横大路とその周辺地域の魅力を再発掘し、国内外に情報を発信することや、それら地域をつなぎ、紡ぐことにより、さまざまな交流を促進し、地域の活性化につなげ、地域に愛着や誇りを醸成することを目的として設置。

② 聖徳太子ゆかりの地友好都市

聖徳太子ゆかりの地として歴史をもつ、太子町と兵庫県太子町、奈良県斑鳩町の三町は、教育・文化・観光・経済等の交流によって相互の理解を深め、地域社会の発展と振興に寄与するため、友好都市の提携を行っている。

それぞれのイベント「ふれあい TAISHI」（太子町）、「太子あすかふるさとまつり」（兵庫県太子町）、「斑鳩の里ふるさと秋祭り」（奈良県斑鳩町）に相互参加・出店するとともに、「三町交流中学生太子サミット」として各町の中学生在が年に一度集い、ともに学ぶ事業としてバレーボール大会などのイベントを実施している。

③ 羽曳野市、藤井寺市、太子町シネマプロジェクト

太子町と羽曳野市・藤井寺市が連携し、地域資源の魅力を広く内外に発信し、地域ブランドの向上、地域活性化を目的として、映画製作の支援等を行う「羽曳野市、藤井寺市、太子町シネマプロジェクト」を展開している。3市町を舞台に撮影された映画『あしたになれば。』（三原光尋監督作品、2015年製作）は、第6回北京国際映画祭の「2016北京・日本映画週間」で上映された。

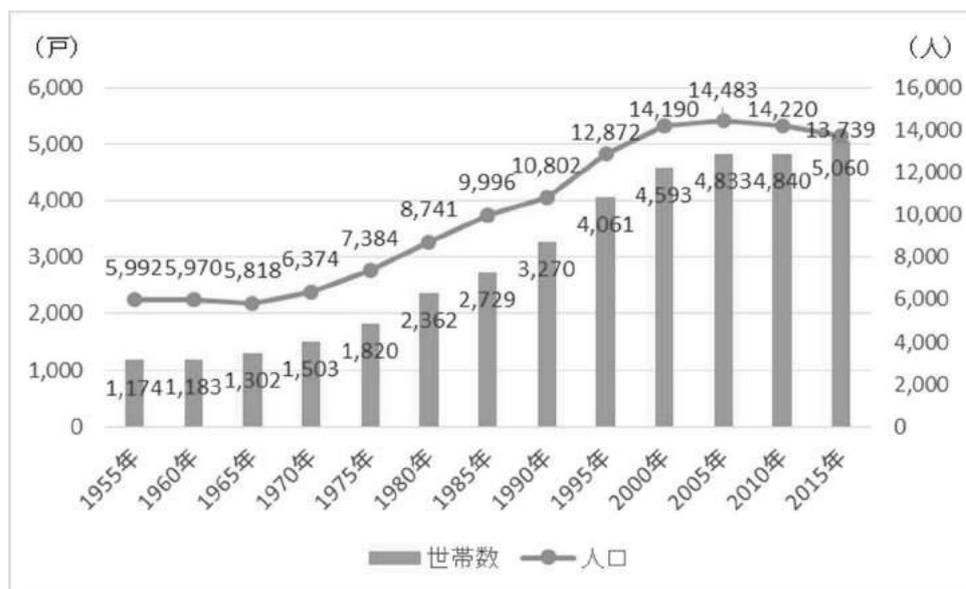
④ 華やいで大阪・南河内観光キャンペーン

南河内を中心とする大阪の観光魅力のPRを行うとともに、観光客の受け入れ体制の充実と観光客の誘致促進を目的に設置。藤井寺市、河内長野市、富田林市、大阪狭山市、河南町、千早赤阪村、羽曳野市、松原市、太子町をはじめ、大阪府、大阪観光局、近畿日本鉄道（株）、南海電気鉄道（株）、（株）りそな銀行等で構成。

(6) 太子町における観光まちづくりに関するデータ整理

既存の各種統計データ等から、太子町の観光まちづくりに関連するデータを整理した。

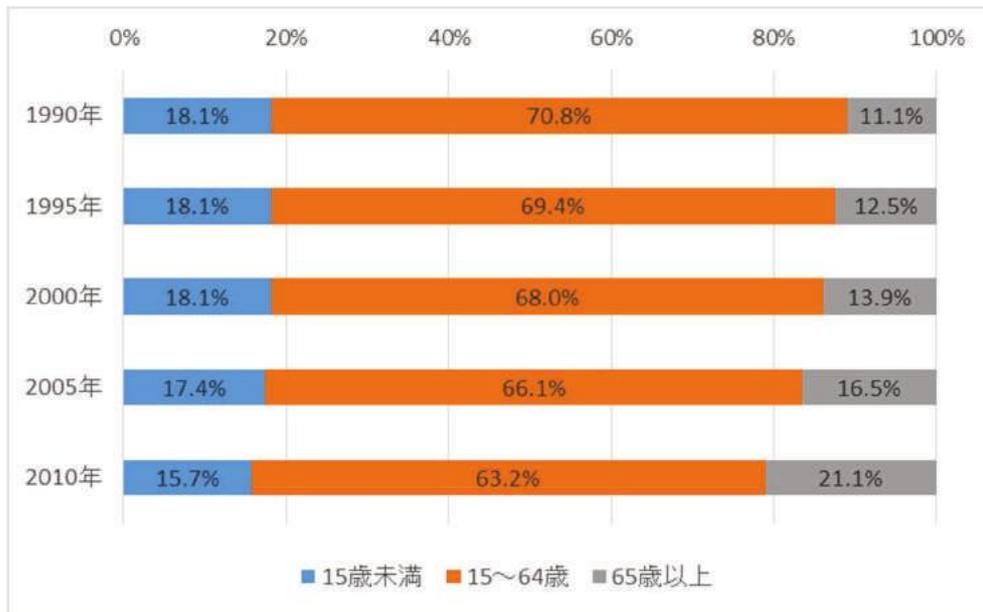
① 人口・世帯数



出典：2010年までは国勢調査、2015年は住民基本台帳

- ・ 太子町の人口は2005年頃をピークに減少傾向にある一方、世帯数は増加傾向にある。

② 年齢構成



出典：国勢調査（2010年）

- ・ 太子町では15歳未満（年少人口）と15～64歳（生産年齢人口）がともに減少傾向にある一方、65歳以上（老年人口）が急激に増加しており、少子化・高齢化が進行している。

③ 人口の自然増減・社会増減



出典：町資料

- ・ 平成18年に自然増減・社会増減の合計がマイナスに転じ、平成22年に若干プラスになったものの、その後もマイナスが続いている。

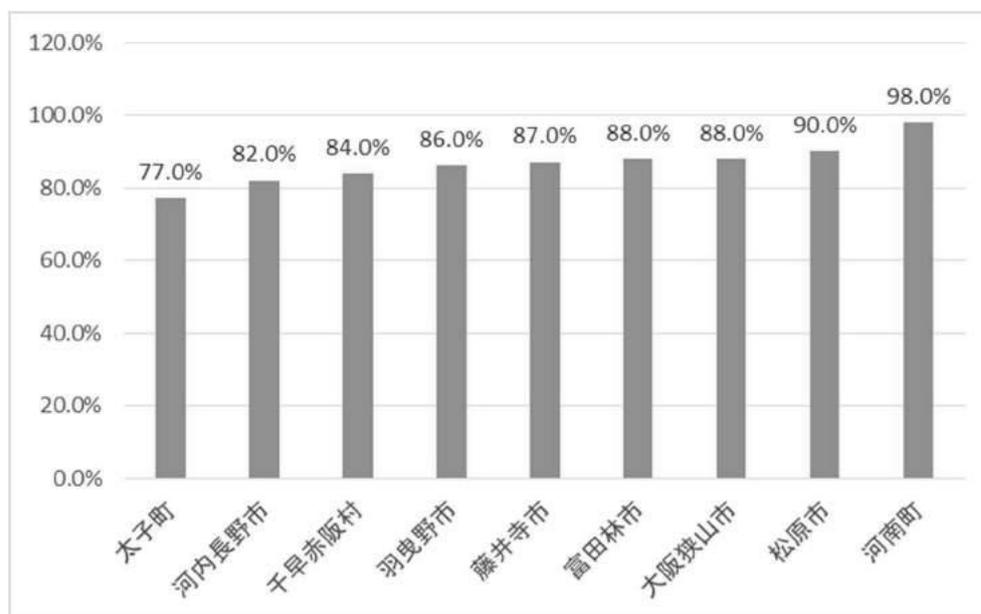
転入／転出状況（2005年～2010年）

	転入元		転出先	
1位	羽曳野市	223人	富田林市	167人
2位	富田林市	146人	羽曳野市	157人
3位	大阪市	145人	大阪市	142人
4位	堺市	88人	堺市	94人
5位	藤井寺市	86人	藤井寺市	76人
6位	河南町	48人	河南町	46人
7位	河内長野市	45人	柏原市	37人
8位	柏原市	36人	河内長野市	36人
9位	松原市	35人	特別区部	35人
10位	八尾市	26人	松原市	34人
	合計	1,390人	合計	1,403人

出典：国勢調査（2010年）

- ・ 2005年～2010年にかけての太子町は13人の社会減。
- ・ 転入／転出ともに、1～10位のラインナップはほとんど変わらない。

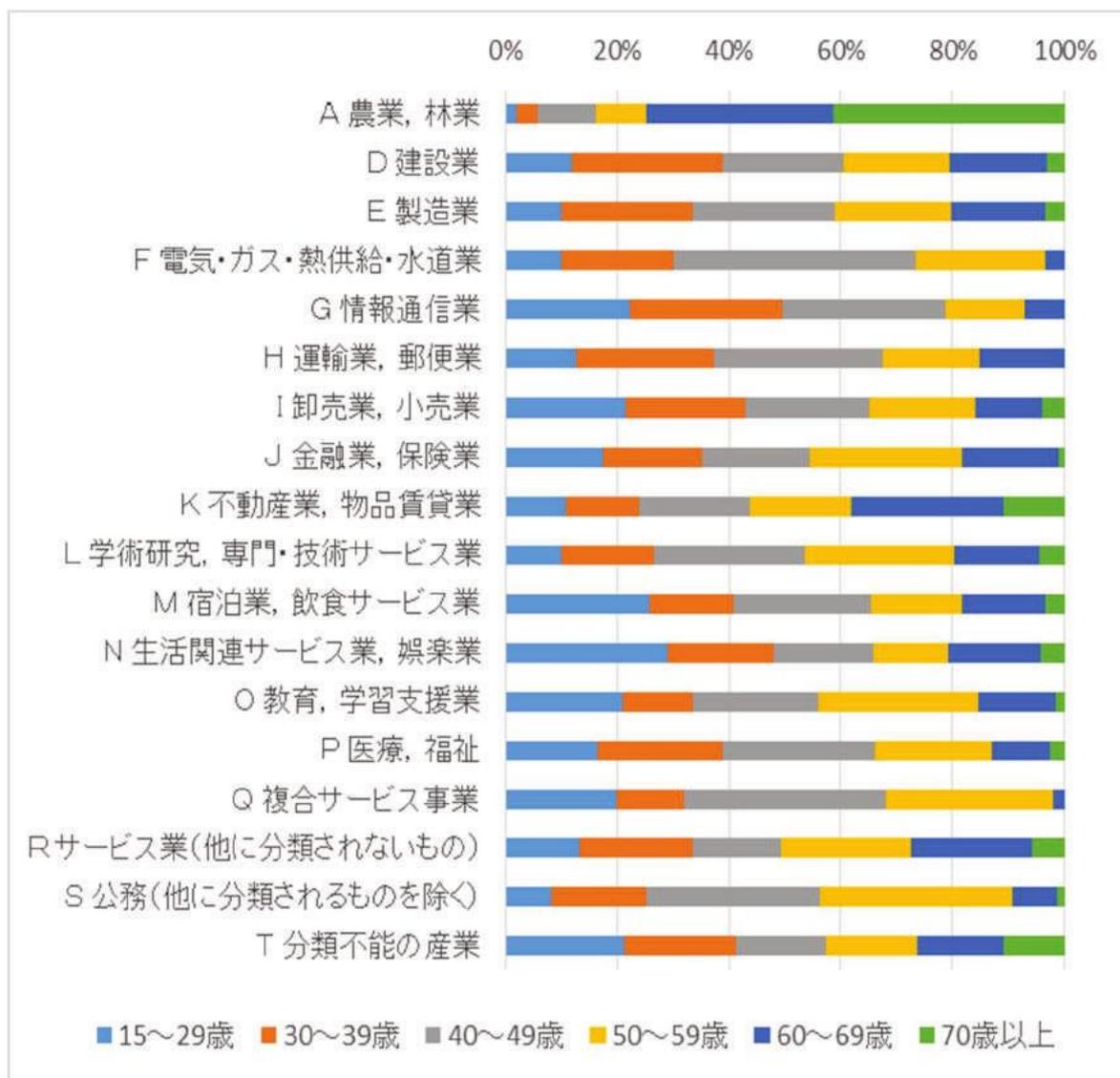
④ 産業



出典：国勢調査（2010年）

- ・ 太子町の昼間人口比率は周辺都市と比べても低い水準にあり、通勤・通学等で町外へ通っている人が多いことが分かる。

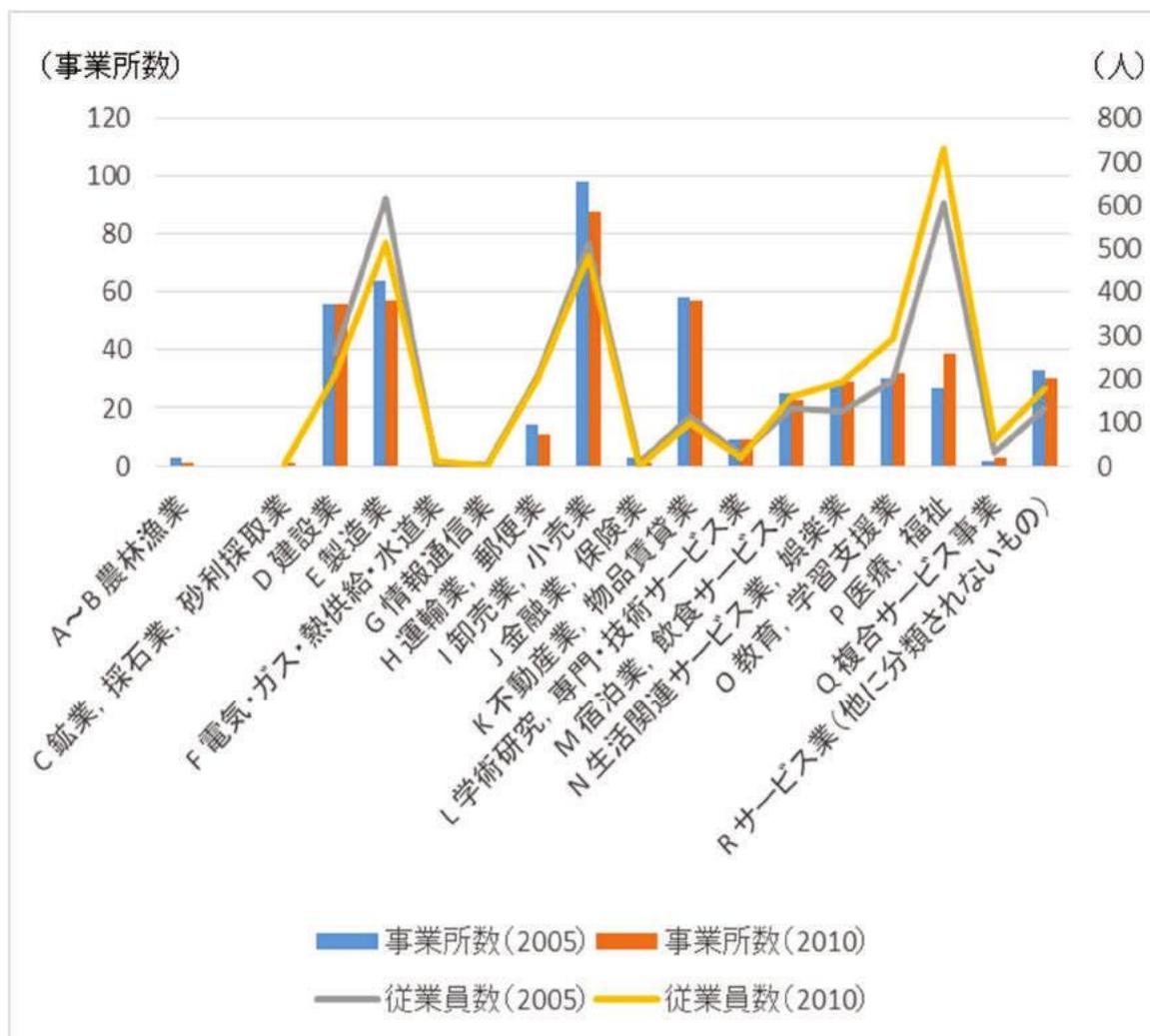
産業構成比



出典：国勢調査（2010年）

- ・ 農業、林業の高齢化が顕著に表れており、後継者に引き継がれない限り、今後、確実に農業、林業は衰退していくこととなり、耕作放棄地等が増加すると考えられる。
- ※ 太子町では「B 漁業」「C 鉱業、採石業、砂利採取業」に従事する人がいないため、ここでは割愛している。

事業所数と従業員数

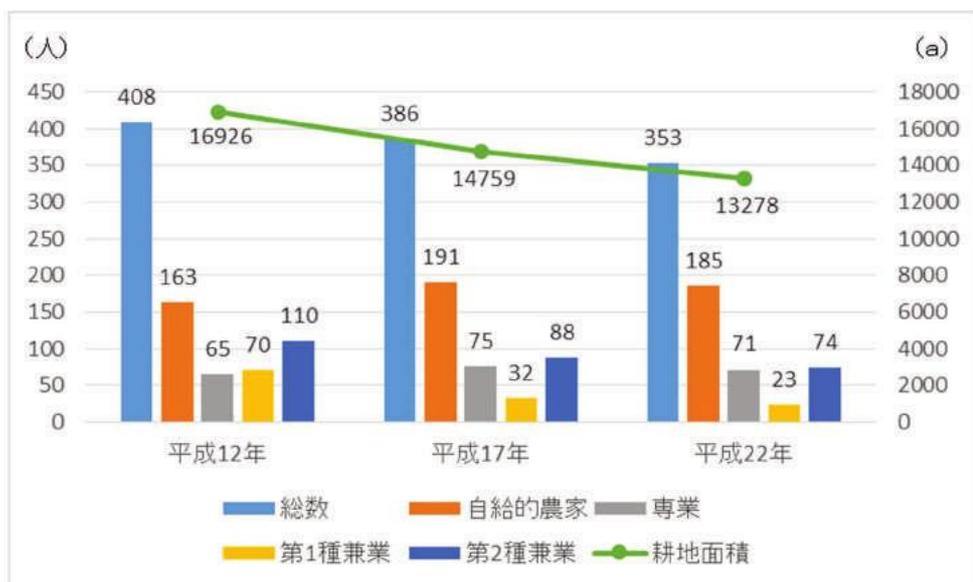


出典：経済センサス

- ・ 事業所数、従業員数ともに「医療、福祉」分野は増加しているが、その他の産業では横ばいか減少傾向にある。

※ 2005年の調査結果では「S 公務」の事業所数及び従業員数が公表されておらず、2010年時との比較ができないことから、ここでは割愛している。また、経済センサスの調査においては、国勢調査にある「T 分類不能な産業」の分類がない。

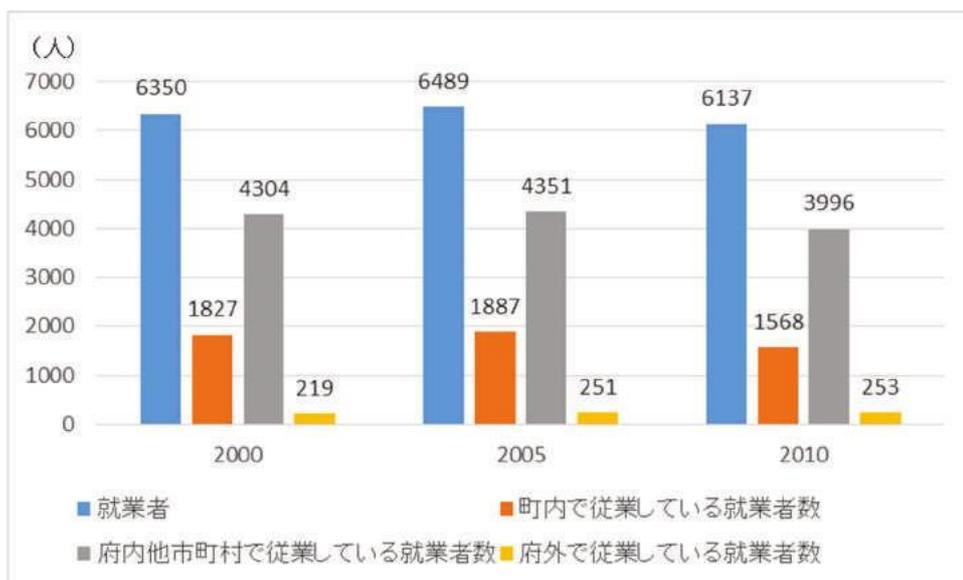
農業従事者数と耕作面積



出典：大阪府統計年鑑

- ・ 農家は「自給的農家」が増えているものの、その他はすべて減少傾向にある。
- ・ 農家数の減少に伴い、耕作面積も年々、縮小している。

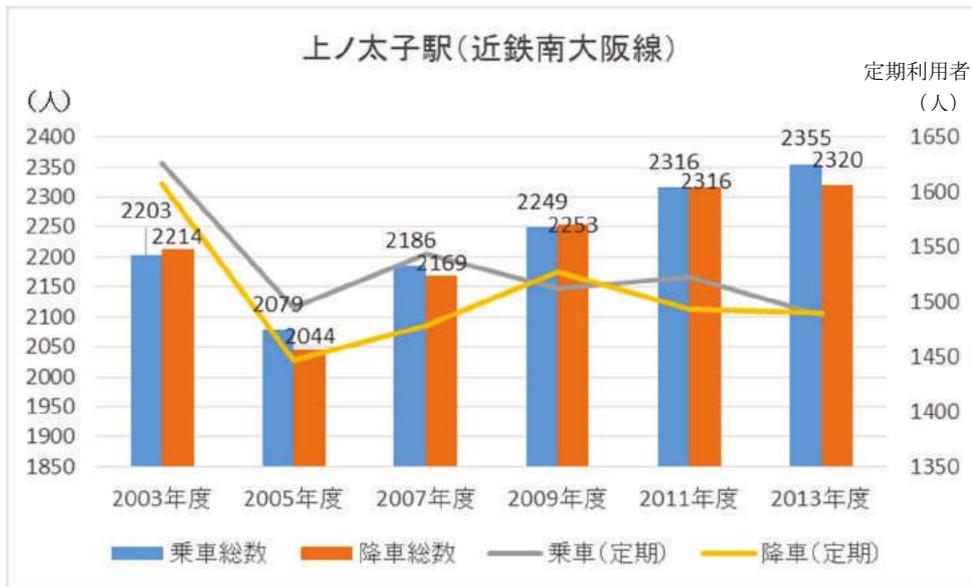
就業地



出典：国勢調査

- ・ 全体として従業者が減少傾向にあり、内訳としては町内で従業している就業者数、府内他市町村で従業している就業者数が大きく減少していることがわかる。

⑤ 最寄りの鉄道駅の乗降客数
 近鉄上ノ太子駅の乗降客数



出典：大阪府統計年鑑

- ・ 上ノ太子駅は近年、「乗車総数」「降車総数」とともに増加傾向にあるものの、定期利用者については、「乗車(定期)」が減少、「降車(定期)」が横ばいとなっている。

近鉄喜志駅の乗降客数



出典：大阪府統計年鑑

- ・ 喜志駅は「乗車総数」「降車総数」とともに減少傾向が続いており、定期利用者も同様に減少傾向となっている。
- ・ 近年、利用者が減少傾向にあるものの、利用者数は上ノ太子駅の4倍近くある。

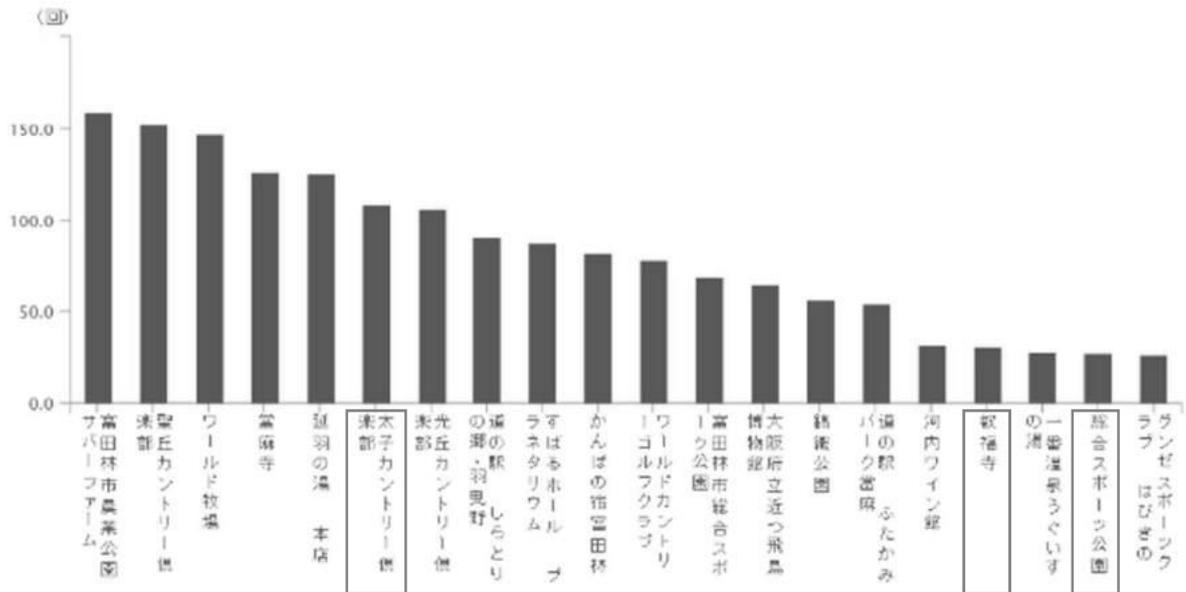
⑥ RESAS（地域経済分析システム）による観光分析
観光マップ／目的地分析

指定地域の目的地一覧

表示年月：2015年すべての期間（平日）

指定地域：大阪府太子町、大阪府羽曳野市、大阪府河南町、大阪府富田林市、奈良県葛城市

交通手段：自動車



出典：株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」

- ・ ナビゲーションアプリケーションの目的地検索において、太子町及び近隣市町の検索回数が多い目的地は「富田林市農業公園サバーファーム」、「聖丘カントリー倶楽部」「ワールド牧場」となる。
- ・ 太子町の上位は「太子カントリー倶楽部」「叡福寺」「総合スポーツ公園」の順。
 - ※ 検索回数は、同一ユーザの重複を除いた月間のユニークユーザ数。下記条件に全て該当した場合にのみ表示。
 - ※ 施設分類が、観光資源、宿泊施設や温泉、広域からの集客が見込まれるレジャー施設や商業施設に該当。
 - ※ 年間検索回数が自動車は 50 回、公共交通は 30 回以上。
 - ※ 年間検索回数が全国 1000 位以内または都道府県別 50 位以内または市区町村別 10 位以内。

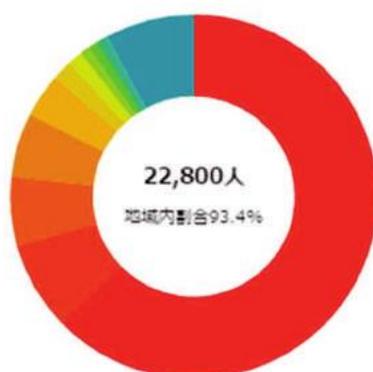
観光マップ／出発地分析（平日、平成 27 年）

滞在人口合計：24,400人（滞在人口率：1.72倍）

（国勢調査人口：14,220人）

滞在人口 / 都道府県内

（市区町村単位）
2015年

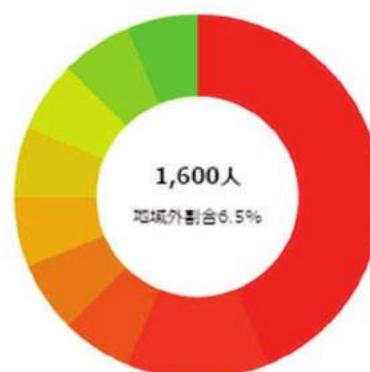


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 大阪府木子町 14,300人 (62.7%)
- 2位 大阪府羽曳野市 1,800人 (7.8%)
- 3位 大阪府豊田林市 1,400人 (6.1%)
- 4位 大阪府堺市東区 1,300人 (5.7%)
- 5位 大阪府河津町 900人 (3.9%)
- 6位 大阪府柏原市 400人 (1.7%)
- 7位 大阪府大阪市淀川区 300人 (1.3%)
- 8位 大阪府大阪市天王寺区 200人 (0.8%)
- 9位 大阪府松原市 200人 (0.8%)
- 10位 大阪府八尾市 200人 (0.8%)
- その他 1,800人 (7.8%)

滞在人口 / 都道府県外

（市区町村単位）
2015年



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 奈良県香芝市 700人 (43.7%)
- 2位 京都府京田辺市 200人 (12.5%)
- 3位 和歌山県橋本市 100人 (6.2%)
- 4位 奈良県広陵町 100人 (6.2%)
- 5位 奈良県葛城市 100人 (6.2%)
- 6位 奈良県橿原市 100人 (6.2%)
- 7位 奈良県大和郡山市 100人 (6.2%)
- 8位 奈良県奈良市 100人 (6.2%)
- 9位 兵庫県川西市 100人 (6.2%)

出典：株式会社 Agoop「流動人口データ」

※ 滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が2時間の人口を表している。

滞在人口の出発地（平日、平成 27 年）

市町村名	人数（人）	構成比
太子町と隣接市町	19,200	78.7%
堺市東区	1,300	5.3%
柏原市	400	1.6%
大阪市淀川区	300	1.2%
大阪市天王寺区	200	0.8%
松原市	200	0.8%
八尾市	200	0.8%
京田辺市	200	0.8%
橋本市	100	0.4%
広陵町	100	0.4%
橿原市	100	0.4%
大和郡山市	100	0.4%
奈良市	100	0.4%
川西市	100	0.4%
その他	1,800	7.4%
	24,400	100.0%

出典：株式会社 Agoop「流動人口データ」

- ・ 調査協力に同意を得たスマートフォンアプリ利用者で、太子町に 2 時間以上滞在した人の出発地から算出。
 - ・ 滞在人口の属性としては都道府県内、都道府県外ともに近隣市の割合が非常に高い。
 - ・ 平日滞在人口の 93.4%が大阪府内の人であり、そのうち太子町とその隣接市町（羽曳野市、富田林市、河南町）の人が 8 割弱を占めており、近隣市も多いことから純粋に観光に訪れている人は少数だということが推測される。
- ※ 滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が 2 時間の人口を表している。

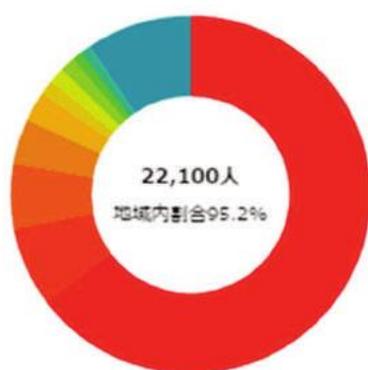
観光マップ／出発地分析（休日、平成 27 年）

滞在人口合計：23,200人（滞在人口率：1.63倍）

（国勢調査人口：14,220人）

滞在人口 / 都道府県内

（市区町村単位）
2015年

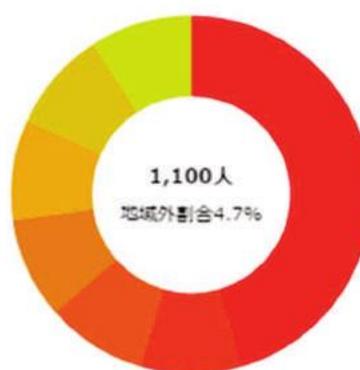


滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 大阪府太子町 14,300人 (64.7%)
- 2位 大阪府羽曳野市 1,600人 (7.2%)
- 3位 大阪府葛田林市 1,300人 (5.8%)
- 4位 大阪府河津町 900人 (4.0%)
- 5位 大阪府堺市東区 600人 (2.7%)
- 6位 大阪府河内長野市 300人 (1.3%)
- 7位 大阪府八尾市 300人 (1.3%)
- 8位 大阪府藤井寺市 300人 (1.3%)
- 9位 大阪府松原市 200人 (0.9%)
- 10位 大阪府堺市美原区 200人 (0.9%)
- その他 2,100人 (9.5%)

滞在人口 / 都道府県外

（市区町村単位）
2015年



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 奈良県香芝市 500人 (45.4%)
- 2位 滋賀県近江八幡市 100人 (9.0%)
- 3位 奈良県葛城市 100人 (9.0%)
- 4位 奈良県五條市 100人 (9.0%)
- 5位 奈良県橿原市 100人 (9.0%)
- 6位 奈良県大和郡山市 100人 (9.0%)
- 7位 奈良県大和高田市 100人 (9.0%)

出典：株式会社 Agoop「流動人口データ」

※ 滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が2時間の人口を表している。

滞在人口の出発地（休日、平成 27 年）

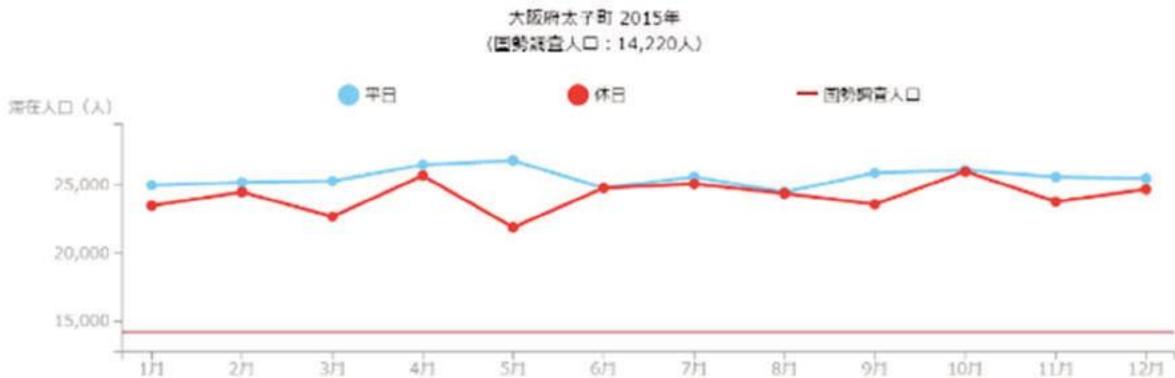
市町村名	人数（人）	構成比
太子町と隣接市町	18,700	80.6%
堺市東区	600	2.6%
河内長野市	300	1.3%
八尾市	300	1.3%
藤井寺市	300	1.3%
松原市	200	0.9%
堺市美原区	200	0.9%
近江八幡市	100	0.4%
五條市	100	0.4%
橿原市	100	0.4%
大和郡山市	100	0.4%
大和高田市	100	0.4%
その他	2,100	9.1%
合計	23,200	100.0%
太子町と隣接市町	18,700	80.6%
堺市東区	600	2.6%

出典：株式会社 Agoop「流動人口データ」

- ・ 調査協力に同意を得たスマートフォンアプリ利用者で、太子町に 2 時間以上滞在した人の出発地から算出。
 - ・ 滞在人口の属性としては都道府県内、都道府県外ともに近隣市の割合が非常に高い。
 - ・ 休日滞在人口の 95.2%が大阪府内の人であり、そのうち太子町とその隣接市町（羽曳野市、富田林市、河南町）の人が 8 割以上を占めており、近隣市も多いことから純粋に観光に訪れている人は少数だということが推測される。
- ※ 滞在人口とは、市区町村単位で滞在時間が 2 時間の人口を表している。

観光マップ／滞在人口率

滞在人口月別推移

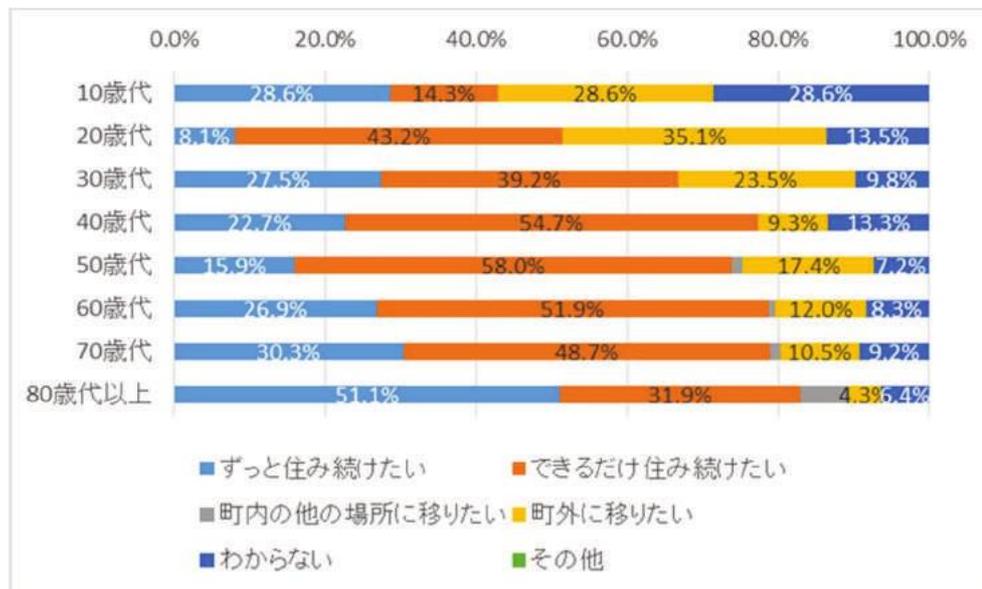


出典：株式会社 Agoop「流動人口データ」

- ・ 調査協力に同意を得たスマートフォンアプリ利用者で、太子町に 2 時間以上滞在した人の月別の分布は、平日は年間を通じて一定の割合があるものの、休日は 3 月、5 月に落ち込み、4 月、10 月が他の月よりも高い水準となっている。
- ※ 滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が 2 時間の人口を表している。

⑦ 住民アンケート (平成 27 年)

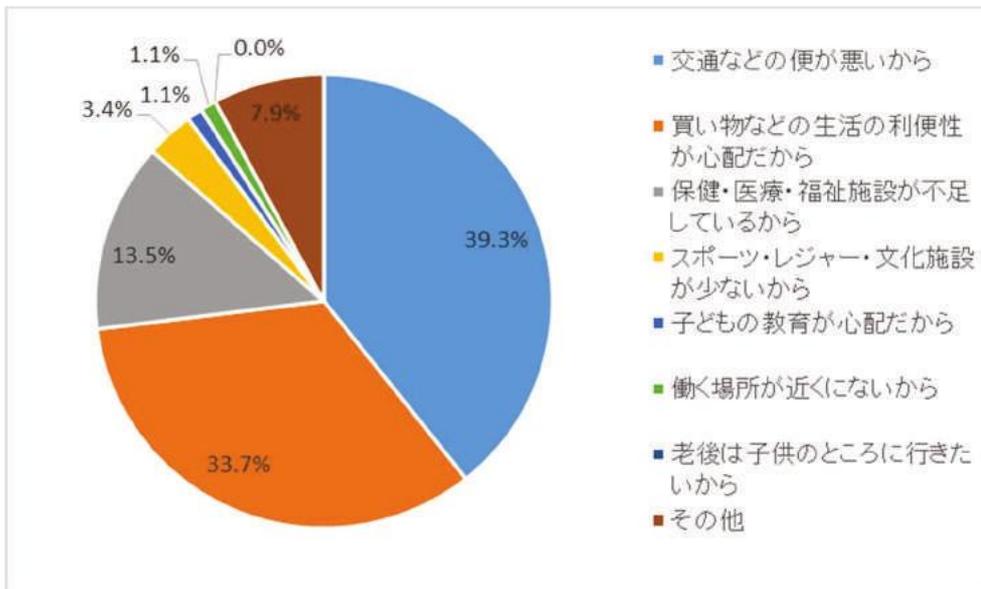
定住意向 (n=488)



出典：第 5 次総合計画策定のための住民アンケート調査 (平成 27 年)

- ・ 20 歳代は他の年代に比べて「ずっと住み続けたい」と回答した割合が最も少なく、「町外に移りたい」と回答した割合が最も多かった。
- ・ 特に 10 歳代～30 歳代までの人に「町外に移りたい」という転出意向を示した人が多い。

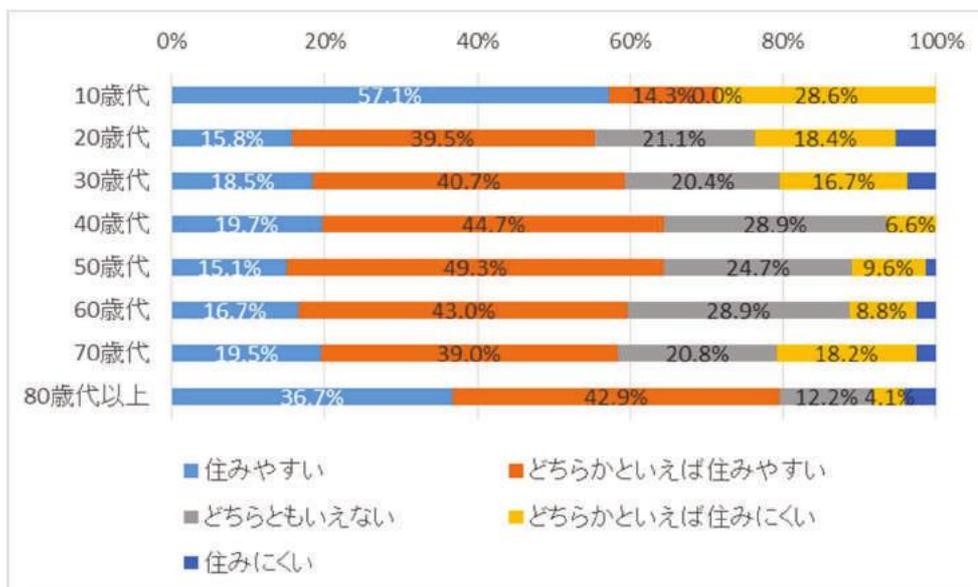
町外に転居した理由（定住意向で「町外に移りたい」と回答した人のみ回答）（n=87）



出典：第5次総合計画策定のための住民アンケート調査（平成27年）

- ・ 転出意向を示す理由としては、「交通などの便が悪いから」「買い物などの生活の利便性が心配だから」「保険・医療・福祉施設が不足しているから」の上位3項目で86.5%を締め、生活利便性の悪さに不満を持っている人が多い。

住みやすさ（n=488）



出典：第5次総合計画策定のための住民アンケート調査（平成27年）

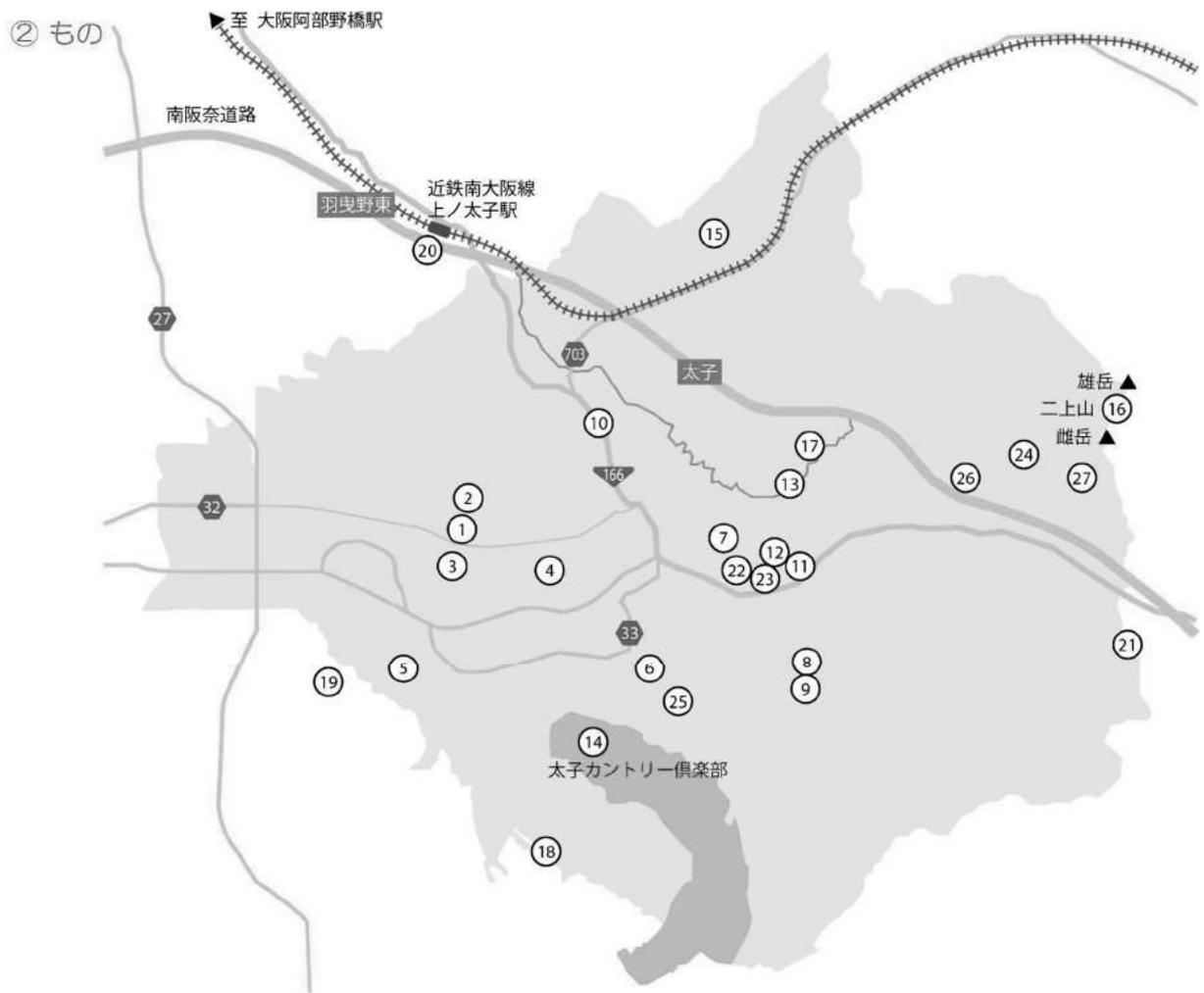
- ・ 全年代を通じて、60%程度の人が「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答しており、特に10歳代と80歳代は他の年代よりも住みやすいと感じている人が多い。

(7) 太子町の観光まちづくり資源の整理

太子町の観光まちづくり資源を「ひと」「もの」「こと」の3分類で整理した。

① ひと

No.	活動団体	概要
1	太子町観光・まちづくり協会	平成24年に設立された太子町の観光協会。観光事業の実施や観光案内所の運営などを行っている。
2	たいしくん	太子町の公式マスコットキャラクター。
3	たいし聖徳市実行委員会	毎月第3日曜日におこなっている青空市「たいし聖徳市」の実行組織。 ※事務局は「太子町観光・まちづくり協会」
4	たいし聖徳市特産品開発チーム	「たいし聖徳市」から生まれた太子町の特産品を開発するチーム。これまでに「太子みかんソース」などの開発をおこなっている。
5	太子聖燈会の会	平成28年で9回目の開催となった「太子聖燈会」を企画・実施する組織。 ※事務局は「太子町観光・まちづくり協会」
6	竹内街道にぎわいつくり協議会	平成28年で8回目の開催となる「竹内街道灯路祭り」を企画・実施する組織。 ※事務局は「太子町観光・まちづくり協会」
7	竹内街道・横大路(大道)活性化実行委員会	竹内街道・横大路が整備されて1400年を迎えたことを契機に、沿線自治体が一体となり、その魅力を再発掘し、国内外に魅力を発信することを目的とした組織。街道沿線の10市町村(大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)と、大阪府と奈良県が加盟。
8	最古の官道“竹内街道”ルネッサンス構想推進協議会	「NPO、企業、行政が一体となって、竹内街道と地域が持つ魅力を掘り起し、交流の歴史や道の役割を広くPRするとともに、道案内の充実、安全な歩行空間の確保など、みちづくりとまちづくりに取組む」ことを目的とした組織。(NPO法人ゴダイ、NPO法人竹の内街道歩き隊、近畿日本鉄道株式会社、西日本高速道路株式会社関西支社、大阪府道路公社、大阪府、奈良県、堺市、松原市、羽曳野市、葛城市、太子町)が加盟。 ※事務局は大阪府
9	歴史街道推進協議会	「日本各地に散在する歴史資源に新しい魅力的な切り口でスポットをあて、世界の誰からも親しまれる『日本の顔』『日本文化の体感ルート』をつくりたい」との思いから設立された団体で、多数の「省庁」「経済団体・各種団体」「民間企業」「府県・市町村」が会員となっている。 ※太子町は会員ではない
10	太子街人の会	少人数~30人ほどまでのグループガイドを受けつける太子町の観光ボランティアガイドグループ。
11	唐川ホテルを守る会	ホテルの保護区域に指定されている唐川の除草や清掃活動を行う団体で、毎年6月にはホテル観賞会を開催している。
12	太子道日本遺産認定推進協議会	聖徳太子ゆかりの「太子道(たいしみち)」を文化庁創設の日本遺産に認定することをめざす組織。斑鳩町と王寺町が発起人となり、沿道の自治体が参加。構成メンバーは斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、橿原市、明日香村、王寺町、香芝市、太子町の10市町村と法隆寺、橘寺、叡福寺の3カ寺の計14団体。2017年1月までに申請書を作成し、2017年春の認定をめざしている。 ※会長は王寺町長



No.	施設名
1	叡福寺
2	聖徳太子御廟
3	西方院
4	用明天皇陵
5	敏達天皇陵
6	推古天皇陵
7	孝徳天皇陵
8	科長神社
9	小野妹子墓
10	竹内街道
11	道の駅 近つ飛鳥の里・太子
12	太子町立竹内街道歴史資料館
13	太子温泉

No.	施設名
14	太子カントリー倶楽部
15	上の太子観光みかん園
16	二上山
17	唐川
18	大阪府立近つ飛鳥博物館
19	大阪芸術大学
20	上ノ太子駅前観光案内所（臨時）
21	ダイヤモンドトレイル
22	大道旧山本家住宅
23	竹内街道交流館
24	二上山万葉の森
25	二子塚古墳
26	鹿谷寺跡
27	岩屋

No.	施設名	概要
1	叡福寺	聖徳太子墓を守護するために、推古天皇によって建立された寺院。戦国時代に織田信長の兵火により焼失したものの、豊臣秀頼により、伽藍が再興された。府指定史跡。
2	聖徳太子御廟	推古天皇の摂政として、十七条憲法や冠位十二階、遣隋使の派遣などの進んだ政治制度や文化を取り入れたことで知られる聖徳太子の日本で唯一の墓。 ※聖徳太子は太子町の名前の由来でもある。
3	西方院	叡福寺の迎えに建つお堂。聖徳太子の死後に、その乳母であった月益姫、日益姫、玉照姫(それぞれ蘇我馬子、小野妹子、物部守屋の娘とされる)の3人が、剃髪して仏門に入り、太子の冥福を祈って墓前に建立したのが起源。
4	用明天皇陵	用明天皇の墓。東西 65 メートル、南北 60 メートル、高さ 10 メートルの方墳で、周囲には幅 7 メートルの空濠を巡らせており、この濠の外堤までを含めた規模は、一辺 100 メートルに達する巨大な規模を有している。
5	敏達天皇陵	敏達天皇の墓。敏達天皇陵は全長約 93 メートルの磯長谷では唯一の前方後円墳で、周囲には空濠を巡らせている。
6	推古天皇陵	日本初の女帝である推古天皇の墓。東西に長い三段築成の長方墳。
7	孝徳天皇陵	孝徳天皇の墓。別名「うぐいすの陵」と呼ばれ、竹内街道沿いに位置する直径約 30 メートルの小さな円墳。
8	科長神社	科長神社は、平安時代の『延喜式』という書物に記録された式内社と呼ばれる由緒のある神社。級長津彦命(しながつひこのみこと)、級長津姫命(しながつひめのみこと)など 8 柱を祀るために、八社大明神とも呼ばれる。毎年 7 月 24 日から 30 日の間の日曜日の例祭には、神輿と地車 5 台が出され、地域が賑わう。
9	小野妹子墓	小野妹子の墓。黒田博樹投手(元プロ野球選手)が高校時代(上宮高校)にトレーニングをしていた場所としても知られる。
10	竹内街道	大阪府堺市から奈良県葛城市の長尾神社付近に至る約 26km の街道で、日本最古の官道と言われている。現在、そのほとんどの区域が国道 166 号に指定されており、太子町内を縦断している。一部、修景整備もしており、歴史的な雰囲気漂う街道となっている。
11	道の駅 近つ飛鳥の里・太子	太子町にある道の駅で、太子町の農産物が買えるほか、観光情報や交通情報の提供も行っている。平成 28 年度から平成 29 年度にかけて、物販エリアの増築が予定されている。
12	太子町立竹内街道歴史資料館	平成 5 年にオープンした竹内街道に関する資料館。竹内街道と太子町の関わりが分かりやすく展示されている。
13	太子温泉	二上山のふもとに湧く大阪府公認の天然温泉。泉質は弱アルカリ性単純温泉で、温泉大浴場があり、大・中宴会場もある。宿泊可。
14	太子カントリー倶楽部	太子町にあるゴルフ場。施設内のレストラン SAKURA は、ゴルフ以外の一般客の利用も可。
15	上の太子観光みかん園	1 万本ものみかんの木が植えられている関西最大規模のみかん園。アスレチックも併設されており、毎年、シーズンには多くの観光客が訪れる。
16	二上山	万葉の昔から親しまれてきた山で、「ふたかみやま」とも呼ばれている。山麓からは石器の材料になったサヌカイトや、石棺や礎石に利用された凝灰岩が採取されており、考古学的にも重要な意味を持っている。
17	唐川	ホテルの保護区域に指定されており、毎年 6 月にホテルの鑑賞会が開催されている。

No.	施設名	概要
18	大阪府立近つ飛鳥博物館 (河南町)	「近つ飛鳥」という固有名詞・地域性と、「古墳文化」を2本の柱とする府立博物館。建築設計は安藤忠雄氏が手掛けており、「平成の古墳」として知られる。
19	大阪芸術大学(河南町)	西日本最大規模の総合芸術大学。学生とは太子町のイベント等で一部、連携・協力関係にある。
20	上ノ太子駅前観光案内所 (臨時)	近鉄上ノ太子駅に隣接している臨時の観光案内所。太子町内の観光パンフレットの配布やイベント情報の発信のほか、たいしくんグッズなどの販売や特産品のPRなどを行っている。
21	ダイヤモンドトレイル	金剛葛城山系の稜線を縦走する全長約45kmの長距離自然歩道。どんづる峯、二上山、大和葛城山、金剛山、岩湧山、模尾山をむすぶルート。
22	大道旧山本家住宅	竹内街道の沿道にある茅葺の古民家で、大和棟の形態をよく残す「国登録有形文化財(建造物)」。周辺には道しるべや伊勢燈籠などが残されており、人々が行き交ったかつての面影を今に伝える格好のスポットとなっている。
23	竹内街道交流館	観光案内及び竹内街道を散策される人の休憩スポット。絵画や写真、工芸作品などの作品展示や、物販などにも活用できるフリースペースを貸し出している。
24	二上山万葉の森	二上山山麓に整備された公園で、史跡をめぐる園路や広場などがある。雌岳頂上広場からは遠く大阪平野や、晴れていれば大阪湾や明石海峡まで見渡せ、奈良県側には畝傍山、香具山、耳成山の和歌山三山の穏やかな姿も見る事ができる。「大阪みどりの百選」にも選ばれている万葉ロマン豊かなスポット。
25	二子塚古墳	方墳を2基つなぎ合わせた双方墳という珍しい形状を有している国史跡の古墳で、推古天皇陵の南東に位置する。地元には二子塚古墳こそが本当の推古天皇と竹田皇子の合葬陵であるとする言い伝えがある。
26	鹿谷寺跡	奈良時代に凝灰岩の岩盤を掘り込んで作られた大陸風の石窟寺院。岩屋と共に、日本唯一の大陸風の石窟寺院で国史跡に指定されている。寺院の中心部には、十三重の石塔と岩窟に彫りこまれた線刻の三尊仏坐像が遺されており、かつてこの周辺から日本で最初の流通貨幣と考えられる和同開珎が出土した。
27	岩屋	奈良時代に造られた大小2基の石窟から成る石窟寺院。鹿谷寺と共に、日本唯一の大陸風の石窟寺院で国史跡に指定されている。岩屋については文献に何ら記録がなく、どのような氏族が造営にかかわったのか不明。

③ こと

月	イベント名	概要
1	二上山元旦初登り	元旦に二上山に登り、雌岳山頂で初日の出を眺め、新年の祈願をする行事。記念のしゃもじが配られ、人気を呼んでいる。
2	—	—
3	—	—
4	叡福寺大乗会式	聖徳太子の命日にちなんで行われ、「太子まいり」と親しまれている。町内外から多くの参詣者が詰めかけ、境内には露店が並び、大いににぎわう。
	太子聖燈会	1万燈の灯火（ともしび）が彩る灯ろうイベント。まちの活性化につながってほしいとの思いから、地域住民主体で始まった。
	岳のぼり	毎年4月23日に二上山麓周辺地域の人たちが「岳のぼり」と称して、二上山に登る伝統行事。その歴史は古く、江戸時代に出版された「西国三十三所名所図会」という書物にも記載がある。
5	—	—
6	唐川ホタル観賞会	ホタルの保護区域に指定されている唐川で行われるホタルの鑑賞会。「唐川ホタルを守る会」主催のイベント。
7	科長神社夏祭り	毎年7月23日から30日の間の日曜日に行われる科長神社の例祭。太子町周辺では唯一の神輿とだんじりが繰り出す夏祭り。
8	ぶどう祭り	太子町特産物のぶどうの最盛期に道の駅「近つ飛鳥の里・太子」で行われる感謝祭。デラウェア、巨峰、ピオーネなどのぶどうはもちろん、地元でとれた新鮮野菜や太子町特産品などの特売が行われる。
9	—	—
10	竹内街道灯路祭り	竹内街道を舞台に灯ろうを並べ、古民家でのコンサートや軒下ギャラリーなどが行われる地域住民手づくりのイベント。また、時代行列も行われる。
11	道の駅「近つ飛鳥の里・太子」感謝祭	太子町特産物のみかんの最盛期に道の駅「近つ飛鳥の里・太子」で行われる感謝祭。「みかんのすくい取り」や地元でとれた新鮮野菜や太子町特産などの特売も行われる。
12	—	—

(8) 太子町の周辺状況

太子町の観光まちづくり施策を検討していくにあたり、太子町の周辺は立地的に競合することから、太子町周辺における観光まちづくり資源について整理した。



市町村名	主な観光まちづくり資源
羽曳野市（大阪府）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅「しらとりの郷・羽曳野」 ・ 古市古墳群 ・ 誉田八幡宮 ・ 壺井八幡宮 ・ 大津神社 ・ 飛鳥ワイン ・ 河内ワイン ・ チョーヤ梅酒など
富田林市（大阪府）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富田林寺内町 ・ 聖丘カントリー倶楽部 ・ 富田林市農業公園サバーファーム ・ 城山オレンジ園 ・ 富田林獄山温泉（かんぼの宿富田林）など
河南町（大阪府）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近つ飛鳥博物館 ・ 近つ飛鳥風土記の丘 ・ ワールド牧場 ・ ワールドカントリークラブなど
香芝市（奈良県）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二上山 ・ 二上山博物館 ・ どんづる峯 ・ 千股池など
葛城市（奈良県）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 當麻寺 ・ 道の駅「ふたかみパーク當麻」 ・ 二塚古墳 ・ 葛城山 ・ 金剛山 ・ 葛城山自然つつじ園など

2. ヒアリング調査

「太子町観光まちづくりビジョン」に観光まちづくりに関わる事業者や各種団体の意見やアイデアを反映するとともに、ニーズに即した施策を立案していくために、ヒアリング調査を行った。

2-1 ヒアリング調査の実施概要

ヒアリング調査は、太子町で観光まちづくり関連事業を行う事業者7団体、9グループに対して実施した。

(1) 実施日及び団体

実施日	団体
平成28年9月8日(木)	<ul style="list-style-type: none">太子町観光・まちづくり協会①(観光協会)サントル・ドゥ・ヴィラージュ(飲食事業者)好月堂(菓子製造販売業者)
平成28年9月9日(金)	<ul style="list-style-type: none">太子カントリー倶楽部(ゴルフ場経営者)太子町観光・まちづくり協会②(観光協会)上の太子観光みかん園(観光農園経営者)太子温泉(温泉宿泊施設経営者)太子町観光・まちづくり協会③(観光協会)
平成28年9月15日(木)	<ul style="list-style-type: none">道の駅「近つ飛鳥の里・太子」(道の駅)

(2) 調査方法

調査手法は、それぞれの団体に所属する1~3名に対して、「ヒアリング調査シート」に基づき、個別にヒアリングした。

▼ヒアリング調査シート

観光まちづくりに関するヒアリング調査

現在、太子町では地域資源を活かした新たな観光まちづくりの方向性と具体的な施策を検討するため、観光に関わる組織・事業者様へのヒアリング調査を実施しています。

お忙しいなか申し訳ございませんが、以下項目についてお聞きしたいと考えております。もしも、参考となるような資料等がございましたら、お貸し出しいただきますようお願い申し上げます。

1. 観光に関わる事業について

○事業概要

例：開始年度、事業内容、事業規模など

○顧客・利用者の属性

例：年齢、居住地、趣味・嗜好など

○情報発信

例：メディア媒体等

○事業の課題

例：需給バランス、ニーズの変化、収益性など

○事業の展望

例：集客向上の可能性、事業の持続、拡大・縮小など

2. 太子町で観光を進めていくにあたって

○太子町の良いところ悪いところ

○太子町の観光の可能性

○観光を進めるにあたっての行政、住民、他事業者との連携

○観光を進めるにあたっての広域連携の可能性

○太子町のために必要な人・組織・仕組み

○太子町のためにしたいこと

2-2 主な意見

ヒアリング調査から得られた主な意見（一部抜粋）は以下の通りである。

新規事業

- ・ 大道旧山本家住宅でおかゆを作って食べる企画をしてはどうかと検討している
- ・ 総理大臣賞を受賞した菊師が町内におり、その人と一緒に菊園の企画を進めている

商品開発

- ・ 「太子せんべい」を作る予定
- ・ 太子町の食材を使ったスイーツ開発等には興味がある
- ・ 地元の食材を使った商品開発には興味がある
- ・ 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」ではバイカー、自転車をターゲットとした商品展開をしたら良いと思う

仕組み

- ・ 叡福寺と連携するなど、店に誘客できる仕組みがあれば良い
- ・ 太子温泉と相互にサービス券をおくなどはしているが、もっと町全体に拡大しても良い
- ・ 直接消費者を相手とする事業者間では連携が可能だと思うので、連携事業と一緒に検討してみても良いかもしれない

情報発信

- ・ ランチマットに観光マップを使用しており、月 1000 枚程度はけるので、メディアとして活用できる
- ・ 太子町の認知度を高めるには小中学生も巻き込んで、メディアへの露出を増やしていくことが大切だと思う
- ・ 観光スポットがどこにあるか、近隣市も含めて、広く紹介する

提案等

- ・ なごみの広場に常設の販売施設等を作ったら良いと思う
- ・ ぶどう農家も上の太子観光みかん園のように、農家同士で連携して、学校に対して営業をかけるなど、ぶどう狩りの大口の注文を受けてはどうか
- ・ 古民家を活用して、民泊などを実施してはどうか
- ・ 緑が鬱蒼としすぎており、逆に美しい景観を損ねている場合があるので、景観整備するような剪定等を行ったほうが良いように思う
- ・ 棚田の風景がきれいなので、観光に活かしたら良いと思う
- ・ 観光協会はイベントに追われている状況なので、実行委員会をまとめるなどして、会議を減らすなどしてはどうか
- ・ 叡福寺、西方院、旧山本邸などをうまく活用できればいいと思う
- ・ みかん園→温泉・宿泊→御陵めぐりなど宿泊ツアーなどあれば良い
- ・ 名物料理があれば良いと思う
- ・ 観光客が増えた時のために、トイレの整備と屋根のある休憩所、マップ等が必要（御陵などにそれぞれ）

3. アンケート調査

「太子町観光まちづくりビジョン」に観光客等の意見やアイデアを反映するとともに、ニーズに即した施策を立案していくために、アンケート調査を行った。

3-1 ヒアリング調査の実施概要

太子町の観光拠点への来訪者に対し、来訪目的や太子町内の観光資源の認知度や関心度合い、また、どんな観光資源を求めているかなどの意向を把握すること目的としてアンケート調査を実施した。

(1) 実施概要

項目	内容
実施期間	平成28年9月～11月 【ヒアリング式】 <ul style="list-style-type: none">道の駅「近つ飛鳥の里・太子」、叡福寺周辺：平成28年9月15日（木）、平成28年9月18日（日）竹内街道交流館：平成28年11月26日（土） 【留置き式】 <ul style="list-style-type: none">西方院 平成28年9月15日（木）～11月30日（水）太子町まちづくり観光交流センター 平成28年9月16日（金）～11月27日（日）上ノ太子駅前観光案内所（臨時） 平成28年9月～11月竹内街道交流館 平成28年9月～11月
調査対象者	太子町外からの来訪者（観光目的以外も含む）
回収	総回答数 131件（内、居住地が町内もしくは不明17件） 有効回答数 114件（町外居住者） 【ヒアリング式】 <ul style="list-style-type: none">道の駅「近つ飛鳥の里・太子」、叡福寺周辺：38件（外、町内居住者4件）竹内街道交流館：8件 【留置き式】 <ul style="list-style-type: none">太子町まちづくり観光交流センター：32件（外、居住地が町内もしくは不明7件）西方院：26件（外、居住地が町内もしくは不明2件）上ノ太子駅前観光案内所（臨時）：9件（外、居住地が町内もしくは不明4件）竹内街道交流館：1件

(2) 調査手法

【ヒアリング式】においては、調査員が直接来訪者に声をかけ、アンケート用紙に基づきながら、聞き取り調査を行った。【留置き式】においては、太子町内の主たる観光施設等にアンケート用紙を留置き、来訪者に自由に回答してもらった。

▼アンケート用紙

太子町の観光まちづくりに関するアンケート調査

現在、太子町では地域資源を活かした新たな観光まちづくりの方向性と具体的な施策を検討するため、来訪者の皆様を対象にアンケート調査を実施しています。おかつろぎのところ、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨にご理解を賜り、何卒ご協力下さいませようお願い申し上げます。

▼ 本調査のお問い合わせ：太子町にぎわいまちづくり課 [TEL (直通) : 0721-98-5521]

問1. 太子町へはどんな交通手段で来られましたか？ (○は、いくつでも)

- | | | | |
|---------------|---------------|------------|-----------------|
| 1. 自動車 | 2. バイク (原付含む) | 3. 自転車 | 4. 電車 (上ノ太子駅経由) |
| 5. 電車 (喜志駅経由) | 6. 金剛バス | 7. 観光ツアーバス | 8. タクシー |
| 9. 徒歩 | 10. その他 () | | |

問2. 太子町にはどなたと来られましたか？ (○は、1つだけ)

- | | | |
|------------|----------|----------------|
| 1. 1人で | 2. 夫婦で | 3. 家族 (親族含む) で |
| 4. カップルで | 5. 友人同士で | 6. 職場や団体で |
| 7. その他 () | | |

問3. 太子町への来訪の目的は何ですか？ (○は、いくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 名所旧跡 (御陵、寺社仏閣、歴史的景観など) を見ること | 2. レクリエーション施設 (総合スポーツ公園、ゴルフ場、釣り堀など) を訪れること |
| 3. 買い物 (農産物、特産品など) をすること | 4. 文化施設 (資料館、博物館など) を訪れること |
| 5. 自然景観や眺望景観 (河内平野、夕焼けなど) を見ること | 6. 収穫体験 (みかん狩り、ぶどう狩りなど) をすること |
| 7. 町並散策 (竹内街道など) をすること | 8. 温泉に入ること |
| 9. 地域の祭りやイベントに参加すること | 10. おいしいものを食べる |
| 11. 山登りやハイキング (二上山など) をすること | 12. 観光以外 (仕事、帰省、親戚・友人等訪問) |
| 13. その他 () | |

問4. 今回のご来訪前、太子町をご存知でしたか？ (○は、1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問5. 太子町へは今回が何度目のご来訪ですか？ (○は、1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. はじめて | 2. 2~5回 | 3. 6~9回 | 4. 10回以上 |
|---------|---------|---------|----------|

問6. 太子町で使った (もしくは使う予定の) 金額の1人あたりの合計金額を教えてください。(○は、1つだけ)

- | | | | |
|------------------|--------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 1,000円未満 | 2. 1,000~3,000円 | 3. 3,000~5,000円 | 4. 5,000~7,000円 |
| 5. 7,000~10,000円 | 6. 10,000円~20,000円 | 7. 20,000円以上 | 8. 使っていない |

問 7. 今回のご来訪で予定している太子町での滞在時間を教えてください。(○は、1つだけ)

1. 1時間未満	2. 1～2時間	3. 2～3時間	4. 3～4時間
5. 4～5時間	6. 5～6時間	7. 6時間以上	8. 1泊以上

問 8. 今回のご来訪前から、以下の太子町周辺の観光資源等についてご存知でしたか？ また、ご関心はありますか？ 該当する箇所に○をつけてください。(○は、いくつでも)

	知っている	関心がある		知っている	関心がある
1. 聖徳太子御廟			2. 敏達天皇陵		
3. 用明天皇陵			4. 推古天皇陵		
5. 孝徳天皇陵			6. 小野妹子墓		
7. 竹内街道			8. 叡福寺		
9. 科長神社			10. 二子塚古墳		
11. 御嶺山古墳			12. 二上山		
13. 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」			14. 近つ飛鳥博物館		
15. 竹内街道歴史資料館			16. 上の太子観光みかん園		
17. 太子温泉			18. 太子カントリー倶楽部		
19. 大道旧山本家住宅			20. 西方院		
21. 源氏3代墓					

問 9. 今回のご来訪前から、以下の太子町周辺の特産品等についてご存知でしたか？ また、ご関心はありますか？ 該当する箇所に○をつけてください。(○は、いくつでも)

	知っている	関心がある		知っている	関心がある
1. みかん			2. ぶどう		
3. 太子ワイン			4. 太子みかんソース		
5. はっ太子(たいこ)あめ			6. 太子みそ		
7. 太子最中			8. 太子ロール		
9. たいしくん			10. 軍手・軍足		

問 10. 今回のご来訪前から、以下の太子町周辺のイベント等についてご存知でしたか？ また、ご関心はありますか？ 該当する箇所に○をつけてください。(○は、いくつでも)

	知っている	関心がある		知っている	関心がある
1. 叡福寺大乗会式			2. 太子聖燈会		
3. 岳のぼり			4. 唐川ホテル観賞会		
5. 科長神社夏祭り			6. 道の駅ぶどう祭り		
7. 富田林業工会太子町支部夏祭り			8. 竹内街道灯路祭り・時代行列		
9. ふれあい TAISHI			10. 道の駅感謝祭		
11. たいし聖徳市			12. 二上山元旦初登り		

問 11. 本日、太子町以外で立ち寄った、あるいは立ち寄る予定の場所がありますか？（○は、いくつでも）

1. なし	2. 近つ飛鳥博物館（河南町）	3. ワールド牧場（河南町）
4. 富田林寺内町（富田林市）	5. 農業公園サパーファーム（富田林市）	
6. 河内ワイン資料館（羽曳野市）	7. 道の駅「しらとりの郷」（羽曳野市）	
8. 二上山博物館（香芝市）	9. 道の駅「ふたかみパーク當麻」（葛城市）	
10. 當麻寺（葛城市）	11. その他（ ）	

問 12. 今回の来訪の総合満足度はどのくらいですか？（○は、1つだけ）

大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満
7	6	5	4	3	2	1

問 13. 太子町の以下の項目はどのように感じられましたか？（○は、それぞれ1つ）

		大変良かった				大変悪かった			
①景観・雰囲気	1. 自然景観や雰囲気	7	6	5	4	3	2	1	
	2. 街並みの景観や雰囲気	7	6	5	4	3	2	1	
②観光・文化施設	3. 施設・体験の内容	7	6	5	4	3	2	1	
	4. 従業員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1	
③飲食施設	5. 食事の内容	7	6	5	4	3	2	1	
	6. 店員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1	
④物販施設	7. 土産物・商品の内容	7	6	5	4	3	2	1	
	8. 店員のおもてなし	7	6	5	4	3	2	1	
⑤交通・移動	9. アクセスのしやすさ	7	6	5	4	3	2	1	
	10. 移動のしやすさ	7	6	5	4	3	2	1	
⑥情報発信	11. 情報の探しやすさ	7	6	5	4	3	2	1	
	12. 情報の分かりやすさ	7	6	5	4	3	2	1	
⑦費用負担	13. 費用の適切さ	7	6	5	4	3	2	1	

問 14. 太子町への信頼感や思いについてお聞かせください。（○は、それぞれ1つ）

		そう思う				そう思わない			
1.	ご家族や友人・知人に太子町を紹介（おすすめ）したいですか？	7	6	5	4	3	2	1	
2.	太子町への再訪を希望しますか？	7	6	5	4	3	2	1	
3.	太子町に泊まってみたいと思いますか？	7	6	5	4	3	2	1	
4.	太子町に住んでみたいと思いますか？	7	6	5	4	3	2	1	

問 15. (1) 関心のある活動や取組みについてお聞かせください。(○は、それぞれ1つ)

	大変関心がある				全く関心がない		
	7	6	5	4	3	2	1
1. 歴史まちあるきツアー	7	6	5	4	3	2	1
2. ハイキングツアー	7	6	5	4	3	2	1
3. 農産物加工体験	7	6	5	4	3	2	1
4. 貸し農園(田畑・果樹園等のレンタル、オーナーツリーなど)	7	6	5	4	3	2	1
5. 聖徳太子没後1400年	7	6	5	4	3	2	1
6. 太子町観光ガイド養成講座	7	6	5	4	3	2	1
7. 連続講座(農業、歴史、演劇、リノベーションなど)	7	6	5	4	3	2	1
8. 古民家等を活用した店舗、イベント	7	6	5	4	3	2	1
9. 地場産業の製作体験・工場ツアー	7	6	5	4	3	2	1
10. 農家での民泊(農業体験、加工品づくり体験など)	7	6	5	4	3	2	1
11. 空き家・古民家での宿泊(貸切)	7	6	5	4	3	2	1

(2) 太子町でやってみたい・参加してみたい活動や取組みについて、あなたのご意見やアイデアをご自由にご記入下さい。

(3) 太子町で購入したい、又は販売していれば購入したいと思う農産物や特産品は何ですか。

問 16. あなたの性別を教えてください。(○は、1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 17. あなたの年齢を教えてください。(○は、1つだけ)

1. 19歳以下	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

問 18. あなたの居住地を教えてください。(○は、1つだけ)

1. 太子町

2. 隣接市町(羽曳野市、富田林市、河南町、香芝市、葛城市)

3. その他大阪府内の市町村(大阪府 市・町・村)

4. その他(都・道・府・県 市・町・村)

問 19. 太子町の観光まちづくりについて、あなたのご意見やアイデアをご自由にご記入下さい。

お疲れ様でした。これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

3-2 アンケート調査結果

(1) アンケート調査実施経過

まず、竹内街道や道の駅「近つ飛鳥の里・太子」などに相当数の観光者が来訪しているものと想定し、町内の観光拠点においてヒアリング式のアンケート調査を実施した。

しかし、太子町に観光目的で訪れた人は少なく、サンプルがほとんど集まらなかった。このヒアリング式のアンケート調査により、町外から来訪する観光客は非常に少ないという実態が明らかとなったため、秋の行楽シーズンとなる9月から11月までの3ヶ月間、観光拠点にアンケート用紙を設置し、来訪者自身に記入していただく留置式の調査方法に変更した。

その結果、サンプルは若干増えたが、ヒアリング式と留置式の調査をまとめても町外来訪者は114件の回収に留まり、そのうち太子町を目的地とした観光者は82件¹⁰と非常に少ないものとなった。

(2) 留意点

途中で調査方式を変更したこと、またサンプル数が少ないことから、分析結果に関しては、以下の点に留意する必要がある。

アンケート調査結果に関する留意点

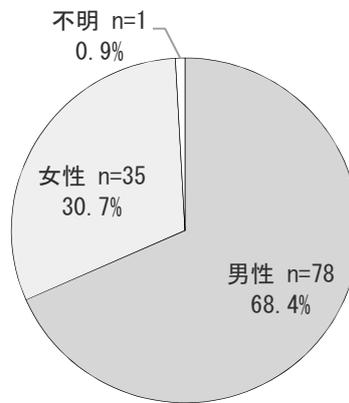
- ・ サンプルが少なく、分析においても信頼度が低い。
- ・ 観光者のうち、ヒアリング式及び留置式のアンケート調査の回答者のみの結果であり、回答者属性に偏りがある。
- ・ 調査の性質上、居住地が「太子町」もしくは「不明」の回答17件（13.0%）については、「無効回答」として取り扱う。
- ・ 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示した。少数第2位を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、分析文、グラフ、表においても反映する。
- ・ SAは「単一回答」の設問、MAは「複数回答」の設問、FAは「自由記述回答」の設問を意味する。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- ・ 図表中において、「不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- ・ グラフ及び表のn数（number of case）、「サンプル数」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- ・ 有効回答数が少ないため、信頼度が低くなるクロス集計は行っていない。

¹⁰ 3ヶ月間で回収した町外来訪者114件のうち、来訪目的が「観光以外」9件、「その他」21件、「不明」2件を除いた82件

(3) 回答者の属性

① 性別 (SA)

n=114

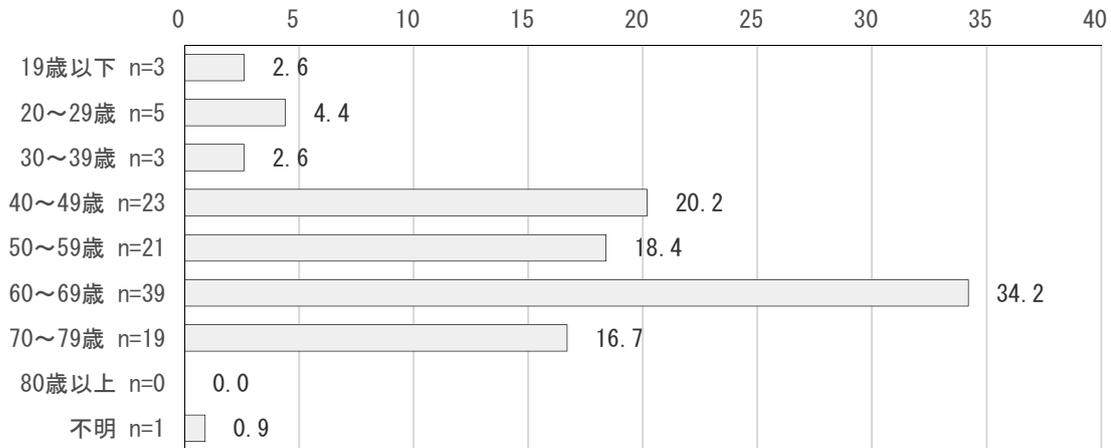


- ・ 「男性」が78件(68.4%)、「女性」が35件(30.7%)で男女比が概ね7:3になり、回答は男性が多い。

② 年齢 (SA)

n=114

(%)

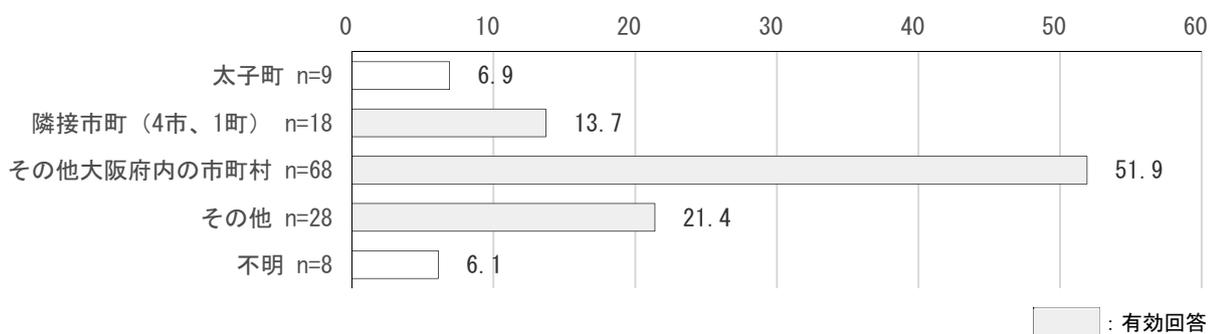


- ・ 「60~69歳」が39件(34.2%)で最も多く、続いて「40~49歳」の23件(20.2%)、「50~59歳」の21件(18.4%)「70~79歳」の19件(16.7%)が多い。一方、30歳代以下の若い来訪者の回答はほとんどいない。

③ 居住地 (SA)

n=131

(%)



※隣接市町は、羽曳野市、富田林市、河南町、香芝市、葛城市の4市1町

その他大阪府の市町村の内訳

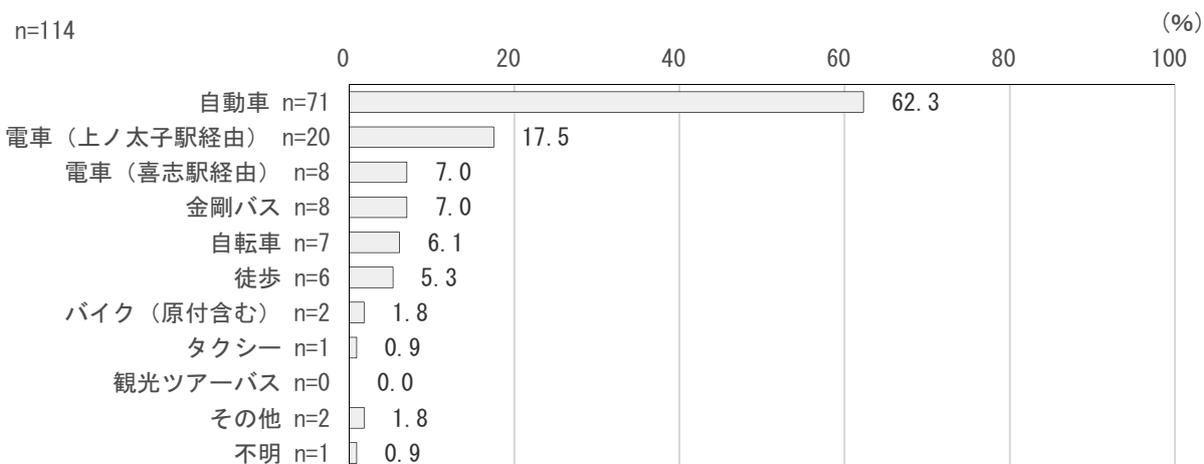


府外の内訳



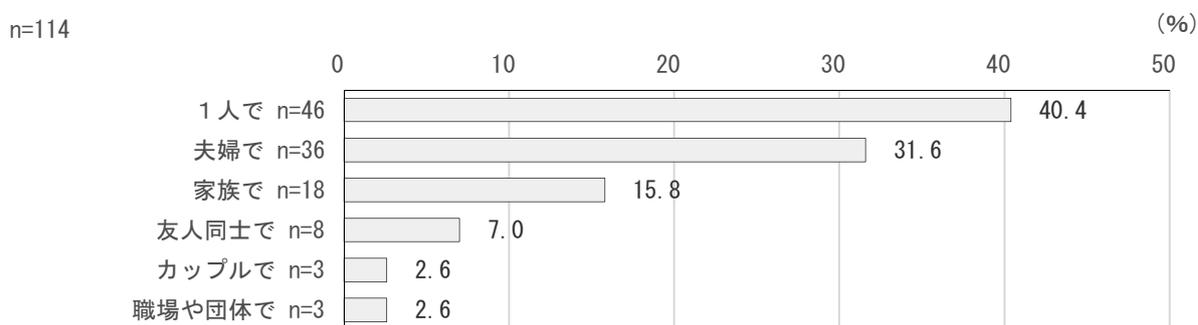
- ・ 居住地は「隣接市町 (4市1町)」18件 (13.7%)、「その他大阪府内の市町村」68件 (51.9%)、大阪府以外の「その他」(28件) 21.4%となっている。
- ・ その他大阪府の市町村では、大阪市が多く18件となっており、隣接市町と同数の回答を回収した。大阪市に次いで多いのは、堺市12件、八尾市7件、東大阪市6件と続いている。

④ 太子町までの交通手段 (MA)



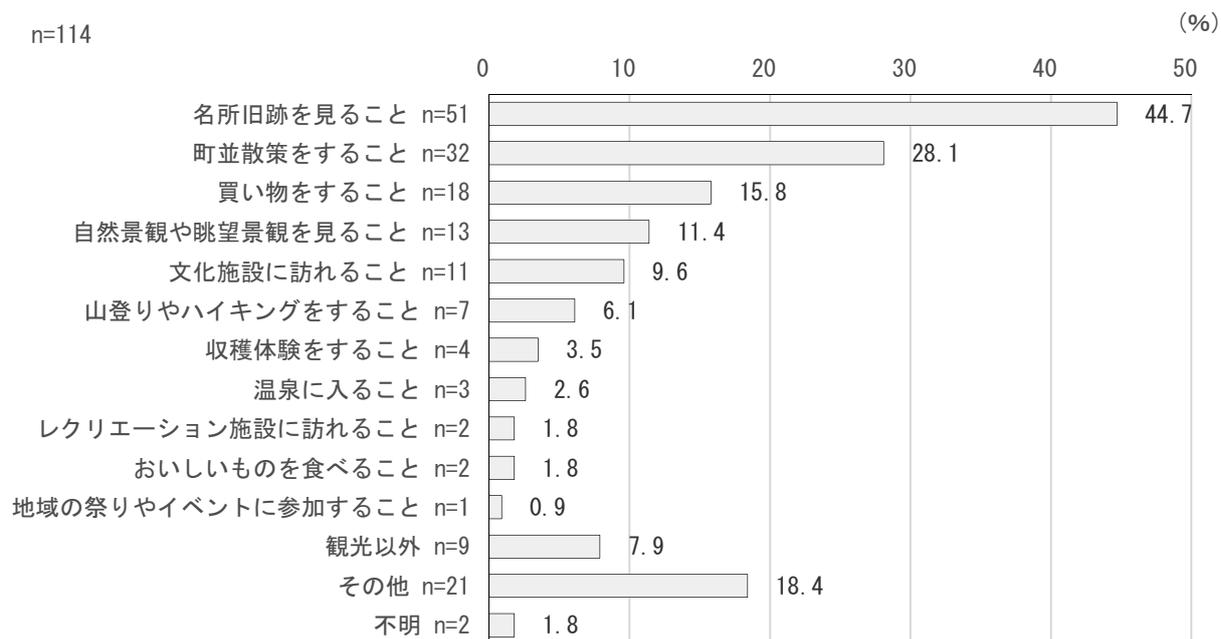
- 交通手段は、「自動車」が 71 件 (62.3%) と最も多い。電車では、近鉄南大阪線「上ノ太子駅」を経由して来訪する回答が多く 20 件 (17.5%)。

⑤ 同行者 (SA)



- 「1人で」の来訪が 46 件 (40.4%) と多く、次いで「夫婦で」が 36 件 (31.6%)、「家族で」が 18 件 (15.8%) と多い。

⑥ 来訪の目的 (MA)



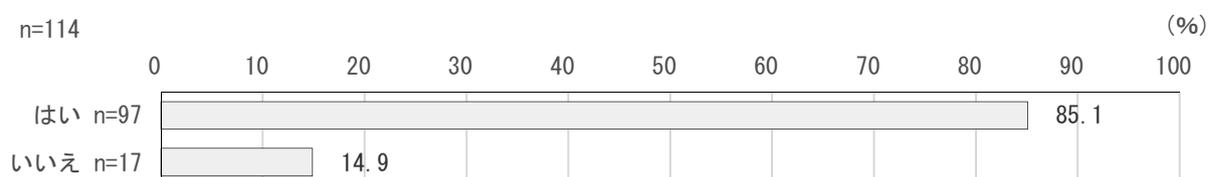
【「その他」の内訳 (件)】

道の駅 (4)、休憩 (4)、通りすがり (3)、トイレ (2)、墓参り (2)、散歩 (1)、ぶどう (1)、芋煮会 (1)、自転車トレーニング (1)、新西国のご朱印集め (1)、奈良の寺を見に (1)

- ・ 来訪の目的は「名所旧跡を見ること」が最も多く 51 件 (44.7%) で、続いて「町並散策をすること」が 32 件 (28.1%) と多い。
- ・ 記述回答の「その他」の内訳では、「道の駅」をめざして来訪したという回答や、「休憩」、「通りすがり」、「トイレ」といった意見が重複している。

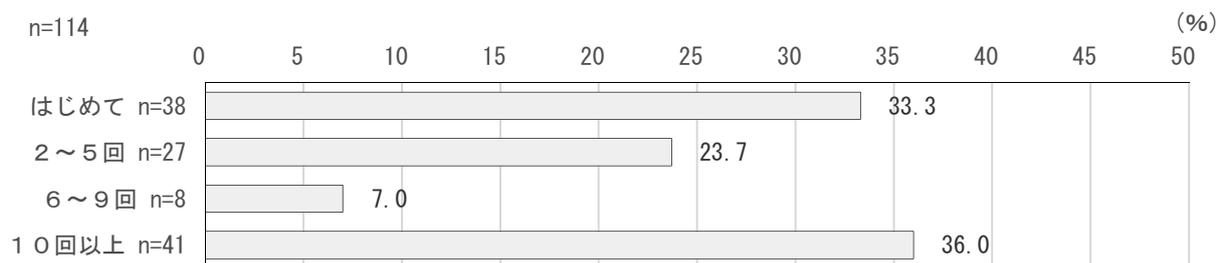
(4) 太子町の評価

① 認知度 (SA)



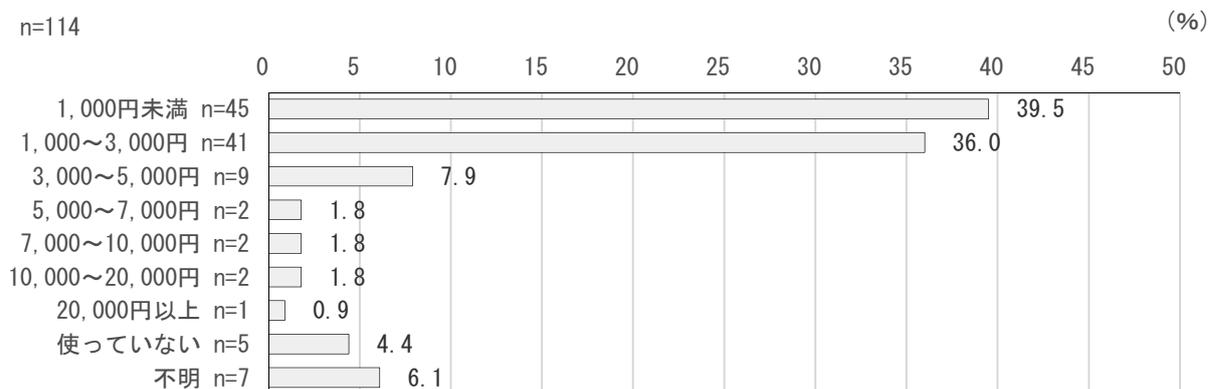
- ・ 「来訪前より太子町を知っていたか」という設問に対し、17 人 (14.9%) の方が、「いいえ」 (= 知らなかった) と回答。

② 来訪回数 (SA)



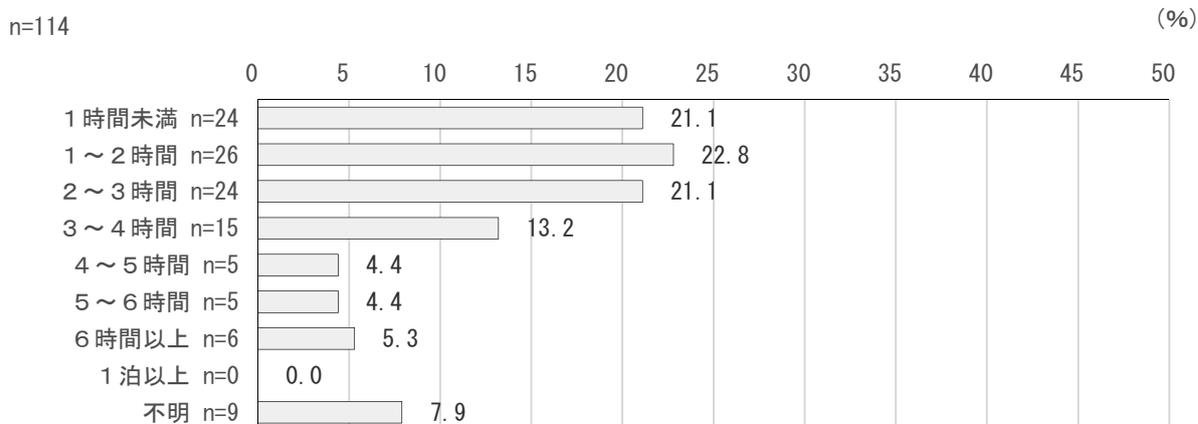
- ・ 太子町に「10回以上」来訪しているとした回答が多く 41 件 (36.0%)。一方で、「はじめて」来訪するとした回答は 38 件 (33.3%) とどちらも概ね 3 割を占める。

③ 消費額 (SA)



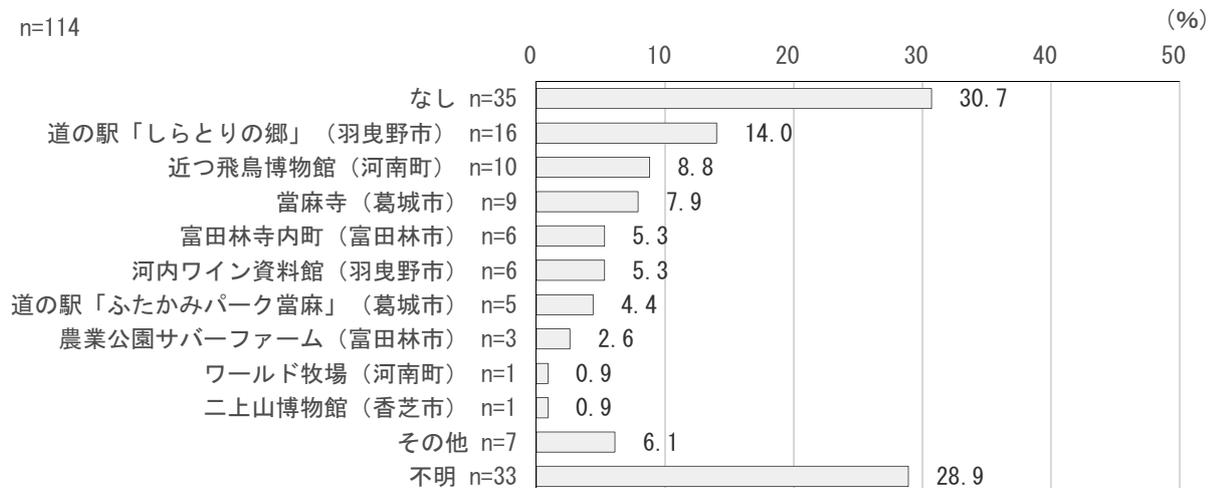
- ・ 太子町での購入金額もしくは購入予定金額は「1,000円未満」が 45 件 (39.5%)、「1,000～3,000円」が 41 件 (36.0%) と多く、3,000円以下が概ね 8 割を占める。

④ 滞在時間 (SA)



- ・ 太子町での滞在時間は「1 時間未満」が 24 件 (21.1%)、「1～2 時間」が 26 件 (22.8%)、「2～3 時間」が 24 件 (21.1%) と多く、3 時間以内が概ね 6 割を超える。

⑤ 立ち寄り先 (MA)

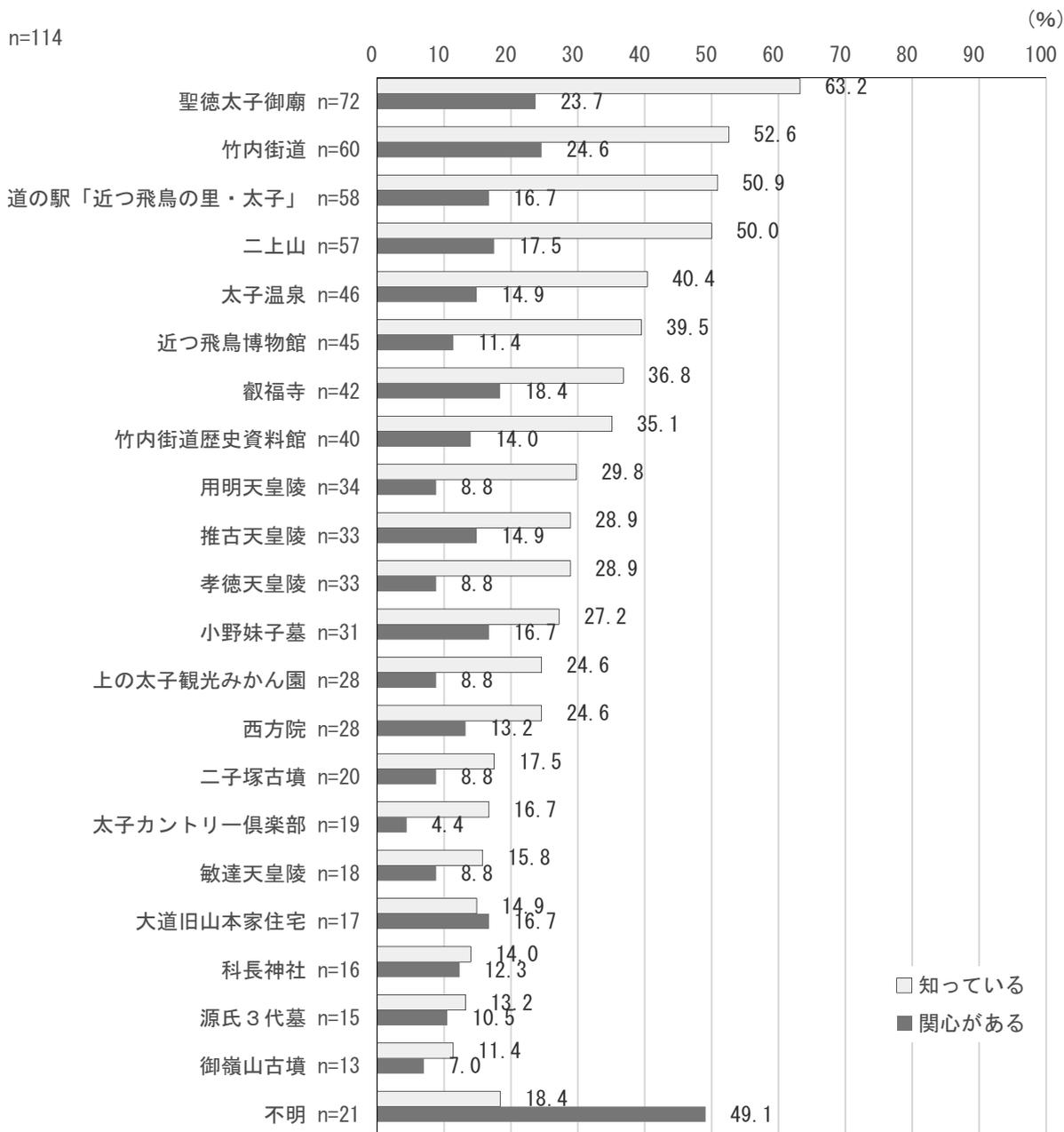


【「その他」の内訳 (件)】

墓参り (1)、吉野キャンプ (1)、農道沿いの直販 (1)、飛鳥寺、橘寺 (1)、大阪 (1)、喜志駅から和泉街道を歩いている (1)

- ・ 太子町以外で立ち寄った、もしくは立ち寄る予定がある場所は「ない」とする回答が多く 35 件 (30.7%)。続いて「道の駅「しらとりの郷」(羽曳野市)」16 件 (14.0%)、「當麻寺(葛城市)」9 件 (7.9%) が多い。「その他」の記述では、回答が重複する立ち寄り先はなかった。

⑥ 観光まちづくり資源等の認知度と関心度 (SA)

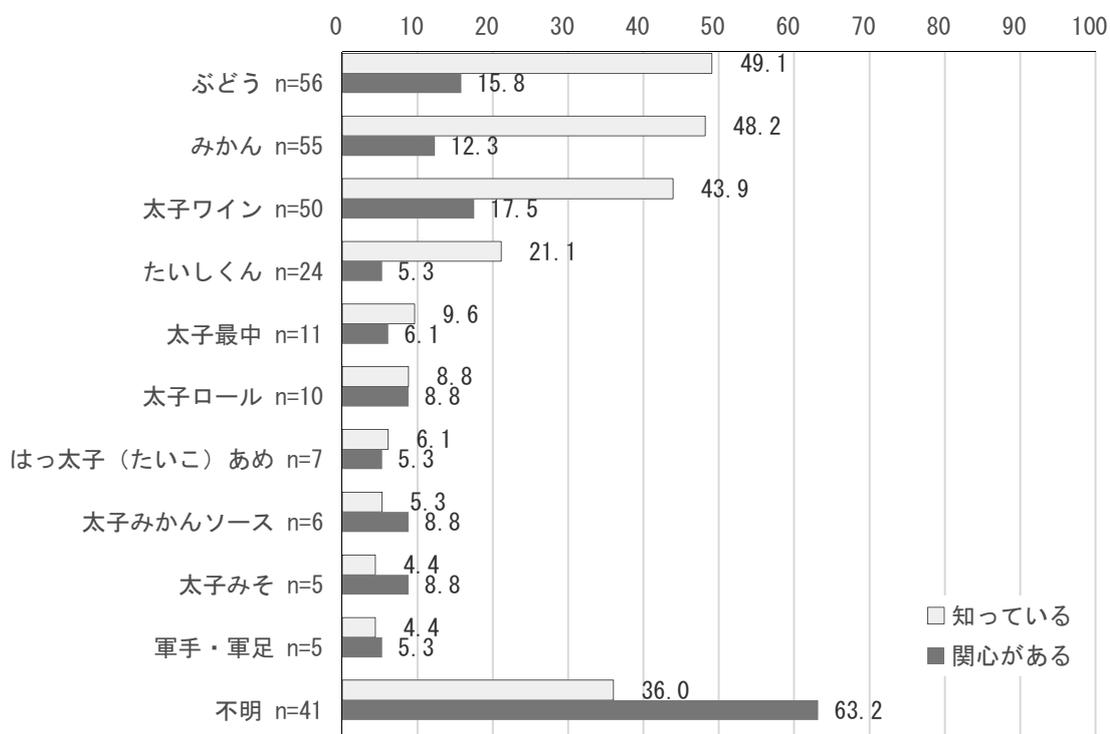


- ・ 太子町の観光資源では、「聖徳太子御廟」が 72 件 (63.2%)、「竹内街道」が 60 件 (52.6%)、「道の駅「近つ飛鳥の里・太子」」が 58 件 (50.9%)、「二上山」が 57 件 (50.0%) 知られており、概ね 5 割以上に認知されている。
- ・ 一方、観光資源で関心の高いものは「竹内街道」の 28 件 (24.6%)、「聖徳太子御廟」の 27 件 (23.7%) が多く、概ね 2 割以上が何らかの興味を持っている。

⑦ 特産品等の認知度と関心度 (SA)

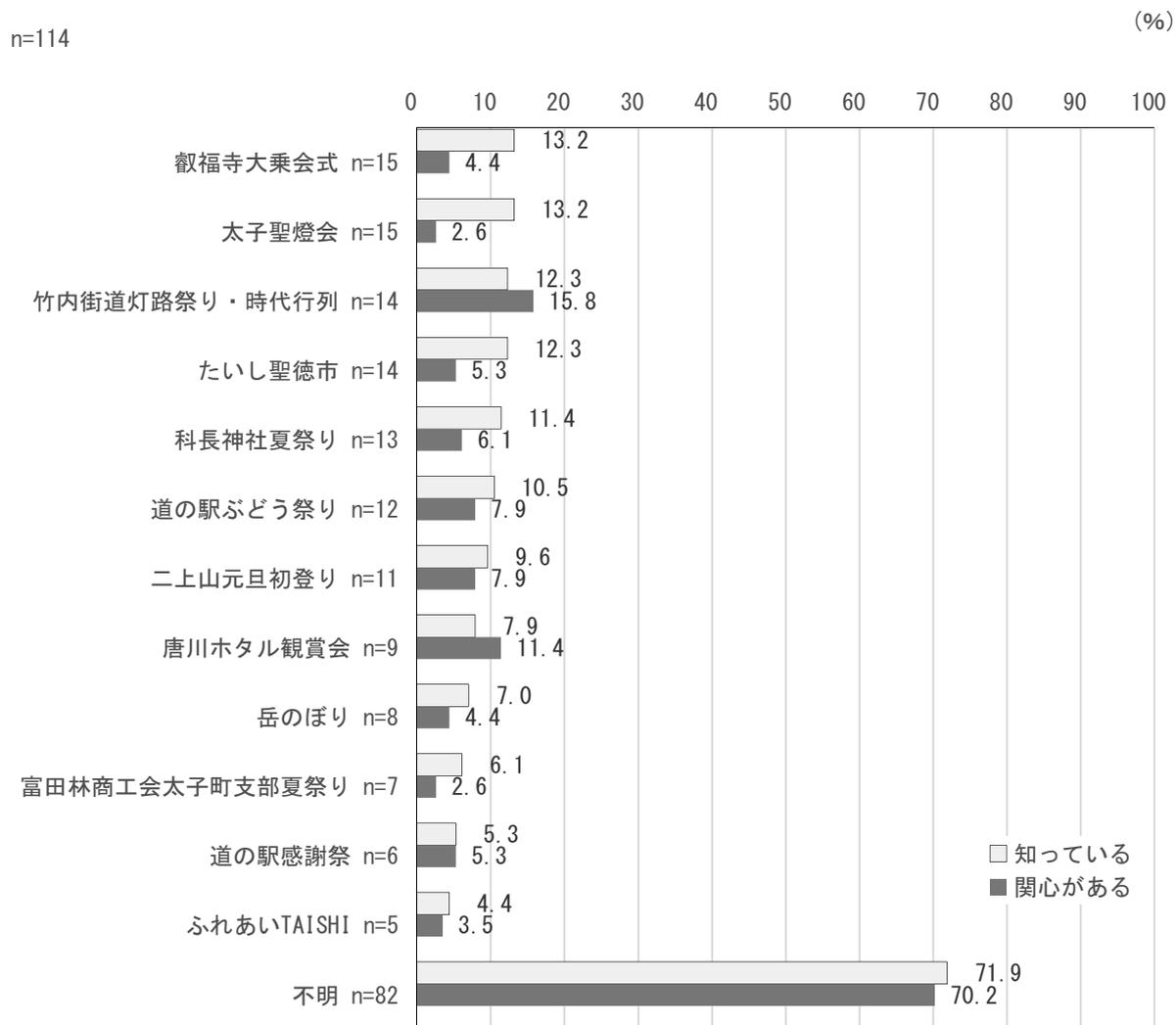
n=114

(%)



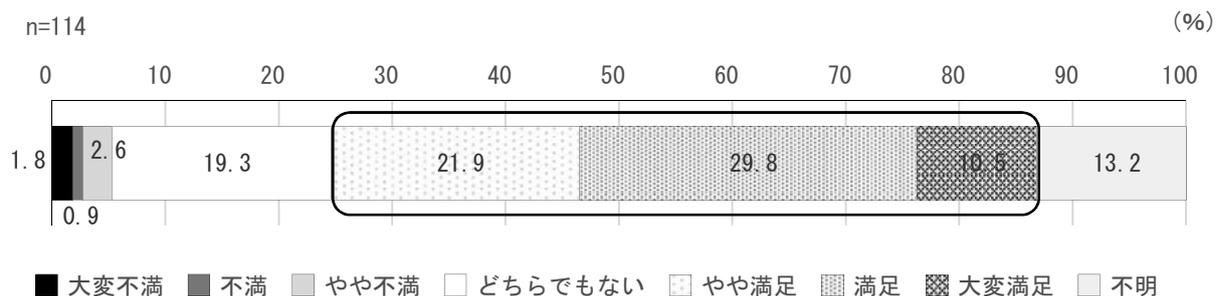
- ・ 太子町の特産品では、「ぶどう」が 56 件 (49.1%)、「みかん」が 55 件 (48.2%)、「太子ワイン」が 50 件 (43.9%) 知られている。一方、「太子最中」「太子ロール」「はっ太子 (たいこ) あめ」などは 1 割に満たない認知で、ほとんど知られていない。
- ・ 特産品で関心の高いものは、認知されている上位の「太子ワイン」(17.5%)「ぶどう」(15.8%)「みかん」(12.3%)が多い。

⑧ 特産品等の認知度と関心度 (SA)



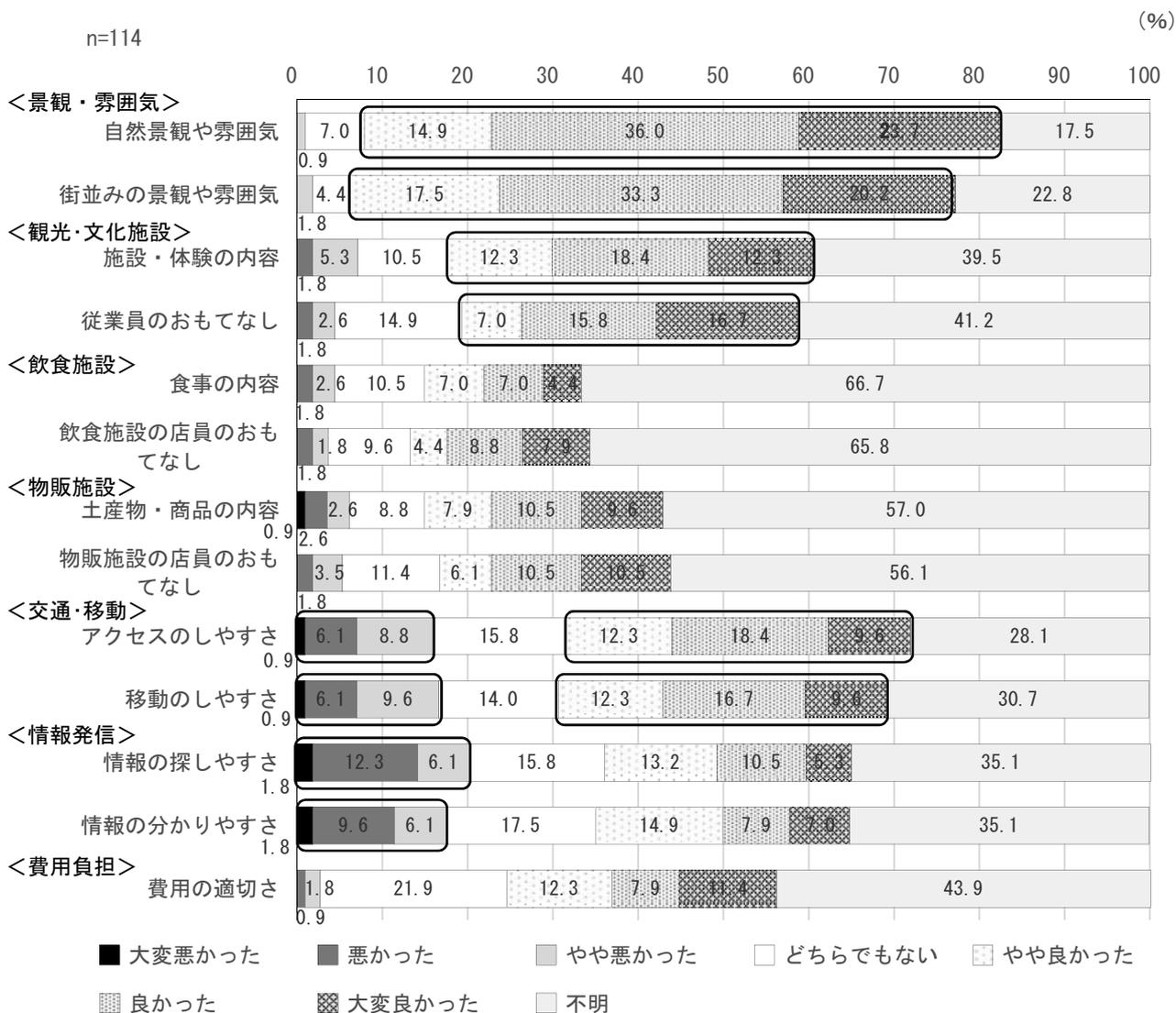
- ・ 太子町周辺のイベントでは、「叡福寺大乘会式」「太子聖燈会」「竹内街道灯路祭り・時代行列」などが他と比べると多いが、どれも概ね1割程度でほとんど知られていない。
- ・ イベントで関心の高いものでは「竹内街道灯路祭り・時代行列」の18件(15.8%)、「唐川ホテル観賞会」の13件(11.4%)が他と比較すると多い。
- ・ なお、無回答などを含む「不明」は、認知の問いでは82件(71.9%)と多く、さらに関心の問いにおいても80件(70.2%)と多く、イベントに対して多くの人が興味を持っていないことがわかる。

⑨ 総合満足度 (SA)



- ・ 太子町の総合満足度としては、「満足」が 34 件 (29.8%)、「やや満足」が 25 件 (21.9%)、「大変満足」が 12 件 (10.5%) となっており、満足と感じている総数は 71 件 (62.3%) と概ね 6 割を占める。
- ・ 一方、「やや不満」「不満」「大変不満」と回答した不満と感じている総数は 6 件 (5.3% (1.8%+0.9%+2.6%)) と 1 割未満となっている。
- ・ また、「どちらでもない」と「不明」の満足、不満足判断がつかない回答は 34 件 (32.5% (19.3%+13.2%)) で概ね 3 割を占める。

⑩ 観光施設等の評価 (SA)

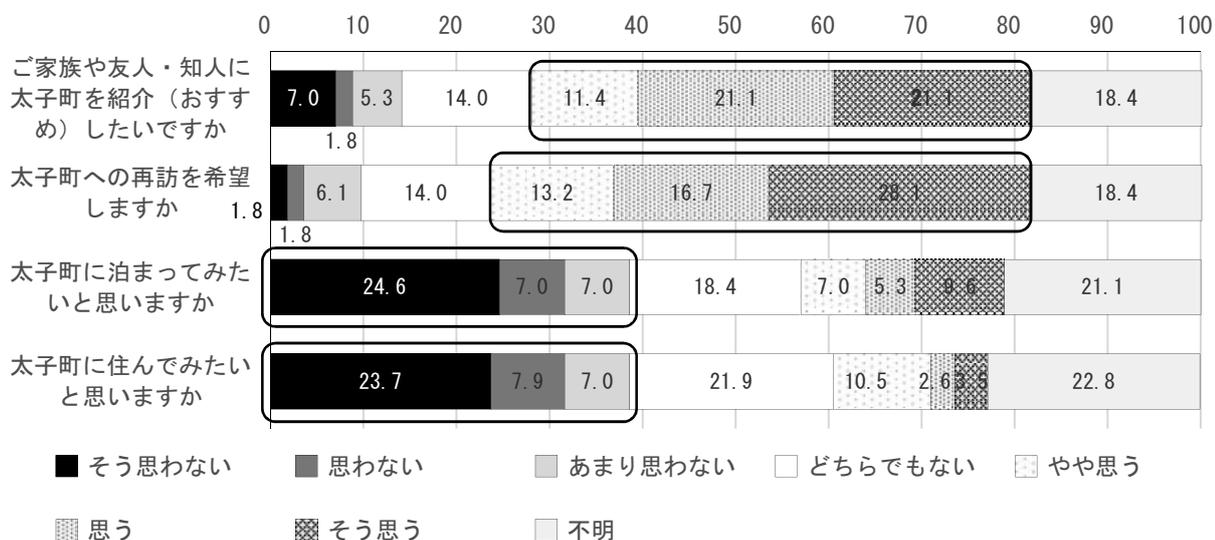


- ・ 「自然環境や雰囲気」「街並みの景観や雰囲気」については良かったと感じている総数がそれぞれ 74.6% (14.9%+36.0%+23.7%)、71.0% (17.5%+33.3%+20.2%) で7割を超え、高く評価されている。また、観光・文化施設の「施設・体験の内容」「従業員のおもてなし」や交通・移動に関する「アクセスのしやすさ」「移動のしやすさ」についても良かったと感じている総数がそれぞれ 43.0% (12.3%+18.4%+12.3%)、39.5% (7.0%+15.8%+16.7%)、40.3% (12.3%+18.4%+9.6%)、38.6% (12.3%+16.7%+9.6%) で概ね4割を占めており、一定の評価を得ている。
- ・ ただし、「アクセスのしやすさ」「移動のしやすさ」については悪かったと感じている総数もそれぞれ 15.8% (0.9%+6.1%+8.8%)、16.6% (0.9%+6.1%+9.6%) で概ね2割を占めており、相反した評価となっている。その他「情報の探しやすさ」「情報の分かりやすさ」では、悪かったと感じている総数がそれぞれ 20.2% (1.8%+12.3%+6.1%)、17.5% (1.8%+9.6%+6.1%) で概ね2割を占めており、低い評価となっている。

⑪ 太子町の信頼感 (SA)

n=114

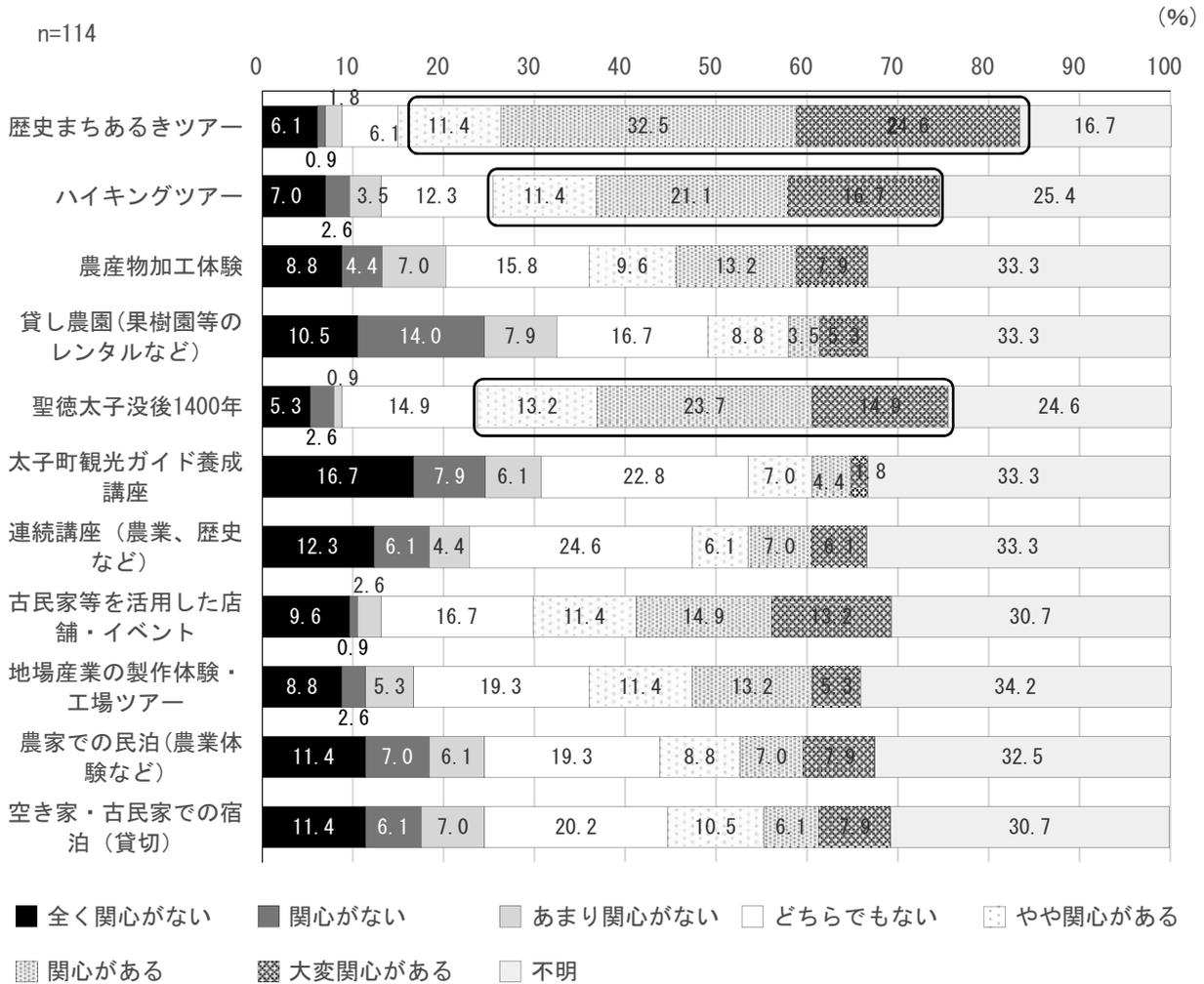
(%)



- ・ 「ご家族や友人・知人に太子町を紹介(おすす
め)したいですか」「太子町への再訪を希望しますか」
については同意している総数がそれぞれ 53.6% (11.4%+21.1%+21.1%)、58.0% (13.2%+16.7%
+28.1%) で5割を超え、高く評価されている。
- ・ 一方、「太子町に泊まってみたいと思いますか」「太子町に住んでみたいと思いますか」については同
意を得られない総数がそれぞれ 38.6% (24.6%+7.0%+7.0%)、38.6% (23.7%+7.9%+7.0%) で概
ね4割を占めており、宿泊や居住までは考えられないとする回答が多い。

(5) 意見や要望等

① 関心のある活動や取組み (SA)



- ・ 「歴史まちあるきツアー」は関心があるとしている総数が68.5% (11.4%+32.5%+24.6%)で概ね7割を占めており、非常に高い評価となっている。
- ・ また、「聖徳太子没後1400年」「ハイキングツアー」についても関心があるとしている総数がそれぞれ51.8% (13.2%+23.7%+14.9%)、49.2% (11.4%+21.1%+16.7%)で概ね5割を占めており、高い評価となっている。

② やってみたい・参加してみたい活動や取組み (FA)

■ 主な意見

【アクティビティ】

- ・ ハイキング
- ・ キャンプ

【歴史】

- ・ 歴史ツアー
- ・ お寺巡り

【体験】

- ・ 太子町の郷土料理を作ってみたい
- ・ お寺（西方院など）宿泊、修行体験
- ・ 絵を描くこと

【イベント】

- ・ お祭り、みこし
- ・ 聖徳太子没後 1400 年を機にもっと知名度を高めるイベント
(狭山池築造 1400 年の時もけっこう大規模なイベントをしたのでそれを参考に)
- ・ 飛び出し坊やのたいしくんを設置し、それを使ったスタンプラリー

【その他】

- ・ 古い街並みや遺跡の保全など

③ 購入したい・販売してほしい特産品 (FA)

■ 主な意見

【みかん】

- ・ みかん
- ・ みかんジャム

【ぶどう】

- ・ ぶどう
- ・ ソフトクリーム
- ・ 河内ワイン

【スイーツ】

- ・ 最中
- ・ 太子みかんはちみつ
- ・ 太子ロールと同じ生地のシフォンケーキ
- ・ 聖徳太子の笏の商品化（笏の形をしたクッキーなど）
- ・ 冠位十二階のカラー6色を使って商品化

④ 観光まちづくりに対する意見やアイデア（FA）

■ 主な意見

【施設等】

- ・ 道の駅にツーリング（バイクとか自転車）する人が多いので、道の駅にカフェを置く
- ・ お土産物屋がなく、観光の後の楽しみが欲しい
- ・ 道の駅の規模が小さい
- ・ 観光案内所の設置
- ・ 車道が狭い
- ・ 地元の農産物をメニューに取り入れた、古民家カフェがほしい
- ・ 自転車ラック、自転車が走りやすく整備してほしい
- ・ 飲食店が少ない
- ・ 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」は昼過ぎには品物がほとんどなくなる

【サイン】

- ・ 竹内街道の案内板が分かりやすかった
- ・ 道の駅の看板を見やすくする（木に隠れて見にくい）
- ・ ICを降りたところに道の駅の看板が欲しい

【イベント】

- ・ Tシャツを作るイベント
- ・ 地場産業が楽しめるイベント
- ・ 近隣市と竹内街道沿いを盛り上げる
- ・ 参加型のイベント（時代行列など）
- ・ 若い人を引きつけられるように、日常的に人が集まる仕掛け
- ・ サイクリングイベント（南河内グリーンロードを通行止めにして）
- ・ 古い街並みを活かしたイベント

【PR】

- ・ 古代史の大変重要な役割を果たしてきた人物、遺跡が集中している「歴史のまち」という側面を前面に押し出してPRしてほしい
- ・ 積極的なPRが必要
- ・ テレビに映る仕掛けが必要

【その他】

- ・ 聖徳太子の墓があるというのもすごい、叡福寺がかなり立派だった
- ・ 今後も日本版「王陵の谷」、竹内街道を守る取組みを続けてほしい

(6) まとめ

p.49の「留意点」で示したように、サンプルが少なく、母集団に対する回答者属性も偏っているものの、結果の分析から考察できたことを以下に示す。

■ 町内観光を目的とした町外来訪者は少ない

現在、町内観光を目的とした観光者は非常に少ない状況にある。今後、来訪者の実態を把握していくことが重要であるが、そのためにはサンプルを増やしていく必要があり、留置式など時間をかけて行う調査が必要である。その場合、施設に置くだけの留置式に留まらず、施設スタッフが積極的にアンケート協力をお願いしていく必要がある。特に、町内で最も来訪者の多い道の駅では、観光者とレジャー客(サイクリング、ハイキング等)、それに道の駅にのみ立ち寄った来訪者を区分し、意向を把握していく必要がある。

■ 歴史・まち歩きが期待されている

太子町の観光資源としては、やはり歴史探索やまち歩きが期待されている。町内には古代の貴重な歴史資源が点在しているが、PR不足との指摘もあり、今後、サインやガイドに加え、体験などの観光コンテンツの充実が求められている。聖徳太子没後1400年についても期待されていることがうかがえることから、5年後に迫ったイベントとして、来訪を迎える仕掛けが求められている。

■ ぶどう・みかんは一定の知名度をもつ

特産品のぶどう・みかんは知名度が高い。みかんジャムやぶどうワインなど加工品についても関心を持つ人も多く、知名度の高いぶどう・みかんを活かした商品開発や体験プランなど新たなサービス開発などの可能性がある。

■ サイクリング・ハイキング客への対応が不足

増えていると予想されるが、なかなか実態が把握できない。ただし、道の駅では来訪される人も多く、レクリエーションの合間に立ち寄れる休憩や飲食の機能拡充が期待されている。

4. フィールドワーク

太子町で開催されているイベントの実態を把握すべく、「竹内街道灯路祭り」のフィールドワークを行った。

4-1 「竹内街道灯路祭り」の概要

項 目	内 容
開催日時	平成28年10月15日(土) 14:30~21:00
開催場所	太子町春日西交差点~道の駅「近つ飛鳥の里・太子」
主な催し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時代行列(竹内街道) 春日妙見寺前から大道旧山本家住宅(1.5km)までの道のりを竹内街道ゆかりの古人に扮装し練り歩く時代行列 ・ 特設ステージ(JA 営農センター) “あまゆうず”(弾き語り)ミニコンサート、“span!(スパン)”漫才 ・ スタンプラリー(竹内街道沿道) 竹内街道沿道のチェックポイントを巡るスタンプラリー ・ 軒下ギャラリー(竹内街道沿道) 街道沿道の古民家軒下を利用した作品の展示や即売。 ・ ギターコンサート(竹内街道沿道、松井邸) 竹内街道沿道を場所をかえながらの演奏や、個人邸でのギター演奏 ・ 坐禅体験(妙見寺) 蘇我馬子が創建した河内の国最初の霊場とされる妙見寺で坐禅体験 ・ 落語寄席(春日神社) 大阪芸術大学落語研究寄席の会の落語 ・ 雅楽演奏(光福寺) 演奏の合間に雅楽や楽器のわかりやすい説明 ・ 境内ギャラリー(善久寺) 雑貨やみたらし団子などの販売ほか、ワークショップやコンサート ・ 書道作品展示(木下邸) 大阪芸術大学書道サークルの作品を展示 ・ 音楽念仏(正泉寺) 音楽と念仏がいっしょになった「音楽念仏」 ・ オカリナ演奏(竹内街道歴史資料館) 喫茶・休憩コーナーも併設 ・ たいし聖徳市(JA 大阪南太子支店周辺、道の駅「近つ飛鳥の里・太子」ほか) 毎月第3日曜日「太子・和みの広場」で開催される朝市イベント ・ 特産品の販売(道の駅「近つ飛鳥の里・太子」) 季節特産品の販売など
主 催	竹内街道にぎわいづくり協議会(事務局:太子町観光・まちづくり協会)
共 催	太子町
協力協賛	大阪芸術大学、上宮太子中学校・高等学校、太子温泉、妙見寺、正泉寺、光福寺、春日神社、鎌田邸、大阪南農業協同組合
後 援	太子町教育委員会、羽曳野市、葛城市、大阪府、大阪観光局、華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会、近畿日本鉄道株式会社

4-2 「竹内街道灯路祭り」のフィールドワーク結果

(1) 交通

イベントまでの来場は、駐車場がないため公共交通機関での来訪を薦めており、近鉄南大阪線の上ノ太子駅から道の駅「近つ飛鳥の里・太子」間までの無料シャトルバスを運行している。

上ノ太子駅では臨時観光案内所を設け、来訪者へイベント案内を行っている。バス車両は、上宮太子中学校、高等学校の車両を利用し、1日10便で運行している。

当日、上ノ太子駅 14:45 発の第2便のバス(約40人乗り)は乗車率50%程度で、約20人前後が乗車していた。

無料シャトルバス時刻表

	上ノ太子駅	日の丸出発所	道の駅	JR東武センター	
1便	14:00	14:05	14:30	14:35	→
2便	14:45	14:50	15:15	15:20	→
3便	15:30	15:35	16:00	16:05	→
4便	16:15	16:20	16:50	16:55	→
5便	17:05	17:10	17:35	17:40	→
6便	17:50	17:55	18:20	18:25	→
7便	18:35	18:40	19:05	19:10	→
8便	19:20	19:25	19:50	19:55	→
9便	20:05	20:10	20:35	20:40	→
10便	20:50	20:55	21:30	21:35	→
	21:45着				→

▲ 無料シャトル時刻表



(2) 概況

当日の各所の概況は以下の通りであった。

■ 竹内街道

約2.3kmの街道に、約3,000個の灯ろうを並べ、16:30に点火。ゾーンごとにスタッフが巡回し、消えたロウソクの点火や取替えなどを頻繁に行っていた。スーパー「サンプラザ太子店」の駐車場付近では、腰丈ほどある協力協賛者、後援者の灯ろうが100m程連なって並んでいた。



■ 本部周辺

JA 営農センターの特設ステージ入口に大会本部があり、その周辺では物販ブースが設けられ、夕暮れ頃から多くの人が集まり賑わっている。そのほとんどが地元の人と見受けられた。



■ 竹内街道歴史資料館

資料館前では、休憩スペースとして簡易喫茶が設けられ、オカリナ演奏が催されていた。



■ 道の駅「近つ飛鳥の里・太子」

道の駅では、たいし聖徳市やスタンプラリー受付などが行われていた。駐車車両は少なく、人の出入りも少ない状況であった。



■ 大道旧山本家住宅

灯ろうの点灯式や二胡演奏の茅葺コンサートの会場として利用されていた。



■ 各所のイベント

竹内街道沿道周辺では、軒下やガレージ、自宅、社寺を活用し、様々な手作りのイベントがお互いに連携しながら催されていた。多くの住民が迎える側のスタッフとして、自身で楽しみながらイベントに関わっていることが伺い知ることができた。



(3) 特徴

「竹内街道灯路祭り」の特徴としては以下の2点があげられる。

■ 地元の祭り

- ・ 第8回を迎える竹内街道灯路祭りは、多くの住民がスタッフとして、またゲストとして参加する地元のお祭りとなっている。参加総数の算定はできないが、町外からの来訪者はほとんどが無料シャトルバス（40人乗り10便/日）に乗車していると想定するとその割合は少なく、ほとんどが住民であることがわかる。

■ 竹内街道灯路祭りを通じた連携

- ・ 住民は、それぞれの思い、楽しみ方をもって竹内街道灯路祭りにスタッフとして参加している。互いにイベントの宣伝をしながら、竹内街道灯路祭りを盛り上げていこう連携している。

(4) 問題点

「竹内街道灯路祭り」の問題点としては以下の2点があげられる。

■ 負担が大きい

- ・ 既存の資源を活用していることから、資材費は抑制されていると思われるが、人件費が非常にかかっていることが分かる。約2.3kmに渡る灯ろうは、その設置・管理に手間がかかるとともに、スタッフが常駐するスタンプラリーポイント、交通整理、警備などの多くを住民スタッフでまかなっており、非常に多くの人材が必要となっていることがわかる。

■ 飲食・休憩スペースが少ない

- ・ 高低差のある街道を巡るイベントであり、徒歩での移動を前提としているが、飲食・休憩スペースが少なく、体を休める場がない。沿道から離れたところでもスペースを配置するなどの工夫が求められる。

(5) 可能性

「竹内街道灯路祭り」の今後の可能性としては以下の2点があげられる。

■ 町外からの来訪者を増やす

- ・ 竹内街道灯路祭りへの町外からの来訪者を増やすためには、公共交通機関だけでなくマイカー利用を想定し、臨時駐車場を設けてバス輸送するなど、交通手段の確保が必要となる。
- ・ また、町外の人に貸せる軒下、庭スペースなどを増やし、町外の人スタッフがイベントに関わる機会を増やすなどが考えられる。これによって、町外とのつながりを増やし、結果として町外来訪者が増える効果などが期待できる。
- ・ また、新たに音楽や芸術などのテーマを加え、素人だけでなくプロの作品も本物体験できるようにして付加価値を高め、町外から訪れたいイベントに発展させていくことが考えられる。

■ 他イベントの連携や規模・時期を変えて実施する

- ・ 現在、竹内街道灯路祭りの開催は秋に1回だが、太子町内では春に叡福寺を中心とした太子聖燈会がある。これらを統合したり、規模を縮小して回数を増やすことによって情報発信の機会を増やし、知名度の向上や来訪の機会を増やすことが考えられる。

5. 住民ワークショップ

住民の意見やアイデア等を「太子町観光まちづくりビジョン」に反映するため、太子町観光まちづくりビジョン策定検討委員会会長の吉兼秀夫教授（阪南大学）を講師に招いた住民ワークショップを2回開催した。

5-1 第1回住民ワークショップ

(1) 実施概要

- 【日時】平成28年9月29日（木）19:00～22:00
- 【場所】太子町役場まちづくり観光交流センター
- 【対象】太子町に在住・在勤の18以上の人
- 【定員】30人
- 【講師】吉兼秀夫教授（阪南大学）
- 【手法】3つのグループに分かれて、各グループにテーブルファシリテーターを配置し、ワークを行った。
- 【プログラム】プログラムは以下の通りである。

時間	プログラム
19:00 (5)	開会挨拶 趣旨説明 ・ なぜ太子町が「観光まちづくり」に取り組むのか ・ なぜ住民ワークショップが必要なのかなど ・ 講師紹介など
第1部：講演	
19:05 (45)	講演「住民主体の観光まちづくり」 ・ 阪南大学教授の吉兼秀夫教授からご講演いただいた。
19:50 (5)	休憩
第2部：住民ワークショップ	
19:55 (5)	アイスブレイク①「自己紹介」 ・ 自己紹介（①名前②仕事③在住・在勤年数④趣味など）をしてもらった。 ※ 参加者同士が顔見知りなようであれば割愛します
20:00 (5)	アイスブレイク②「太子町クイズ」 ・ 参加者に対して、太子町の観光にまつわるクイズを数問出題。テーブルごとに話し合ってもらい回答してもらった。
20:05 (10)	情報提供「データで見る太子町」 ・ 参加者に対して、太子町の観光にまつわるデータなどを提示し、現状や課題を把握してもらった。
20:15 (5)	ワークショップのルール説明 ・ 「行政への苦情を言う場ではない」「人の意見を否定・批判しない」など、ワークショップのルールを説明した。

第2部：住民ワークショップ	
20：20 (15)	ワーク①「友だちに紹介したい（自慢したい）太子町の良いところ（＝観光にいかせそうなところ）」 ・ ひと、もの（場所）、ことの観点から「太子町の良いところ（観光にいかせそうなところ）」を出し合うブレインストーミングを行った。 ステップ①：個人ワーク（5） ステップ②：プレスト（10） ステップ③：まとめ（5）
20：35 (15)	ワーク②「太子町の悪いところ（＝観光の妨げになっているところ、課題）」 ・ ひと、もの（場所）、ことの観点から「太子町の悪いところ（観光の妨げになっているところ）」を出し合うブレインストーミングを行った。 ステップ①：個人ワーク（5） ステップ②：プレスト（10） ステップ③：まとめ（5）
20：50 (10)	発表 ・ 各テーブルでどのような意見が出たのか、発表してもらい、全体で意見を共有した。
21：00 (5)	講評 ・ 講師である吉兼先生に、ワークショップの講評を行っていただいた。
21：05 (5)	スケジュール確認 閉会あいさつ
21：10	閉会

（2）主な意見

第1回住民ワークショップで出された主な意見（一部抜粋）は以下の通りである。

【良いところ】

■ 人柄

- ・ 真面目な人が多い
- ・ 親切な人が多い
- ・ 子どもらしい子どもが多い
- ・ 温厚な人が多い
- ・ 女性は明るい人が多い
- ・ 地元の言葉を話す

■ 人材

- ・ すごい菊を育てているおじさんがいる
- ・ たいしくん

■ 歴史資源

- ・ 歴史的な建造物（叡福寺、西方院など）が多い
- ・ 古代の遺跡（梅鉢御陵など）が多い
- ・ 中山久蔵（北海道で寒地稲作を成功させた「北海道稲作の父」）
- ・ 聖徳太子
- ・ 太子道
- ・ 竹内街道

■ 路地

- ・ 太子地区の路地
- ・ いたるところに路地がある
- ・ 細い路地
- ・ 山田地区の道

■ 自然

- ・ 近くに二上山がある→二上山を繰り返し登れるようにする仕組みがあればいい（例）金剛山
- ・ 山が多い
- ・ 空気が美味しい
- ・ 自然が豊か
- ・ 水が美味しい
- ・ 唐川のホタル
- ・ 東條の棚田
- ・ 体育館裏からの二上山への登山道
- ・ ろくわたりの道

■ 食

- ・ ぶどう
- ・ みかん
- ・ はっ太子あめ
- ・ 太子味噌
- ・ みかんソース
- ・ 太子最中
- ・ お米

■ 行事

- ・ 地域の行事が多い
- ・ 夏のだんじり（舟形）
- ・ たいし聖徳市（月に1回第3日曜日に開催）
- ・ 灯ろうイベント（年に2回のライトアップイベント）
- ・ 菊園
- ・ とんど

■ 景観

- ・ 土地が開けており、ハルカスが近くに見える
- ・ 太子カントリー倶楽部から大阪市内を一望できる
- ・ 御陵前のバス停から見る夕日
- ・ 田や畑の風景
- ・ 高いところからの景色

■ その他

- ・ よいまちネット（30～40歳代のよいまちづくりをめざす団体）の意見
- ・ 高速道路を利用すれば、大阪や奈良に近く便利
- ・ 案内看板が英語、中国語、韓国語で書いている
- ・ 交通量が少ない
- ・ 「地の利」が良い
- ・ 人のつながりがあり、地域がまとまっている（ばらけていない）

【悪いところ】

■ 人柄

- ・ 口の悪いおじさんが多い
- ・ 愛想が悪い

■ 人材不足

- ・ ボランティアやミーティングに参加する人が限られている
- ・ 自立心が少し足りず、人任せな人が多い（受け身）
- ・ 観光に無関心
- ・ 企業が少ない
- ・ リーダーシップのある人材が少ない
- ・ 年上の意見が通る（10代の意見を聞いてほしい）
- ・ 梅鉢御陵が誰のお墓なのか知らない子どもが多い
- ・ 付き合いが面倒

■ 生活施設

- ・ 銀行がない
- ・ ガスがプロパン
- ・ 飲み屋が少ない
- ・ 食事できるところが少ない
- ・ 大きな買い物は大きな町へ
- ・ スーパーが少ない
- ・ 病気やケガの時、病院へ行くのに時間がかかる（町内に病院がない）

■ 観光施設

- ・ 観光客の受け入れ施設が少ない
- ・ 休憩できるところが少ない
- ・ 案内看板が少ない
- ・ 大型バスの駐車場が少ない
- ・ 特産品などお土産品が少ない
- ・ 売店、お土産屋が少ない
- ・ (団体が入れる) 飲食店が少ない
- ・ 竹内峠の歩道が整備されていない
- ・ 鉄道駅が太子町にない
- ・ トイレが少ない
- ・ トイレが汚い
- ・ 道の駅の駐車場が狭い
- ・ 道の駅が小さい
- ・ 道の駅の商品が少ない
- ・ 道の駅が暗い

■ PR

- ・ 町のPRが下手
- ・ セールスポイントになるところが少ない
- ・ 聖徳太子が一万円札に描かれたときにPRできていなかった
- ・ 兵庫県の太子町や和歌山県の太地町と間違えられる＝認知度があまりない
- ・ 史跡・歴史の宝庫なのに、あまり活かされていない
- ・ 駅や高速道路のインターが近くにあるのに有効に活用されていない

■ 移動

- ・ 町内の移動は高齢者にとって不便
- ・ 電車の本数が少ない(終電が早い)
- ・ 坂道が多く、自転車というより車移動が基本
- ・ バスの本数が少ない

■ その他

- ・ 町全体で盛り上がるイベントがない
- ・ お店や施設が閉まる時間が早い
- ・ 1日で観光できそう(滞在時間が短い、観光スポットが少ない)
- ・ インターネット上の二上山の写真は大阪側からの写真が少ない(奈良県側が多い)
- ・ 一部を除いて町がきれいでない(川、池なども汚い)
- ・ 「地の利」を活かしきれていない

5-2 第2回住民ワークショップ

(1) 実施概要

- 【日時】平成28年10月13日(木) 19:00~21:00
- 【場所】太子町役場まちづくり観光交流センター
- 【対象】太子町に在住・在勤の18以上の人
- 【定員】30人
- 【講師】吉兼秀夫教授(阪南大学)
- 【手法】3つのグループに分かれて、各グループにテーブルファシリテーターを配置し、ワークを行った。
- 【プログラム】プログラムは以下の通りである。

時間	プログラム
19:00 (10)	開会挨拶 趣旨説明 ・ なぜ太子町が「観光まちづくり」に取り組むのか ・ なぜ住民ワークショップが必要なのかなど ・ 講師紹介など
住民ワークショップ	
19:10 (5)	前回のふりかえり ・ 第1回住民ワークショップで出た意見等をおさらいした。
19:15 (15)	情報提供 ・ 太子町の観光まちづくりに関連するこれまでの取り組み等を紹介するなど、情報提供を行った。
19:30 (10)	ワークの説明 ・ ワークの進め方についての説明を行った。
19:40 (25)	ワーク①「3つの輪」 ・ グループごとに「need(求められていること)」、「wish(したいこと)」、「can(できること)」を考えてもらった。 ステップ①:個人ワーク(5) ステップ②:プレスト1(20)
20:05 (25)	ワーク②「企画立案」 ・ ワーク①で出た意見やアイデアを参考にしながら、ワークシートに基づいて、太子町で行う観光まちづくりの企画立案書を作成してもらった。
20:30 (5)	休憩
20:35 (15)	発表 ・ 各グループが作成した企画立案書を発表してもらい、全体で共有した。
20:50 (5)	講評 ・ 講師である吉兼先生に、ワークショップの講評を行っていただいた。
20:55 (5)	スケジュール確認 閉会あいさつ
21:00	閉会

(2) 主な意見

第2回住民ワークショップで出された主な意見（一部抜粋）は以下の通りである。

<グループ1>

■ need（求められていること）

- ・ 特産品を活用した商品開発

■ wish（したいこと）

- ・ 黒にんにくの普及
- ・ 里芋を”どろいも”として売る
- ・ サヌカイトを太子版タイシカイト（仮称）とし、それで石器を作って販売する
- ・ 紅葉の町にする
- ・ ぶどうの箱に二上山を活用する
- ・ ぶどうのパックにぶどうの葉を入れる（または葉の絵）
- ・ ぶどうの箱やパックにぶどうの歴史が書かれたリーフレットを入れる
- ・ 地ビールの地ワインとして自家製ワインを造る
- ・ お米を使ったスイーツ開発
- ・ みかんスイーツ（みかん大福など）の開発
- ・ ぶどうスイーツ（ぶどう大福など）の開発
- ・ 干しぶどうの開発
- ・ 推古最中（みかん最中）の開発
- ・ 用明最中（ぶどう最中）の開発
- ・ 冷凍ぶどう、みかんの開発
- ・ みかんに顔を書いて商品化（袋詰めについて「みかん3兄弟」として販売）する
- ・ 竹製品の開発（奈良との連携）
- ・ たけのこガイドの育成
- ・ ブランド米（聖徳太子米）として売り出す
- ・ みかん箱を販売する（太子町だけのみかん箱）
- ・ 用明酒（「養命酒」とかけて）の開発
- ・ 酔娘ワイン（推古とかけて）の開発
- ・ みかん、ぶどうのソフトクリームの開発
- ・ 聖徳太子の笏をモチーフにした商品（例：しゃクッキー）の開発
- ・ 笏をイメージしたパン（例：しゃくパン）の開発
- ・ 竹林の整備

■ can（できること）

- ・ お米の栽培
- ・ にんにく栽培
- ・ 里芋栽培
- ・ 里芋を”どろいも”として売る（販売）
- ・ 地ワインを造る（手続き、免許が必要）
- ・ ぶどうのパックに葉を入れる、リーフレットを入れる作業を手伝う
- ・ Youtubeなどの動画で商品紹介
- ・ SNS（twitter、facebook）などでPR
- ・ 紅葉の苗木を植える
- ・ 太子町のCMをつくる
- ・ 大学生（学生）との協力、コラボ
- ・ 休耕地で栽培

■ 企画立案書

第2回「太子町観光まちづくりビジョン」策定に向けた住民ワークショップ

企画立案書

01. need (求められていること)

特産品を活用した
商品開発

02. 企画名

黒にんにく
黒にんにく!!

03. 企画の概要

休耕地も活用して、だれでもつくれる健康にんにく!

04. 目的

休耕地の活用

05. ターゲット (対象)

太子町内の住民が全国に

06. 目標

黒にんにくの町、太子町。

07. 実施主体

京谷農園

08. 実施時期

10月ごろ

09. ファーストステップ (第1段階)

町民に種を配る。

10. 実施場所

町内休耕地

11. 資金調達の方法

自腹

12. 企画を実現するためには資金以外に何が必要ですか?

炊飯器。

13. 企画を実現するために資金以外に行政に何を望みますか?

PR (住民の人がなぜ健康なのか? → 太子のにんにく)

<グループ 2>

■ need (求められていること)

- ・ “地”を活かした観光コンテンツ開発

■ wish (したいこと)

- ・ 穴虫 (上ノ太子駅～二上神社)
- ・ 農業・NPO 法人など若者の雇用の場の創出
- ・ 二子塚を公園にする
- ・ 二上山のPR
- ・ 二上山を公園化する
- ・ 町内に四季の花を植える (コスモス、桜、梅、椿)
- ・ 休耕地を活かす (そば畑を作り、そば屋・そば打ち体験)
- ・ 空き家で展示 (太子町の昔の写真展)
- ・ 時代劇の場所として活用
- ・ なごみの広場のイルミネーション (太陽光パネルと蓄電池を使って)

■ can (できること)

- ・ 定年後に農事法人に就職
- ・ 家の周りに花を植える
- ・ 植樹をする
- ・ お地藏さん巡り
- ・ 休耕地の調査
- ・ 小学校、幼稚園、保育所に種を配る
- ・ 太子町側から見た二上山 (左が高い) をアピール (SNS などインターネットを活用)
- ・ 休耕地の提供
- ・ そば打ちができるようになる
- ・ 公園の手入れの手伝い
- ・ プランターを家に飾る

第2回「太子町観光まちづくりビジョン」策定に向けた住民ワークショップ

企画立案書

01. need (求められていること)

現状「なにか」(求められていること)を簡単に述べて下さい。

"地"を活かす

02. 企画名

考えた企画にもっと具体的に記入して下さい。

休耕地に「花」と「うい」

03. 企画の概要

内容を簡単に明確に記述して下さい。

自分達で地、ういと畑を育て、打ら食べる。

04. 目的

何のためにこの企画を実施したいと考えていますか？目的を記入して下さい。

休耕地の活用 顧客の活用
大人から子供まで関わる。

05. ターゲット (対象)

企画の対象(ターゲット)は誰ですか？なるべく詳しく記述し、記入して下さい。

花の咲く、食と楽しむ人
体験。

06. 目標

どのような成果を企画で実現したいと考えていますか？内容を記入して下さい。

観光の一つの目的。

07. 実施主体

企画を実施するにあたり、実行主体を記入して下さい。

民間有志(NPO等)

08. 実施時期

企画の実施時期はいつを想定していますか？実施時期を記入して下さい。

初夏、植えて、高品質
3年後

09. ファーストステップ (第1段階)

企画を実施するにあたり、まず最初に実施したいことを記入して下さい。

お勉強(ういの知識)

10. 実施場所

企画の実施場所はどこを想定していますか？実施場所を記入して下さい。

休耕地、(空屋)
古民家

11. 資金調達の方法

企画実施のための資金はどのように調達しますか？調達方法を記入して下さい。

町内基金、出資
初年、事業開始

12. 企画を実現するためには資金以外に何が必要ですか？

人材？ 設備？ 営業戦略？ 宣伝？ 技術？ 企画実施のために資金以外に必要と思われることやりの必要ですか？もしあれば記入して下さい。

うい打らノウイウ。

13. 企画を実現するために資金以外に行政に何を望みますか？

人材？ 設備？ 営業戦略？ 宣伝？ 技術？ 企画実施のために資金以外に必要と思われることやりの必要ですか？もしあれば記入して下さい。

休耕地の提供を保障しよう。
古民家。

<グループ3>

■ need (求められていること)

- ・ 周遊・体験型の観光コンテンツ開発

■ wish (したいこと)

- ・ 広域で観光(太子町、河南町、富田林市と連携し、1日コースを設定する)
- ・ 二上山の頂上で、思いを伝える
- ・ 竹内街道を奈良まで手をつなぐ(めざせ、ギネス!)
- ・ 町内を散歩しながら、休憩したり、ゆかりの地を学習したり、いい風景ポイントを楽しんだり、季節・時間で違った体験ができる企画
- ・ 古墳・謎ときスタンプラリー(景品付、年2回くらい)
- ・ 観光ポイントのスタンプラリー
- ・ 二上山アドベンチャー体験
- ・ ミニ四駆、バインブレードなどの大会(全5回の太子CUP 太子町の名所でシリーズ大会)
- ・ 史跡・古墳などでの宝さがし
- ・ おかいさん作り
- ・ コスプレ大会
- ・ みかんの皮投げ大会
- ・ ワイン開発権⇒ワイン命名できる⇒ぶどうの木所有
- ・ ぶどう狩り
- ・ ワイン作り
- ・ カメラ教室
- ・ あめ作り
- ・ 味噌作り
- ・ ぶどう作り
- ・ 古い民家の縁側でほっこり
- ・ 屋根の上を歩いてみる
- ・ 自分の借りている貸し農園でキャンプとか寝泊まり
- ・ 日本一しんどい山登りマラソン
- ・ 飛び出し注意の看板(たいしくん)を探すゲーム
- ・ アニメなどの聖地巡礼の場所

■ can (できること)

- ・ 二上山頂上の告白
- ・ いろんなMAP作り
- ・ ネットで発信
- ・ 大会運営のお手伝い
- ・ コスプレ
- ・ 撮影ポイントの発掘・紹介
- ・ 空き家の情報提供
- ・ 二上山の頂上告白企画作り
- ・ ものづくり体験
- ・ 企画に参加して情報発信
- ・ 企画参加
- ・ 山登りマラソンの情報発信
- ・ 歩いてマップ作成
- ・ 太子町側から見た二上山(左が高い)をネットでアピール
- ・ 素人でもできる範囲のお手伝い
- ・ 会議への参加(子ども視点)

第2回「太子町観光まちづくりビジョン」策定に向けた住民ワークショップ

企画立案書

01. need (求められていること)

同遊型、体験型の観光コンテンツ

02. 企画名

ニ上山の頂上で心をつなぐ

03. 企画の概要

ニ上山は雄岳、め岳があり、心をつなぐのにふさわしい山
それを支え、盛り上げ、観光を盛り上げる、証明書(本3冊)発行

04. 目的

ニ上山を知ってもらう。

05. ターゲット (対象)

若、恋人、夫婦、恋人のいらいら

06. 目標

年00組
愛を告白してカッポルを作る
恋愛小説、愛の確証

07. 実施主体

実行委員会 (長岡)
証明書
たいし君

08. 実施時期

1700年の 村の時期
カッポル

09. ファーストステップ (第1段階)

実行委員会設立

10. 実施場所

ニ上山の頂上。

11. 資金調達の方法

クラウドファンディング 50~100万

12. 企画を実現するためには資金以外に何が必要ですか？

恋人グッズなどの販売の協力者 (マジックア、Tシャツ、など)
本3冊

13. 企画を実現するために資金以外に行政に何を望みますか？

規制対策(警察、消防)、保険の手当、企画の参加

5-3 住民ワークショップ参加者

「住民ワークショップ」の参加者は以下の通りである。

No.	第1回	第2回	氏名
1	—	グループ3	角田 誠一
2	3班	グループ2	加藤 孝次
3	1班	グループ3	紙屋 寛之
4	1班	グループ1	京谷 肇
5	2班	グループ3	小路 義弘
6	3班	グループ1	高田 直裕
7	1班	グループ1	立石 賀則
8	2班	グループ1	辻宅 英之
9	3班		辻野 邦男
10	2班	グループ3	土井 津多代
11	2班	グループ3	刀根 道夫
12	2班	グループ2	西川 敏正
13	1班		羽田 妙子
14	1班		松井 勝
15	3班	グループ3	森井 克則
16	3班	グループ3	安井 良之

※敬称略・五十音順

6. 観光まちづくり勉強会

平成 29 年度を計画始期とする「太子町観光まちづくりビジョン」の足掛かりとなるキックオフイベントとして、太子町の住民や事業者、各種団体など、観光まちづくりの推進に関わる方を対象とした「観光まちづくりのススメ」と題した観光まちづくり勉強会を開催した。

6-1 観光まちづくり勉強会「観光まちづくりのススメ」の概要

観光まちづくり勉強会「観光まちづくりのススメ」の概要は以下の通りである。

【イベント名】 観光まちづくりのススメ～誰もが関われる観光を通じたまちづくり～

【日時】 平成 29 年 3 月 11 日（木） 14：00～16：00

【場所】 太子町立万葉ホール

【対象】 太子町の住民、事業者、地域活動団体等

【目的】 観光まちづくりの機運の醸成

【講師】 吉兼秀夫教授（阪南大学）

【プログラム】 プログラムは以下の通りである。

時間	プログラム
14：00 (3)	開会挨拶 概要説明 町長挨拶
14：03 (2)	会場案内 プログラム説明 講師紹介
14:05 (50)	講演「これからの太子町の観光まちづくりについて」 ・ 阪南大学教授の吉兼秀夫教授からご講演いただいた。
14：55 (5)	講演に関する質疑応答
15：00 (10)	休憩
15：10 (20)	事例紹介「太子チャンネルについて」 ・ 太子町立中学校社会科学部の皆さんに、『太子チャンネル』の取組みについてご紹介いただいた。
15：30 (2)	会場転換
15：32 (20)	「観光まちづくり」座談会 ・ 吉兼教授、副町長、太子町観光・まちづくり協会スタッフ、太子町立中学校社会科学部の皆さんに「観光まちづくり」をテーマに座談会を行っていただいた。
15：52 (5)	「観光まちづくり」座談会に関する質疑応答
15：58 (2)	閉会挨拶
16：00	閉会

6-2 観光まちづくり勉強会で実施したアンケート調査結果

観光まちづくり勉強会「観光まちづくりのススメ」では、次年度からの観光まちづくりの取組みに活かせるよう、参加者に対してアンケート調査を行った。

(1) アンケート調査の概要

【回答者数】43人(参加者総数は48人)

【アンケート項目】アンケート項目は以下の通りである。

観光まちづくりのススメ

誰もが関われる観光を通じたまちづくり

参加者アンケート

本日は、「観光まちづくりのススメ 誰もが関われる観光を通じたまちづくり」にご参加いただき、ありがとうございました。太子町では、住民や事業者、住民活動団体等の皆さんと一緒に観光まちづくりの取組みを進めていきたいと考えています。今後の太子町の観光まちづくりに役立てるためのアンケートに是非ご協力下さい。

(1) 「観光まちづくりのススメ」はいかがでしたか？(1つに○)

1. 大変良かった
2. 良かった
3. ふう
4. あまり良くなかった
5. 良くなかった

(2) 観光まちづくりの取組みに関心はありますか？(1つに○)

1. 大変関心がある
2. 関心がある
3. ふう
4. あまり関心がない
5. 関心がない

(3) 今後、観光まちづくりに関する勉強会を実施する場合、どのようなプログラムであれば参加したいと思いますか？(あてはまるもの全てに○)

1. 観光まちづくりの第一線で活躍される方の講演会・事例紹介
2. 観光まちづくりプランナー¹による企画・イベント立案講座
3. PRプランナーによるSNS講座
4. カメラマンによる写真講座
5. 編集者による文章表現講座
6. デザイナーによるデザイン講座
7. マーケター²によるデータ分析講座
8. 先進地域への視察
9. その他(具体的に)
10. 観光まちづくりの取組みに参加・協力したいとは思わない

(理由:)

¹ プランナー: 企画や計画をたてる専門家

² マーケター: マーケティング理論や調査に専門的な知識を持つマーケティング戦略立案者

(4) 観光まちづくりの取組みに参加するのであれば、どのような活動(企画)であれば参加・協力したいと思いますか？(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 清掃活動 | 2. 景観保護活動 |
| 3. PR 活動 | 4. 観光案内活動 |
| 5. 寄付活動 | 6. 住民同士のネットワークづくり |
| 7. 事業者同士のネットワークづくり | 8. 知識や技術を習得できる勉強会 |
| 9. 企画・イベントの立案・実施 | 10. ガイドブックの制作 |
| 11. 観光ルート(プラン)の設計 | 12. 二上山のプランディング |
| 13. 太子町の特産品を活かしたランニング/自転車イベントの開催 | |
| 14. ワインツーリズム(ワイナリーやぶどう畑を訪ねる旅行スタイル)の推進 | |
| 15. 聖徳太子没後 1400 年関連イベントの開催 | |
| 16. その他(具体的に) | |
| 17. 観光まちづくりの取組みに参加・協力したいとは思わない
(理由:) | |

(5) 年齢

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 | 4. 40 歳代 |
| 5. 50 歳代 | 6. 60 歳代 | 7. 70 歳以上 | |

(6) 性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(7) 太子町の観光まちづくりについて意見や要望等があれば、自由にお聞かせ下さい。(自由回答)

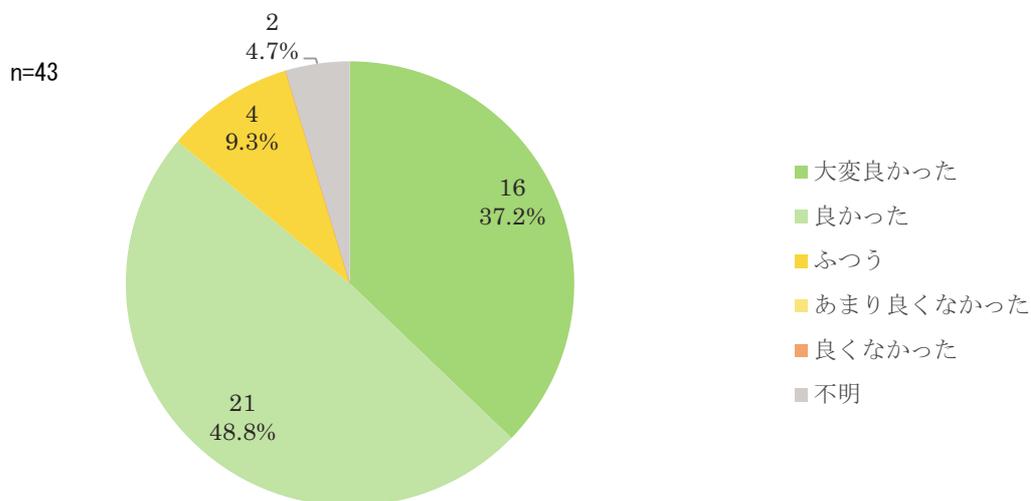
[]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

(2) アンケート調査結果

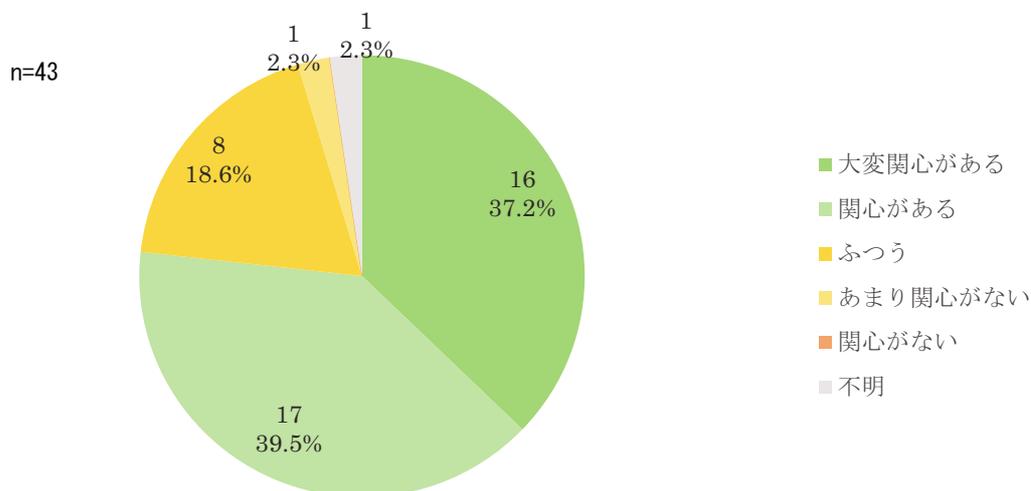
アンケート調査の結果は以下の通りである。

① 「観光まちづくりのススメ」の感想 (SA)



- ・ 37人 (86.0%) の方が「大変良かった」「良かった」と回答している一方で、「あまり良くなかった」「良くなかった」との回答がなかったことから、参加者の勉強会の満足度は高かったと考えられる。

② 観光まちづくりへの関心 (SA)



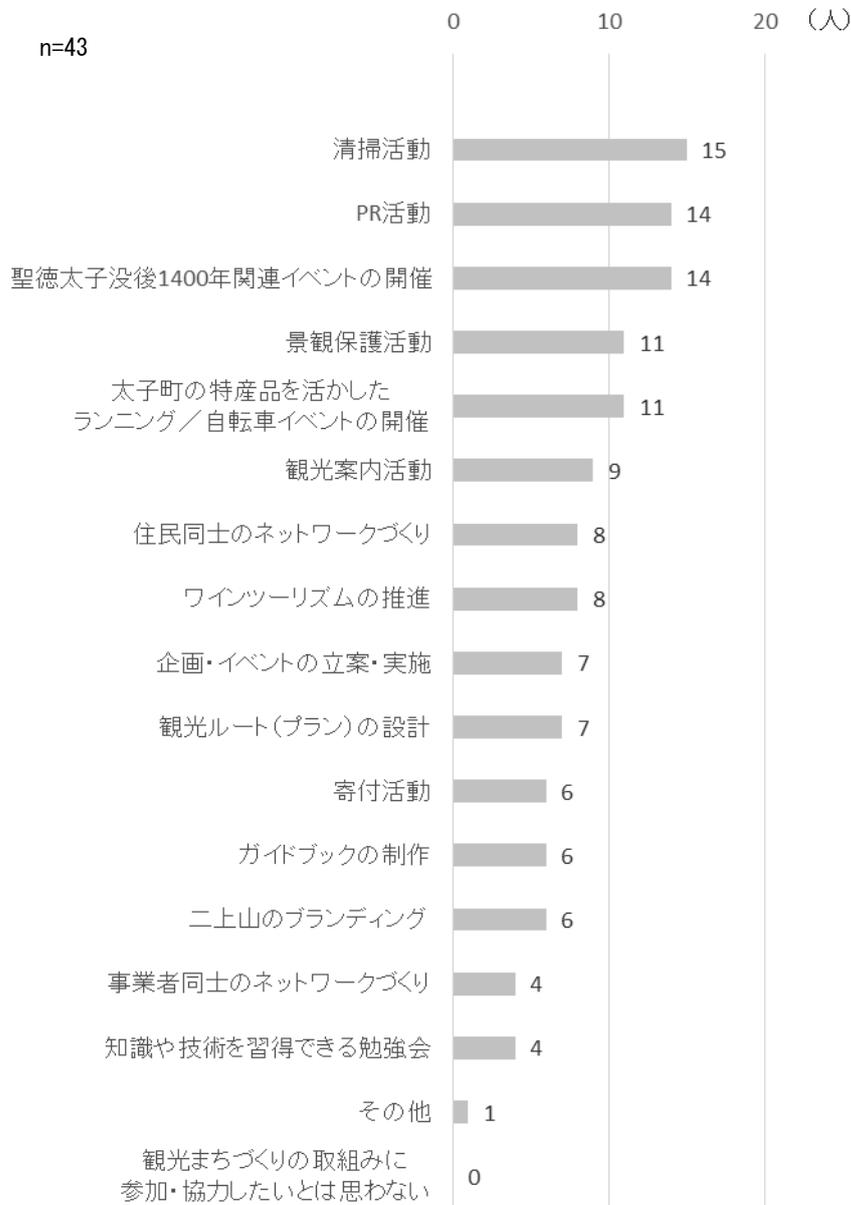
- ・ 「大変関心がある」「関心がある」を回答した人が合わせて33人 (76.7%) おり、参加者の3/4程度の方が「観光まちづくり」の取組みに関心を持っていることが分かる。

③ 観光まちづくりに関する勉強会のうち、参加したいプログラム（MA）



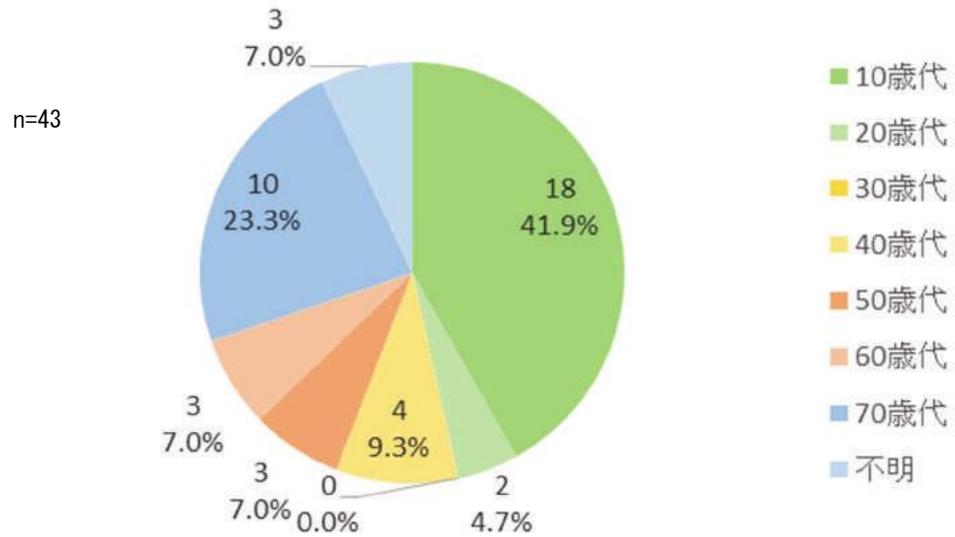
- ・ 最も多く選択された選択肢は「観光まちづくりの第一線で活躍される方の講演会・事例紹介」（20人、46.5%）で、「観光まちづくりプランナーによる企画・イベント立案講座」と「カメラマンによる写真講座」がそれに続き、ともに14人（32.6%）に選ばれた。
- ・ その他、「デザイナーによるデザイン講座」も13人（30.2%）から選ばれており、3割以上の人が希望を持っていることが分かる。

④ 参加・協力したい観光まちづくりの取組み（MA）



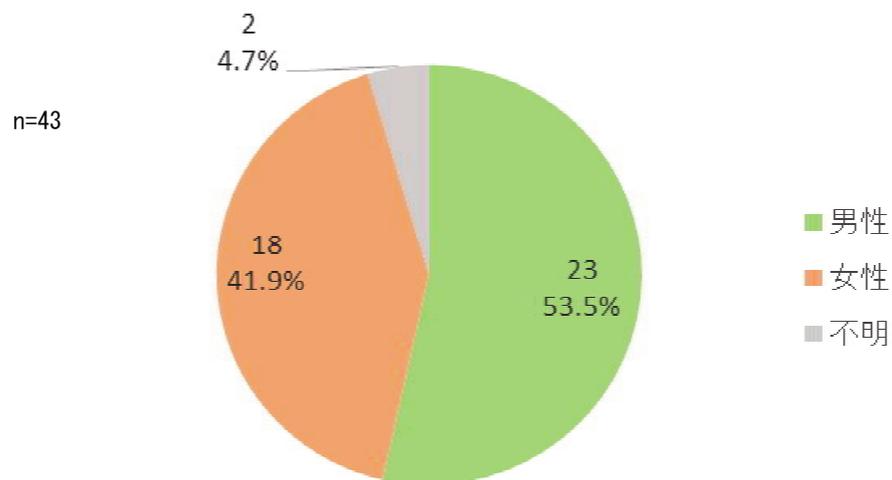
- ・ 最も多く選択された選択肢は「清掃活動」（15人、34.9%）でそれに「PR活動」「聖徳太子没後1400年関連イベントの開催」（14人、32.6%）が続いた。
- ・ 「景観保護活動」「太子町の特産品を活かしたランニングイベント/自転車イベントの開催」もそれぞれ11人（25.6%）から選ばれており、全体の1/4の人から支持を集めた。

⑤ 年齢 (SA)



- ・ 回答者の年齢構成は中学生の参加が多かったこともあり、10歳代が全体の4割強にあたる18人を占めていた。
- ・ 次いで多かったのが、「70歳代」で10人（23.3%）であった。
- ・ 30歳代が全くおらず、その他の年代は2、3人ずつであった。

⑥ 性別 (SA)



- ・ 性別は男性が23人（53.5%）、女性が18人（41.9%）で、男性の方が少し多かった。

⑦ 太子町の観光まちづくりに対する意見や要望 (FA)

n=43

- ・ 道路のゴミが多いので、なにか手を打ってほしい。町並みの景観を改善してほしい。
- ・ 「聖徳太子」の文字が教科書から消えても、太子町には竹内街道や船型だんじりがあるので、それで勝負してみてもはどうでしょう。
- ・ もっと詳しく太子町の魅力を PR したら良いと思いました。
- ・ 千早赤坂村や河南町は町制 60 周年などのイベントで地車を重要なものとして利用しているのに、太子町は近隣に比べて、地車の PR が薄い。
- ・ 太子町全体をマラソンしながら交流する。
- ・ 観光ボランティアの充実が大切。太子町立竹内街道歴史資料館を中心に、太子町の PR を。
- ・ 太子町外の人を取り込む場があると良いと思う。
- ・ 二上山頂上に展望台と案内板があれば良いと思います。見晴らしが悪いです。
- ・ ミニ座談会などを開催し、住民が観光資源の再発見をできる機会を設けてはどうか。観光まちづくりにゴールはない。
- ・ 観光まちづくりを通じて、どんな目標を設定するのか。それを明確にしてほしい。

太子町観光まちづくりビジョン（資料編）

〒583-8580 大阪府南河内郡太子町大字山田 88 番地

太子町 まちづくり推進部 にぎわいまちづくり課

TEL 0721-98-0300

FAX 0721-98-4514

E-mail matidukuri@town.taishi.osaka.jp